

成長を加速するデジタルイノベーション

DIGITAL TECHNOLOGY CATALOG

11 2026
November

異能エンジニアが集う
「ShowNet」の認証管理基盤で
1Passwordが活躍 

貴社に最適なSaaSが見つかる テクノロジー製品カタログ

デジタルアクセルズは、あらゆる業種業界で必要とされる最新のソフトウェアソリューションを世界から調達し、導入のプランニング、コンサルティングと併せて提供。みなさまのDXとビジネスの成長に貢献しています。インターネット業界で30年の経験を持ち、ITテクノロジーコンサルティング会社として豊富な実績を有しています。デジタルマーケティングをはじめ、技術的な実装やコンサルティングなど幅広いニーズに対応することで、数々のお客様から大きな信頼をいただいています。

豊富なソフトウェア製品 ライブラリー

デジタルアクセルズでは、全ての製品をカテゴリーに分類し、お客様のビジネスに適した製品を素早く簡単に見つけることができます。また、弊社のパートナーである海外のテクノロジー製品を調達するサービス支援も提供しています。

支払処理は日本円、 年1回の請求書払いで

直接契約の場合とは違い、デジタルアクセルズ経由の場合は支払いは日本円で行えます。また年1回の請求書払いが選択できます。為替リスクを請求日のレートで固定できるほか、毎月のクレジットカードでの精算処理が不要です。

ビジネスにおけるインサイトを 得られます

ITコンサルティング、カスタマーサポート、新規ソリューションの導入に関するトレーニングなど、幅広いサービスを提供。お客様の既存業務プロセスにおける新規テクノロジー製品の導入効果の発見を支援いたします。

日本語での一次サポートを 受けられます

弊社では、海外製品に関する情報や技術サポートなどを、全て日本語で提供しています。また、サービスのご利用に関しての基本的な疑問・質問に関しては、一次サポートとしてデジタルアクセルズのエンジニアが日本語で承ります。

Index

4 異能エンジニアが集う「ShowNet」の認証管理基盤で1Passwordが活躍

8 NinjaOne

統合IT管理プラットフォーム

IT管理を簡素化し、ビジネスの効率と安全性を高める

10 1Password

認証情報とシークレット管理

パスワード管理の脆弱性を解消し、セキュリティ基盤を強化

12 Drata

コンプライアンスとリスクマネジメント

AIでコンプライアンスを自動化し、信頼の構築を最大加速

14 Replit

AIネイティブ・ソフトウェア開発プラットフォーム

Replit Agentがアイデアを即本番アプリに。プロンプトから一気にプロダクトへ到達する次世代のAIネイティブ環境

16 Digital.ai Arxan Security

アプリケーションセキュリティ

アプリケーションのコードレベルでの保護と、リスクの継続的監視

18 ClickUp

プロジェクト管理・業務効率化プラットフォーム

組織内のツール乱立を解消し、あらゆる業務プロセスを統合するオールインワンワークプラットフォーム

20 LaunchDarkly

フィーチャートグルとプログレッシブデリバリー

デプロイとリリースを分離し、リスクゼロのソフトウェア提供を実現

22 Smartsheet

ワークマネジメントとコラボレーション

組織のコラボレーションと業務プロセスをスマートに再構築

24 Brandfolder

デジタルアセットマネジメント (DAM)

全てのブランドアセットを一つのハブで一元管理・簡単に共有

26 Vimeo

動画ホスティングと企業向けコミュニケーション

高品質な動画活用を、社内向けからマーケティングまで幅広く加速する

28 Hive

30 Zello

32 Optimizely

34 Harness

36 PagerDuty

38 Botpress

40 accessiBe

42 JFrog

44 Wallarm

46 CloudBees

48 Sumo Logic

50 Bluedot

52 O'Reilly Learning Platform

54 OptiSigns

56 Secure Privacy

58 SpeedCurve

異能エンジニアが集う「ShowNet」の 認証管理基盤で1Passwordが活躍

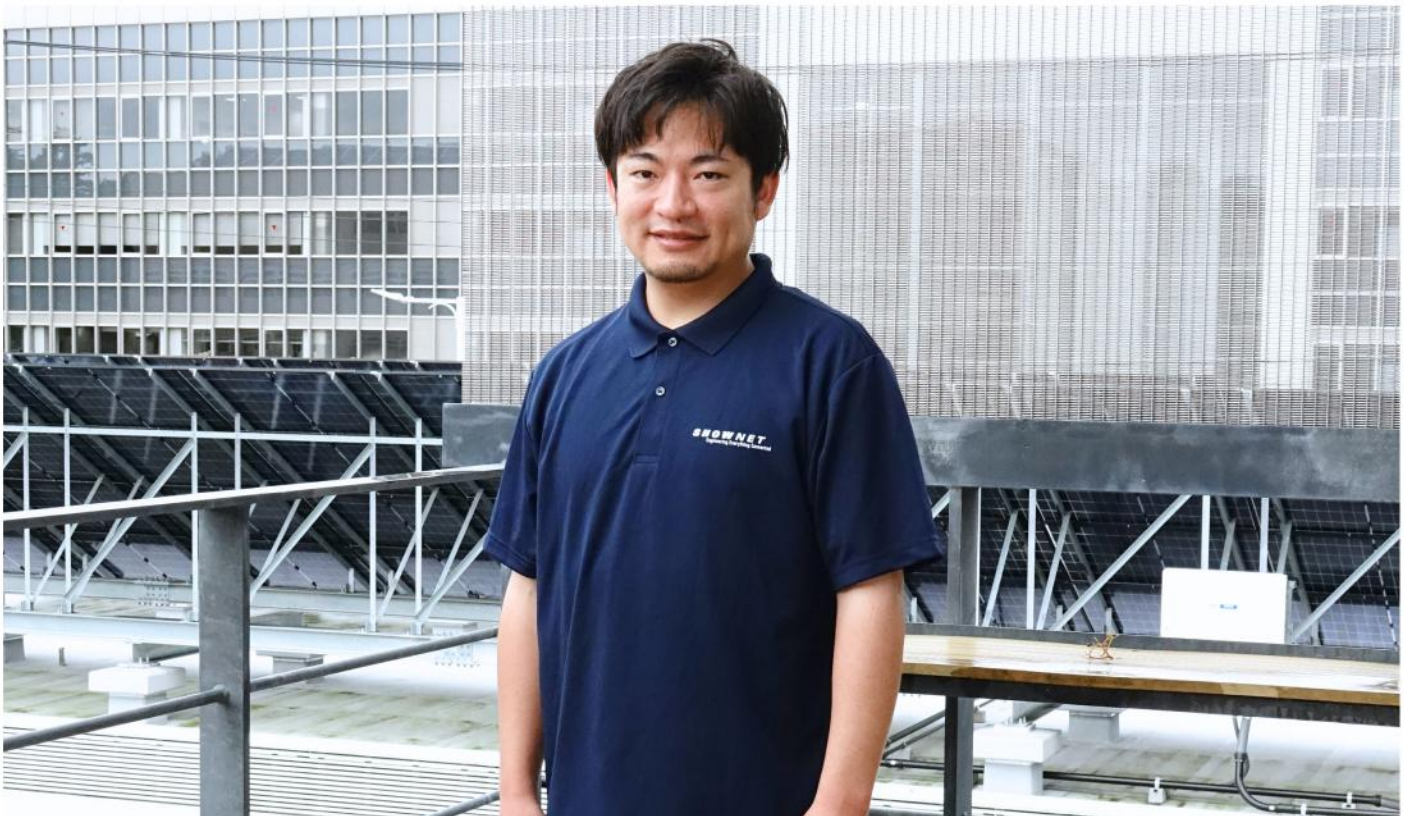


世界最大級のインターネットテクノロジーイベント「Interop」。その原点は、ネットワーク機器の相互接続性を“実際に動かして確かめる”場を創ることにあった。現在ではその心を受け継ぎながら、最新のインターネット技術を実証する巨大ショーケースへと進化している。会場全体を支えるネットワーク「ShowNet」は、各社が自発的に機材・サービスをコントリビュートし、800名を超えるボランティアエンジニアによってゼロから構築される、世界でも類を見ない実証フィールドだ。ネットワーク機器だけでなく、SaaS、クラウドネイティブ技術、AI基盤、LLMガードレールなど、最新のソフトウェアテクノロジーも含めて「実際に動くもの」を会場内で検証し、来場者がその成果を体験できるように設計されている。多種多様な組織から集まるエンジニアが安全かつ効率的に作業できるよう、利便性と厳格なセキュリティを両立する運用基盤が求められる。2026年のShowNetではデジタルアクセルズが提供した1Passwordを初めて利用した。どのような設計思想でセキュリティ運用を構築し、1Passwordを活用したのか。ShowNetの設計、構築、運用を主導するトップエンジニア集団であるShowNet NOCチームメンバーの一人の神宮真人さんに話を聞いた。

デジタルアクセルズ：今回のShowNetにおけるセキュリティ運用の設計思想と、1Password導入の活用方法をお聞かせください。

神宮：今年もShowNetにはたくさんの製品・サービスをコントリビューションいただきまして、それらを使ってShowNet

のセキュリティを設計しました。今回のセキュリティ全体像は図1のようになっています。主なポイントは3つ、「脅威監視基盤と連携した能動的なセキュリティサービス」、「安心安全なAI活用を目指したSecurity for AI」、「安全性と利便性を両立する運用基盤」です。1Passwordは3つ目の運用基盤の部分で活用させていただきました。



ShowNet NOCチームメンバー 神宮真人さん

セキュリティ全体像

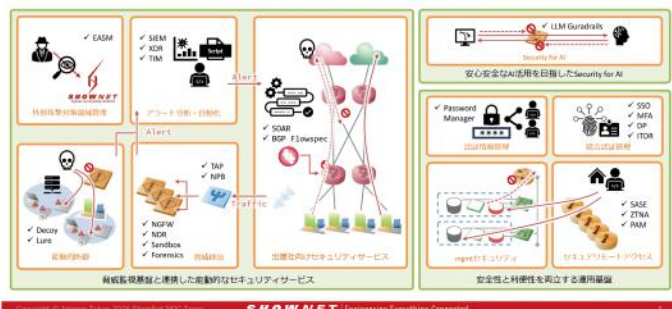


図1 ShowNet セキュリティ分科会の資料より セキュリティ全体像

この認証基盤の部分では、ShowNetを構成する機器の認証情報を管理し、構築と運用を担当するオペレーター向けにその情報提供を担保しています。パスワードだったら平文でメモなどに書いて共有するのではなくもっと安全な方法で提供するわけです。

以前のShowNetでは、現地にいる関係者の間で認証情報を共有し構築・検証作業を進めていました。その当時はリモート運用がほとんどなく、現場にいる関係者の間で共有すればよかったからです。しかし近年はリモートからアクセスして設定をするようなオペレーターもいます。そこで認証情報の共有が一つの課題になります。ただ安全だけではなくて、便利なものを提供しないと使ってもらえません。そこで、パスワード管理については、1Passwordといくつかのパスワードマネージャーを使わせていただきました。今回は特定の人に特定の認証情報を所有してもらう形で管理をしました。

ShowNetの参加者には特性によって、①ShowNetの設計から主体となっているNOCメンバーと、②さまざまな製品やサービスをご提供いただいているコントリビューターの皆様、③ボランティアでShowNet構築を手伝っていただいているSTMという、3つのグループがあります。それぞれ適切な権限をつけて共有をしています。

どの機器にどのパスワードが設定されているかをパスワードマネージャーの保管庫で共有し、みなさんに参照してもらい使っていただくという形で進めました。その際にはパスワードマネージャーの機能を活用して、どのメンバーグ

統合認証管理

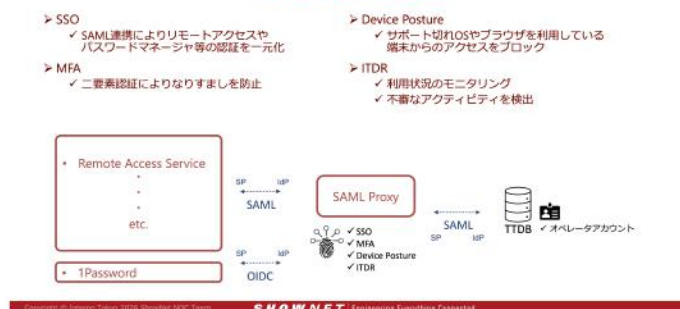


図2 ShowNetの統合認証管理（認証基盤を利用するサービスを示す。神宮真人さん作成）

ループにどのフォルダーをどの閲覧権限で共有するといったところを細かく設定しました。実際には、パスワードマネージャーごとにいくつかの共有フォルダーを作りましたが、基本的には同じルールで共有しました。ブラウザの拡張機能としても使えるので、皆さん便利に使われていたと思います。

ShowNet独特の課題と運用上の工夫

運用上はShowNet特有の課題がありました。

ShowNetでは一般の企業とは違い、最初から全メンバーが使うアカウントが決まっているわけではありません。ShowNetの構築中にも、例えば機器のデバッグのために急遽エンジニアのアカウントを追加することがあります。そのタイミングですぐに使い出せないと不便です。

例えば、ユーザーを招待するのを、1時間に1回新規メンバーをチェックして招待する、という運用だと、アップデート担当者に待ち時間が発生してしまいます。新しいアカウントが増えたら即座にそのアカウントをアクティベートしてあげて招待することをやりたいと思っていました。そのために、自動化のツールを実装して運用していました。

ShowNetの場合、まずコントリビューターやSTMのメンバーとして登録されると、TTDBというデータベースにメンバーとして登録されます。ShowNetではその情報を基に、シングルサインオン環境を整備しています。TTDBのユーザーの認証情報を、1Passwordでも使う形にしていました。SAMLとOIDCプロトコルを使って連携させました。

認証情報管理

➤ ShowNetを構成する全ての機器の認証情報を管理

➤ 認証情報の共有

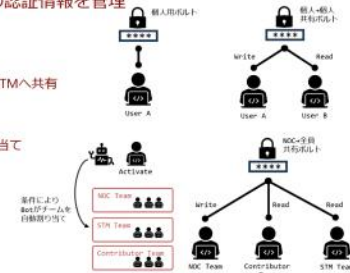
- ✓ 個人から個人へ共有
- ✓ NOCから全員へ共有
- ✓ NOCからコントリビュータ、NOCからSTMへ共有

➤ 権限管理

- ✓ チームで権限を管理
- ✓ 指定条件によりBotがチームを自動割り当て

➤ 利便性向上

- ✓ ブラウザ拡張機能サポート
- ✓ フォームへの自動入力



Copyright © Shimizu Teiko 2020 ShowNet NOC Team

SHOWNET Engineering Everything Connected

29

図3 ShowNet セキュリティ分科会の資料より 認証情報管理（認証情報管理が目標としたもの）

ユーザーが増える場合は、まずはTTDBの方でアカウントアクティベーションをして、そのTTDBの方で設定したパスワードや2要素認証のデバイスを使って、1Passwordでログインできるようにしています。普通は1Passwordにユーザーを登録するのですが、まずTTDB側に登録するので。

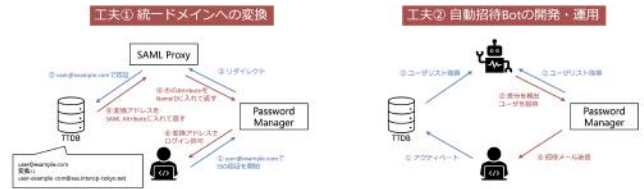
そして、TTDB上でユーザーのアカウントを作成すると、われわれが作ったボットが1Passwordのアカウントリストを取得して、TTDBのアカウントリストとの差分を取り、TTDBにしかアカウントがない場合は、1Passwordでそのユーザーを招待するようにしました。実装としては1Password CLIを使うコードをPythonで書きました。つまり、1Password CLIをインストールしたマシンでPythonを動かして、招待を送信させました。

この仕組みは、ShowNetの報告資料のスライドの「運用上の工夫」の右側の部分になります。左の方は1Passwordでは適用していないところです。一般的な企業ではみんな同じドメインを持っているわけですが、ShowNetでは別々の組織から参加するわけです。時にはGmailとかYahoo!メールなどのフリーメールを使ってアカウントを作る方もいらっしゃいます。そこで、一般のパスワードマネージャーでは特定のドメインをホワイトリスト形式で設定して透過させるような仕組みで設計されていると思います。1Passwordの場合も当初はそうした対応が必要かと思っていたのですが、エンタープライズプランの場合は、異なるドメインのユーザーでも登録・招待できる仕様でしたので、必要ありませんでした。

運用上の工夫

➤ ShowNet特有の課題

- ① オペレータは多数の組織から参集するため、特定ドメインによる一律許可ができない
- ② ユーザによってアクティベーションのタイミングがバラバラ



Copyright © Shimizu Teiko 2020 ShowNet NOC Team

SHOWNET Engineering Everything Connected

図4 ShowNetの認証管理の運用上の工夫（神宮真人さん作成）

SSO利用者の3割が1Passwordを利用

デジタルアクセルズ：では実際の利用状況はどうだったのでしょうか？

神宮：ShowNetの全期間内に、1Password以外も含めて、シングルサインオンを利用した全ての利用者数を集計して時系列化したグラフ（SSO利用者数の立ち上がり）は図のようになります。

ShowNetのスケジュールとしては、展示会場（幕張メッセ）に入る前の事前準備期があります。機器搬入前の仕込み段階で認証情報が必要になることがあるため、パスワードマネージャーに関してはこの期間から利用者がいます。そして展示会の2週間ほど前から会場で現地構築が始まります。今年は5月29日から会場入りのため、その時期に急激に利用者が増えています。

このグラフでは、他のツールも入っていますので、1Passwordの監査ログだけで集計した図も作ってみました。それが次のグラフ（図6）です。これは1Passwordの監査ログから、日別のログイン回数とアカウント数の累計を集計して、時系列でグラフ化したものです。

全期間では通算853件のサインインと1322件の移譲セッションが発生していました（注：移譲セッションは、サインインした後にCLIなど経由で何か操作をしたというセッションを指す。管理者や開発者がシステム連携、自動化、または代理管理のための権限設定を行い、それに基づいてシステムやプロセスのセッションが開始された操作を指していると推定できる）。

SSO利用者数の立ち上がり

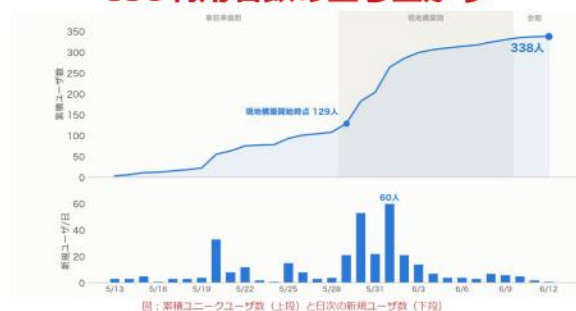


図5 ShowNet セキュリティ分科会の資料より SSO利用者数の立ち上がり

デジタルアクセルズ：実際に使ってみての感想はどうでしたか？

神宮：私は個人的には昔から1Passwordユーザーでしたので慣れていました。エンタープライズ版を使うのは今回初めてだったのですが、共有の仕組みがかなり細かく実装されていた印象です。コンソールの操作も直感的に操作しやすい設計になっていてとても使いやすかったです。オペレーターに展開したときは、1Passwordと別のパスワードマネージャーのどちらでも好きな方を使っただけのように案内しましたが、1Passwordを使っているの方が目立っていたような印象がありました。ただ、両方のパスワードマネージャーをインストールした状態でログインフォームにアクセスすると、両方のパスワードマネージャーのダイアログが出てきてしまいます。両方一緒に使うのは現実的ではないですね。

デジタルアクセルズ：シークレットの共有機能についてはどう思いましたか？

神宮：APIキーなどをシェアするケースがそもそもそんなに絶対量として多くないので、共有はそんなに多くはなかったですね。数件だったと思います。

デジタルアクセルズ：他のパスワードマネージャーと1Passwordでは、保管庫の機能やアクセス権限の付与のと

日別ログイン回数とログインしたアカウント数の累計

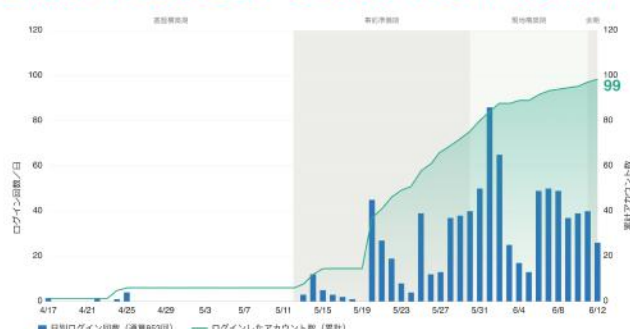


図6 ShowNet全会期中の1Passwordの利用実績（神宮真人さん作成）

ころで少し仕組み上の違いがあると思いますが、何か問題が起きたり、こっちの方が使いやすかった、といったところはありましたか？

神宮：権限の付け方は大きく変わるところはなく、同じようなポリシーで運用できました。ただ、異なるパスワードマネージャーを使うと、どっちかにしかない情報っていうのは必ず生まれてしまいます。一元管理をできれば良かったんですけども、結局それはできずに今後の課題に残った形ですね。

デジタルアクセルズ：ありがとうございます。他に感じられたことはありますか？

神宮：1Passwordには他にもいろいろな機能があると思いますが、今年は全てを使いこなせなかった感じです。ShowNetには短い期間で、いろんなツールがコントリビュートされるので、それらを立ち上げて最後まで使いこなすのはなかなか難しいところがあります。来年は多分もっと慣れて、活用できるだろうと思っています。

Interop Tokyo 2026のShowNetのセキュリティ分科会の資料を閲覧するには、次のURLで来場者登録が必要です。登録後にご覧ください。このshownet.confのアーカイブ資料配信期間は10月末までです。ご注意ください。

https://forest.f2ff.jp/login?project_id=20260801

デモのご依頼、お問い合わせやお申し込みは
1Password専用ウェブサイトへ

<https://www.digitalaccels.com/products/1password>





この製品が解決できる主な課題

△ 複数のツール乱立によりIT管理が複雑化し、業務効率が著しく低下している

RMMやパッチ管理など主要機能を単一のSaaS基盤に統合し、分散したツールによるIT運用の複雑さを解消して、業務プロセス全体を劇的に効率化します。

△ エンドポイントの防御体制に隙があり、データ保護と安全性の確保に不安がある

強力な保護機能と監査可能な運用環境を提供し、金融や医療など高度な安全性が求められる業界でも通用する信頼性の高いセキュリティ体制を構築します。

△ 組織の成長に伴うITインフラの拡大に対し、管理体制の拡張が追い付かない

SaaS型ソリューションにより、ビジネスの成長やIT資産の増加に合わせて柔軟にリソースを拡張し、常に最適な規模でシームレスなインフラ管理を実現します。

△ システムやツールの老朽化が進み、予期せぬサービス停止のリスクが高まっている

統合プラットフォームの堅牢な基盤によりシステムの安定性を高め、予期せぬダウンタイムを最小限に抑えることで、ITサービスの高い可用性を維持します。

△ 複数の管理ツール運用によりコストがかさみ、IT管理費用の全体最適化が困難である

バラバラに導入されていた管理ツールを一つに統合することで、ライセンス費用や運用工数を大幅に削減し、コストパフォーマンスの高いIT管理を実現します。

△ 手動による反復作業が多く、IT部門の生産性が低下し戦略業務に集中できない

パッチ適用やアラート対応などの日常的な反復業務を強力な自動化機能で効率化し、ITチームのリソースをより戦略的で価値の高い業務へと集中させます。

NinjaOneは、IT運用の最も困難な部分を自動化し、簡素化するために設計された、業界トップクラスの統合エンドポイント管理プラットフォームです。MSP（マネージドサービスプロバイダー）や社内IT部門向けに構築されており、異種デバイスを含む全IT資産を、単一のダッシュボードから監視&制御できるようにします。

そのコアは、RMM（リモート監視&管理）、エンドポイントセキュリティ、パッチ管理、バックアップ、サービスデスク（チケット管理）、リモートアクセスといった、通常は個別に運用される複数のツールをシームレスに統合している点にあります。この統合により、技術者はツール間の切り替えやデータの分断に悩まされることなく、パッチ適用やソフトウェア配布などの繰り返しタスクを強力な自動化エンジンで処理できます。その結果として、ITチームは事後対応（リアクティブ）から予防的（プロアクティブ）な管理へとシフトでき、ダウンタイムと運用コストの削減を実現します。

主な機能

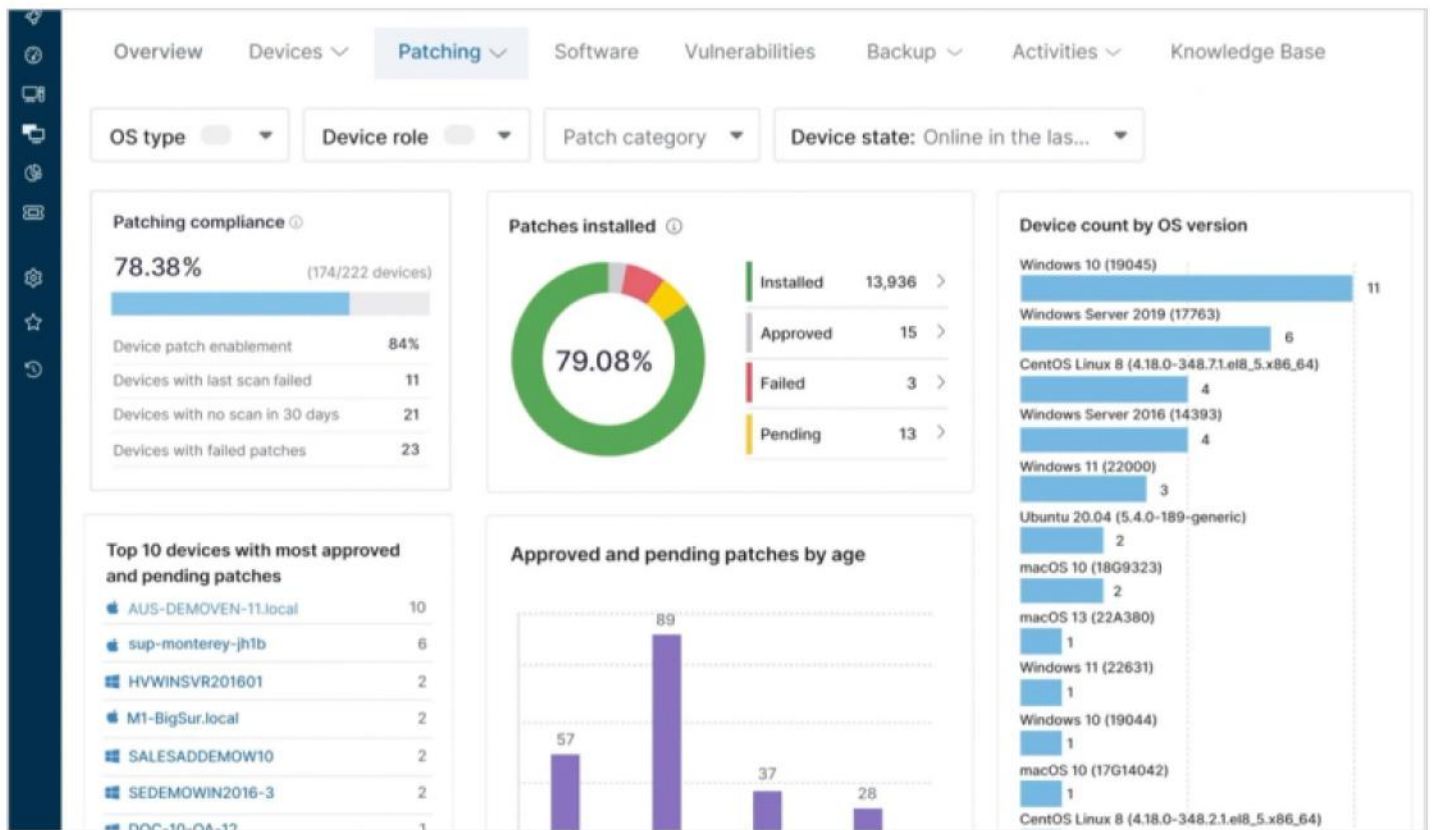
- ・ リモート監視&管理（RMM）
- ・ エンドポイント管理
- ・ パッチ管理
- ・ IT資産インベントリー管理
- ・ クラウドベースのバックアップ
- ・ サービスデスク・チケット管理
- ・ ソフトウェア展開と自動化

ベンダー情報

社名：NinjaOne

所在地：米国・テキサス州オースティン

2013年創業、非上場



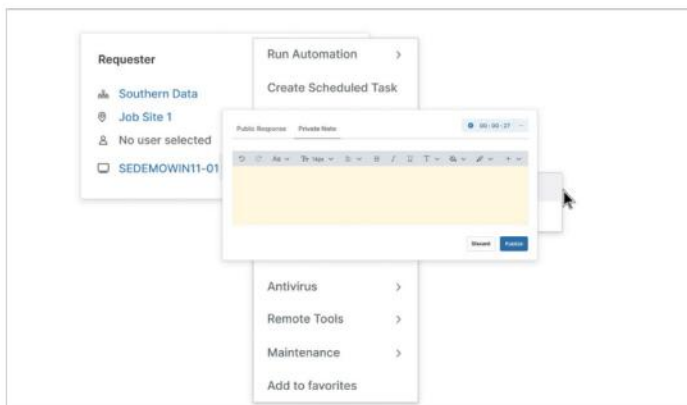
▲NinjaOneの統合管理ダッシュボード。RMMからMDM、パッチ適用の状況などを管理できる



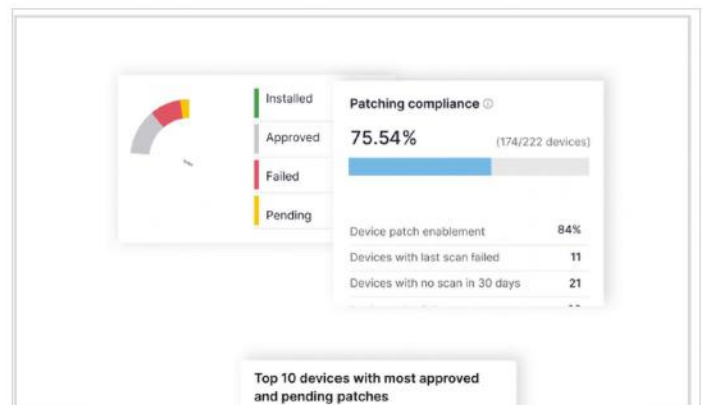
▲NinjaOneはRMM、エンドポイント管理、パッチ適用、開発、監視、バックアップなどを自動化する統合プラットフォームだ



▲リモートを含めた各種のデバイスの稼働状況や障害などを収集して一覧できる



▲システムの障害対応やバックアップなどの処理を簡単にトリガーして証跡を残せる



▲パッチ適用状況を監視してその進捗を表示できる。もちろんリモートを含む各種デバイスの監視が可能





1Password

パスワード管理の脆弱性を解消し、セキュリティ基盤を強化

<https://digitalaccels.com/products/1password/>



この製品が解決できる主な課題

⚠ 認証情報の管理がずさんで、情報漏洩リスクの大部分を占める盗難の危険がある

強固で一意的なパスワードを自動生成＆保存することで、侵害原因の多くを占める認証情報の盗難を防ぎ、組織全体のセキュリティリスクを根本から排除します。

⚠ パスワードの記憶や再設定に時間を奪われ、従業員の業務生産性が低下している

直感的なインターフェイスと生体認証の活用により、パスワード入力や管理の手間をゼロにし、従業員が本来の業務に集中できるストレスフリーな環境を作ります。

⚠ パスワード関連の問い合わせ対応に追われ、IT部門の業務負荷が限界に達している

セルフサービスによるリカバリー機能やSCIM統合を活用してアカウント管理業務を自動化し、IT部門のヘルプデスク対応工数を劇的に削減して業務効率を高めます。

⚠ 従業員間でのパスワード使い回しや安易な共有が横行し、安全性が脅かされている

共有保管庫機能と厳格なアクセス権管理を提供することで、チーム内で必要な認証情報を安全かつ監査可能な状態で共有し、不正利用のリスクを防ぎます。

⚠ 多要素認証の未導入により、不正アクセスに対する防御力が著しく低下している

認証アプリ機能を内蔵することで多要素認証（MFA）の強制適用を容易にし、なりすまし攻撃のほぼ全てをブロックしてセキュリティ態勢を強化します。

⚠ 認証情報へのアクセス履歴を追跡できず、監査対応や法令遵守の証明が困難である

全ての認証情報に対するアクセス履歴を詳細に記録・追跡する機能により、GDPRやHIPAAなどの厳しいコンプライアンス要件への確実な対応を支援します。

1Passwordは、現代の企業が直面する最も深刻なセキュリティリスクと生産性のボトルネックを解決する認証情報管理プラットフォームです。Verizon社の調査ではデータ侵害の88%は盗まれた認証情報に起因しており、「人間の記憶」に依存したパスワード管理は限界を迎えています。1Passwordは、強力なパスワードの自動生成、安全な共有保管庫、生体認証による簡単なアクセスを提供し、従業員のパスワード疲労を解消します。さらに、IT部門にとっては、ヘルプデスクへの問い合わせが多いパスワードリセット対応の負荷を、セルフサービスでの復旧やSCIM統合（Okta、Entra ID対応）によって劇的に削減します。多要素認証機能も内蔵し、監査ログやコンプライアンスレポートも完備。認証情報の保護、共有、管理の全てを一つのプラットフォームで実現し、企業のセキュリティを根本から強化します。

主な機能

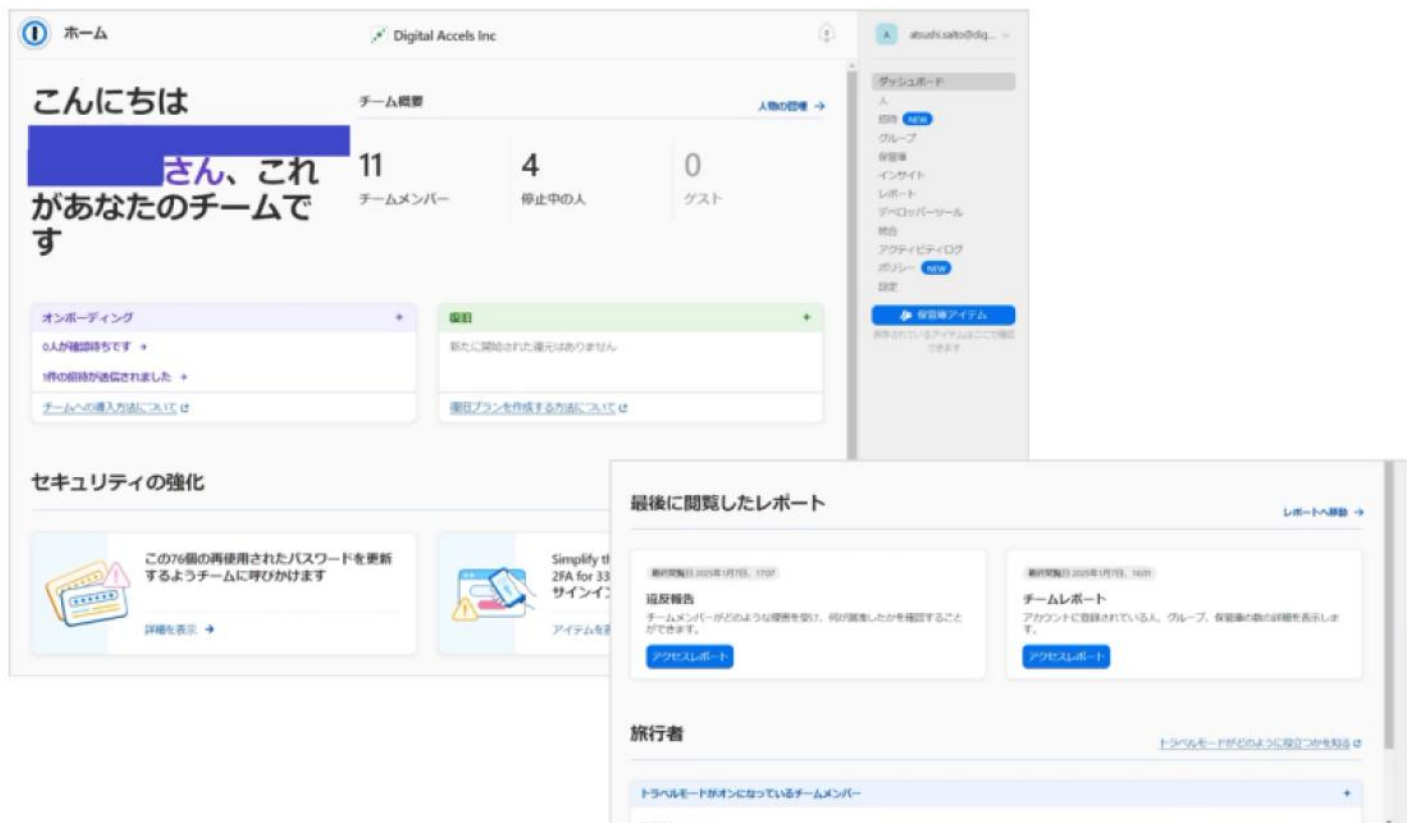
- ・自動パスワード生成と保存
- ・生体認証によるロック解除
- ・共有保管庫
- ・高度なアクセス制御（SCIM/SSO統合）
- ・MFA統合
- ・監査ログ
- ・コンプライアンスレポート
- ・デバイストラスト機能
- ・Secrets Automation

ベンダー情報

社名：AgileBits

所在地：カナダ・オンタリオ州トロント

2005年創業、非上場



▲1Password Businessを使えば管理者はチームのパスワードの利用状況を把握でき、セキュリティの向上に役立てることができる



▲組織内でのパスワードの使用状況を一覧できるWatchtower。脆弱なパスワードの利用や使い回しをチェックできる



▲共通に使うパスワードは保管庫を作ってまとめて登録しておくことができる

主な価格プラン（参考価格）



Business

\$8.99／ユーザー／月（年払い）

ビジネスに適したセキュリティで
パスワードを管理

Enterprise

お問い合わせください

エンタープライズレベルの
パスワードセキュリティに加え、
BYODやシャドーIT／シャドーAIの保護・管理にも対応

無料トライアルのお申し込みはこちら <https://forms.digitalaccels.com/contact>



DRATA

Drata

AIでコンプライアンスを自動化し、信頼の構築を最大加速

<https://digitalaccels.com/products/drata/>



この製品が解決できる主な課題

監査準備の証拠収集などを手動で行っており、膨大な時間と人的リソースが必要

統制のモニタリングと証拠を含む証拠収集プロセスを自動化することで、SOC 2などの監査準備にかかる時間を最大90%削減し、担当者の負担を劇的に軽減します。

リスクの手動チェックでは発見が遅れ、セキュリティ事故につながる恐れがある

システム全体を24時間365日継続的に監視することで、潜在的なリスクや脆弱性をリアルタイムに特定・評価し、インシデント発生を未然に防ぎます。

セキュリティチェックの回答に時間がかかり、商談の進捗が停滞している

Trust Centerで自社のセキュリティ状況を透明化し、AIがアンケート回答を支援することで、信頼構築を加速させてセールスサイクルを短縮します。

複数の基準に手動対応しているため、ポリシーの管理漏れや整合性の欠如が起きる

複数のセキュリティフレームワーク間での統制項目のマッピングを自動化し、重複作業をなくして、ポリシー管理の一貫性と正確性を効率的に維持します。

リスクやベンダー管理のツールが分散し、統合的なガバナンスが効いていない

リスク管理、ベンダー管理、コンプライアンス対応を一つの統合プラットフォームに集約し、全社的なGRC活動を一元管理することでガバナンスを強化します。

複雑な法規制を遵守しているかを可視化できず、外部への証明が困難である

GDPRやCCPAなど複雑な法規制への遵守状況を自動で可視化＆文書化する機能により、コンプライアンス対応の証明を容易にし、法的信頼性を高めます。

Drataは、AIを活用してコンプライアンス自動化とリスク管理（GRC）を一元化する、次世代の信頼管理プラットフォームです。SOC 2やISO 27001などの監査準備は、従来、数カ月にと及ぶ手作業の証拠収集と統制の確認作業を必要とし、企業のエンジニアリングリソースを圧迫していました。Drataは、企業のテクノロジースタック（AWS、GCP、Oktaなど）と直接統合し、統制の監視と証拠収集を24時間365日自動化します。これにより、監査準備時間を最大90%削減し、継続的なコンプライアンス体制を維持します。また、顧客からのセキュリティレビューの長期化というセールスサイクルのボトルネックに対し、リアルタイムのセキュリティ体制を公開する「Trust Center」や「AIアンケート支援」機能を提供。リスク管理、ベンダー評価、ポリシー管理といったGRCのあらゆる側面を統合し、手作業を排除することで、企業の信頼構築を加速させます。

主な機能

- ・継続的なコンプライアンス監視
- ・自動証拠収集
- ・統合リスクマネジメント
- ・ベンダーリスク管理
- ・Trust Center
- ・AIアンケート支援
- ・カスタムコントロール
- ・SCIM統合

ベンダー情報

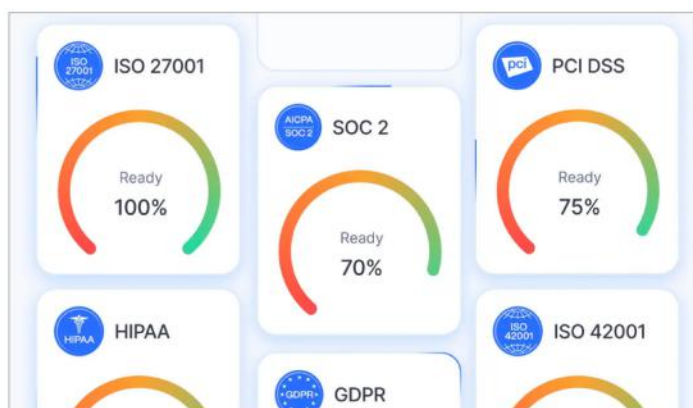
社名：Drata

所在地：米国・カリフォルニア州サンディエゴ

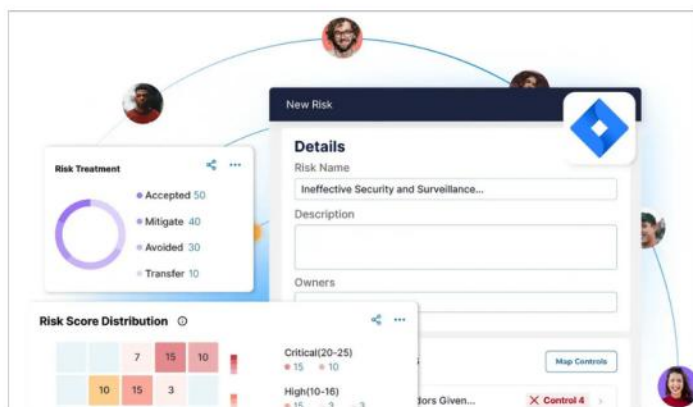
2020年創業、非上場



▲Drataは組織内のさまざまなシステムが複数の法規制を遵守しているかを継続的・網羅的に自動監視する



▲26以上のフレームワークを標準でサポート。作業を重複させることなくコンプライアンスを拡張できる



▲ダッシュボード上で全てのリスク情報を一元管理し、自動テストによりセキュリティデータを最新の状態に保てる

主な価格プラン（参考価格）



Foundation

お問い合わせください

監査に向けたコンプライアンスプログラムの迅速な立ち上げと信頼構築のための基本機能

Advanced

お問い合わせください

組織の拡大に合わせて柔軟にカスタマイズでき、独自のテストやコードによる管理が可能

Enterprise

お問い合わせください

成熟したGRCプログラム運用の最適化と高度なガバナンス・分析をプロアクティブに支援

お問い合わせはこちら

<https://forms.digitalaccels.com/contact>





Replit

Replit Agentがアイデアを即本番アプリに。プロンプトから一気にプロダクトへ到達する次世代のAIネイティブ環境

<https://digitalaccels.com/products/replit/>



この製品が解決できる主な課題

開発環境の初期構築に手間取りプロジェクトの開始が大幅に遅れる

ブラウザさえあれば数秒で起動する統合開発環境を提供し、環境構築の手間を完全に排除します。アプリケーションのインストールをする必要はありません。

AIのアシストがコード補完に留まり、アプリケーション全体の自動開発やデプロイが実現できない

自然言語の指示だけで、設計からコーディング、テスト、デプロイまでを自律的に実行するReplit Agentが開発プロセスを強力に自動化します。

開発、テスト、本番環境のインフラ構築と運用保守に多くの時間とコストが奪われている

AutoscaleやReserved VMなど、多様なデプロイメントオプションを内蔵し、ワンクリックで安全にアプリケーションを公開・運用できます。

チームメンバー間でのコード共同編集やレビューが難しく、開発のスピードが低下している

Googleドキュメントのように、複数人で同時にコードの編集やチャット、デバッグができる強力なコラボレーション機能を提供します。

プロトタイプの検証を迅速に行いたい、セキュリティや公開手順のハードルが高い

組み込みのデータベースやユーザー認証機能、安全なシークレットキー管理により、セキュアな環境下で素早くプロトタイプをデプロイして検証できます。

開発ツールやホスティングサービスが分散しており、ライセンス管理やコストの最適化が困難である

IDE、AIアシスタント、ホスティング、データベースを単一のプラットフォームに統合し、管理工数と運用コストを大幅に削減します。

Replitは、ブラウザさえあればあらゆる言語での開発、コラボレーション、デプロイを完結できる、AIネイティブな次世代ソフトウェア開発プラットフォームです。従来のローカル環境構築に伴う複雑な設定を完全に排除し、数秒でプロジェクトを開始できる俊敏性を実現しています。その最大の強みは、自然言語の指示からアプリケーションを自律的に構築する革新的なAI機能「Replit Agent」です。AIが要件の理解から、必要なパッケージのインストール、コード全体の執筆、エラーの自己修復までを自力で行い、開発のプロセスを劇的に自動化します。また、Git連携やデータベース、ワンクリックでのデプロイ機能までが統合されており、プロトタイプから商用アプリケーションの運用までを単一の画面でカバー。DXを推進する企業において、技術スタックの標準化と非エンジニア層をも巻き込んだ開発サイクルの圧倒的な高速化を後押しするソリューションです。

主な機能

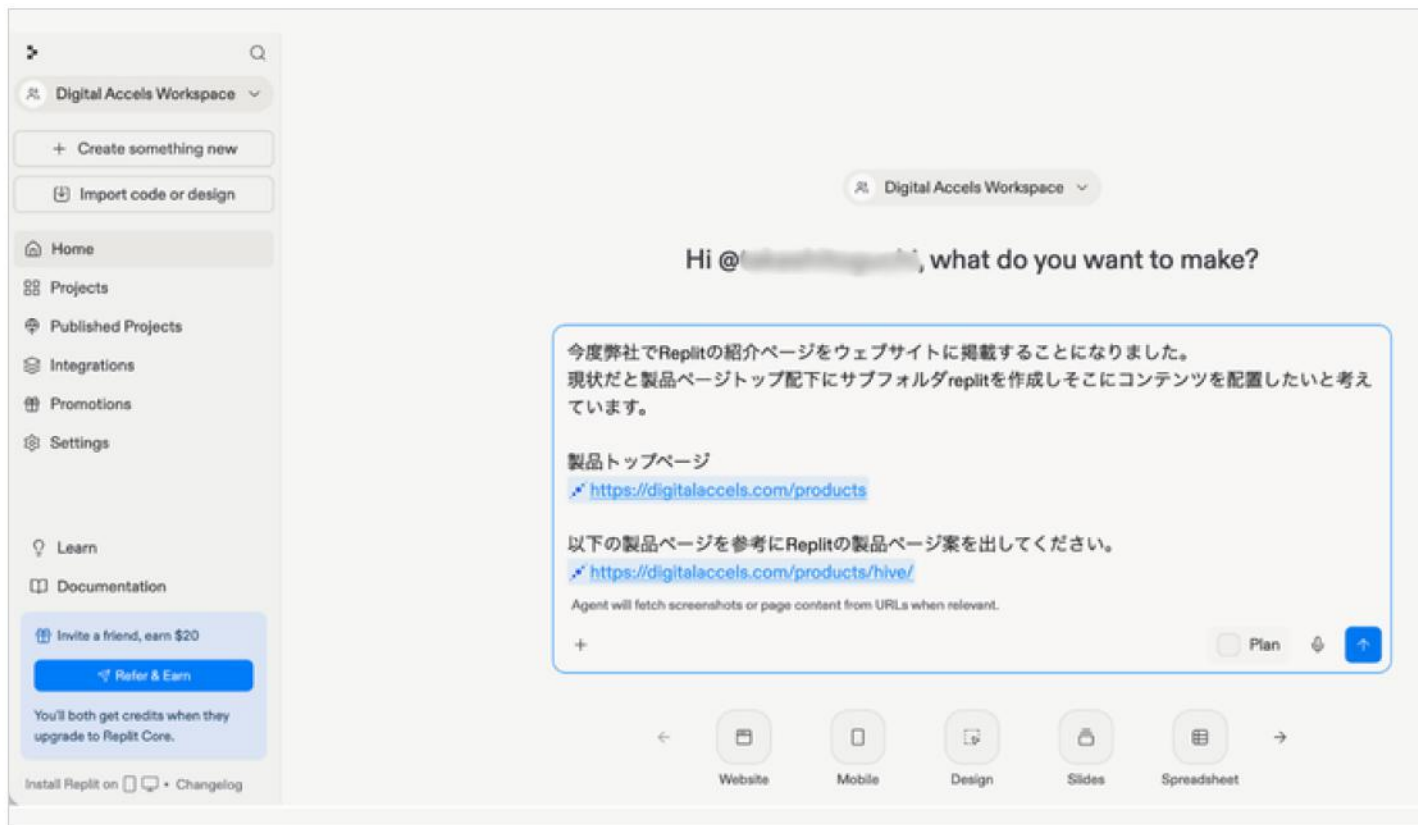
- ・ブラウザベースのマルチ言語対応IDE
- ・Replit Agent（プロンプトからの自律型フルスタックアプリ開発）
- ・リアルタイム共同編集（マルチプレイヤーモード）
- ・ワンクリックデプロイメント機能
- ・Replitデータベースとシークレット管理
- ・Git/GitHubとの高度な双方向連携
- ・モバイルアプリによるフル機能の開発環境

ベンダー情報

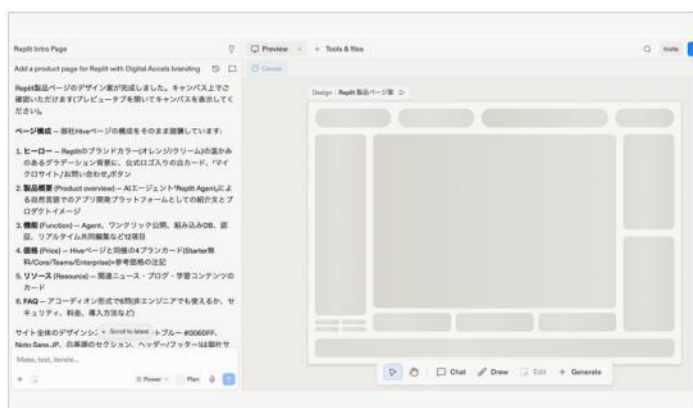
社名：Replit

所在地：米国・カリフォルニア州フォスターシティ

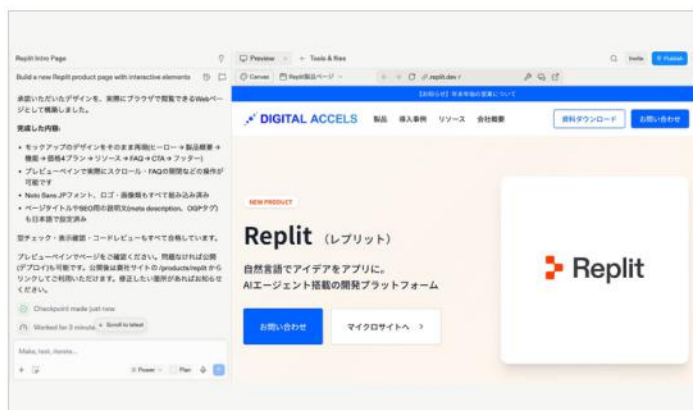
2016年創業、非上場



▲Replit上で新規製品ページの制作要件を定義する様子。AIとの対話を通じて、ウェブサイト構築の目的や構成案を具体化する



▲Replit Agentが生成した製品ページのデザイン案（モックアップ）。UIを早い段階で可視化し、調整を直感的に行える



▲完成したウェブページのプレビュー。デザインやコンテンツが統合され、コードレビューや型チェックも済み

主な価格プラン（参考価格）



Core

\$18／月（年払い）

個人プロジェクトやシンプルなアプリ向け

Pro

\$90～\$2,000／月（年払い）

商用・プロフェッショナル向け
並行処理エージェント数：10、
プレミアムサポート

Enterprise

お問い合わせください

エンタープライズグレードの
セキュリティと管理機能

お問い合わせはこちら

<https://forms.digitalaccels.com/contact>





アプリケーションセキュリティ

Digital.ai Arxan Security

アプリケーションのコードレベルでの保護と、リスクの継続的監視

<https://www.digitalaccels.com/products/digitalai-arxan-security>



この製品が解決できる主な課題

△ アプリ解析によるコード盗用や技術流出のリスクがあり、知的財産が脅かされている

高度な難読化技術と改ざん防止機能をコードに直接組み込むことで、リバースエンジニアリングを事実上不可能にし、企業の重要な知的財産を強固に保護します。

△ 端末側でのデータ傍受や不正アクセスにより、顧客情報漏洩や詐欺被害が発生する

モバイルやウェブアプリのクライアントサイドにおける脅威を防御し、データの傍受やアカウント乗っ取りなどの不正行為を未然に防いでユーザーを保護します。

△ 実行時に発生する未知の攻撃を検知できず、ゼロデイ脆弱性を突かれる恐れがある

アプリケーションの実行中（ランタイム）にリアルタイムで脅威を監視し、未知の脆弱性を突くゼロデイ攻撃などの不正な挙動を即座に検知してブロックします。

△ 高度な保護機能の実装には専門知識と工数が必要で、開発の負担になっている

SDKを組み込むだけでコード保護と監視機能を自動実装できるため、複雑な開発工数をかけずに高度なセキュリティ対策をアプリケーションに適用できます。

△ 稼働中のアプリに対する攻撃状況が見えず、脅威の実態を把握できていない

稼働中のアプリケーションに対する攻撃の試行やセキュリティ状態をリアルタイムで監視＆可視化し、集約されたダッシュボードで脅威の全体像を把握します。

△ セキュリティ対策が開発フローから切り離され、迅速な対応ができていない

セキュリティ機能をCI/CDパイプラインなどのDevOpsプロセスにシームレスに統合し、開発スピードを損なうことなく継続的な保護対策を実現します。

Digital.ai Arxan Securityは、モバイルアプリやウェブアプリケーションを、リバースエンジニアリングや実行時（ランタイム）の攻撃といった高度な脅威から保護する、包括的なセキュリティソリューションです。

多くの企業がWAFやネットワークセキュリティに注力する一方、アプリケーションのクライアントサイド（コード自体）の脆弱性は見過ごされがちです。Digital.aiは、アプリケーションのコードに強力な「難読化」と「耐タンパー（改ざん防止）」機能を自動で組み込み、知的財産の盗難や不正なコード解析を不可能にします。さらに、クライアント側でのアプリケーションの実行時にはRASP（Runtime Application Self-Protection）技術により、ゼロデイ攻撃やデータの傍受、不正なデバッグの試みをリアルタイムで検知・防御します。SDKを埋め込むだけで、DevSecOpsパイプラインにシームレスに統合でき、開発工数を増大させることなく、クライアント側での詐欺やアカウント乗っ取りを防ぐための最高水準の保護を実装できます。

主な機能

- ・コード難読化
- ・耐タンパー機能
- ・ランタイムアプリケーション自己防御（RASP）
- ・モバイルアプリセキュリティ
- ・ウェブアプリケーションセキュリティ
- ・リアルタイム脅威インテリジェンス

ベンダー情報

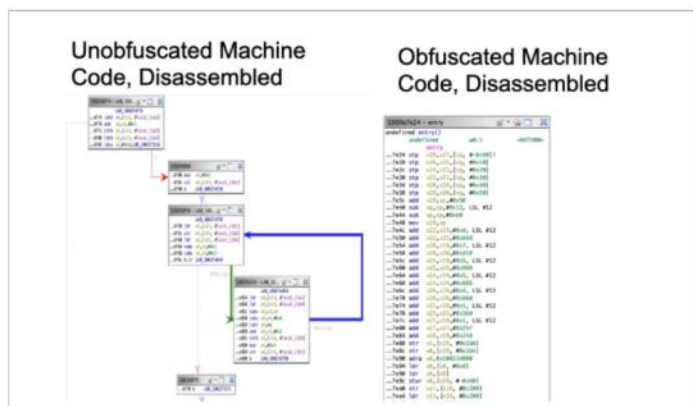
社名：Digital.ai Software

所在地：米国・ノースカロライナ州ローリー

2020年創業、非上場



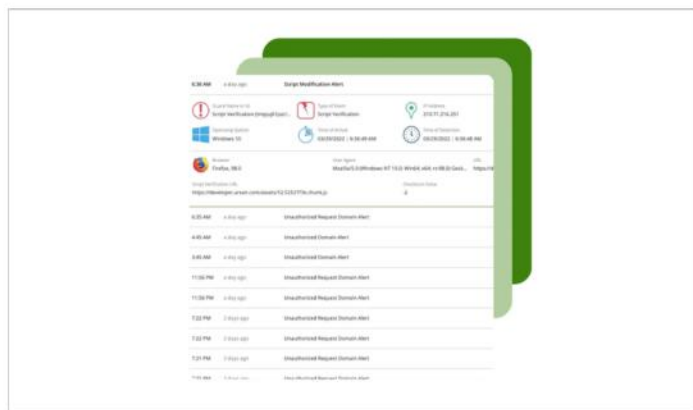
▲AIでソフトウェアデリバリーを調和させる、Digital.aiの予測インテリジェンスを活用したSDLC管理



▲ある機械語コードと難読化された機械語コード（右）の例。右側のようにコードが複雑な処理とジャンプ命令の羅列になる



▲モバイルアプリを多様なガードで多層的に保護し、継続的セキュリティライフサイクルで攻撃に対抗するGuard Network



▲アラートログの例。「Script Modification Alert」の詳細が表示されており、システムへの潜在的な攻撃も分かる



▲システムにおける週次のインスタンス数とセキュリティ侵害状況を示すダッシュボード。対策の種類別の統計も表示する

お問い合わせはこちら

<https://forms.digitalaccels.com/contact>





ClickUp

組織内のツール乱立を解消し、あらゆる業務プロセスを統合するオールインワンワークプラットフォーム

<https://digitalaccels.com/products/clickup/>



この製品が解決できる主な課題

⚠️ SaaSの乱立で複数のツールを行き来して情報が散在しており、コストも増えた

タスク管理、ドキュメント、チャットなどのツール分散により情報が散在。ClickUpはこれらを統合し、シングルソース化とライセンスコストの最適化を実現します。

⚠️ 部門間で管理手法が異なるため、全体の進捗状況が経営層からは見えにくい

部門ごとに管理手法が異なり、全社横断の把握が困難な課題に対し、15種類以上のビューとリアルタイムダッシュボードを提供。各現場の利便性と経営層の可視化を両立。

⚠️ 定型業務が自動化されず、定型的なタスク作成やステータス更新が煩雑でミスが多い

担当者変更や通知、定期タスクの作成といった手作業を、ノーコードの自動化機能（Automations）が代替し、ワークフローを自動実行します。

⚠️ 業務の遂行に必要なナレッジと実際のタスクが乖離している

マニュアルと実業務が別々の場所にあるため検索に時間がかかる課題を解決。タスク内にドキュメントを直接リンクさせ、文脈を維持したまま作業を行えます。

⚠️ 社内へのAIの導入と活用が遅れており、生産性を向上できていない

内蔵AI「ClickUp Brain」が全データを学習し、社内Wikiへの質問回答や、タスクの要約、サブタスク生成を自動化。AIを業務に組み込み劇的な効率化を支援します。

⚠️ 経営層が必要とする目標管理と現場のタスクが連動していない

経営目標と現場のタスクが切り離され、形骸化している課題に対応。目標（Goals）機能により、進捗をタスク完了率と自動連動させ、戦略実行の確実性を高めます。

ClickUpは、「One app to replace them all（全てのアプリをこれひとつに）」を掲げる、世界中の企業で採用されているオールインワンの生産性向上プラットフォームです。従来のプロジェクト管理ツールの枠を超え、タスク管理、ドキュメント、ホワイトボード、チャット、ゴール管理などを単一のインターフェイスに集約しています。最大の特徴は、極めて高いカスタマイズ性です。組織構造（スペース、フォルダー、リスト）を柔軟に設計でき、カスタムフィールド機能を活用することで、CRMやバグトラッキング、OKR管理など、あらゆる業務プロセスをデジタル化できます。また、強力なAIアシスタントが搭載されており、情報の検索、要約、文章作成を支援することで、組織全体の生産性を底上げします。エンタープライズ企業向けには高度なセキュリティー機能や権限設定を提供しており、スタートアップから大規模組織のDX推進基盤として幅広く利用されています。

主な機能

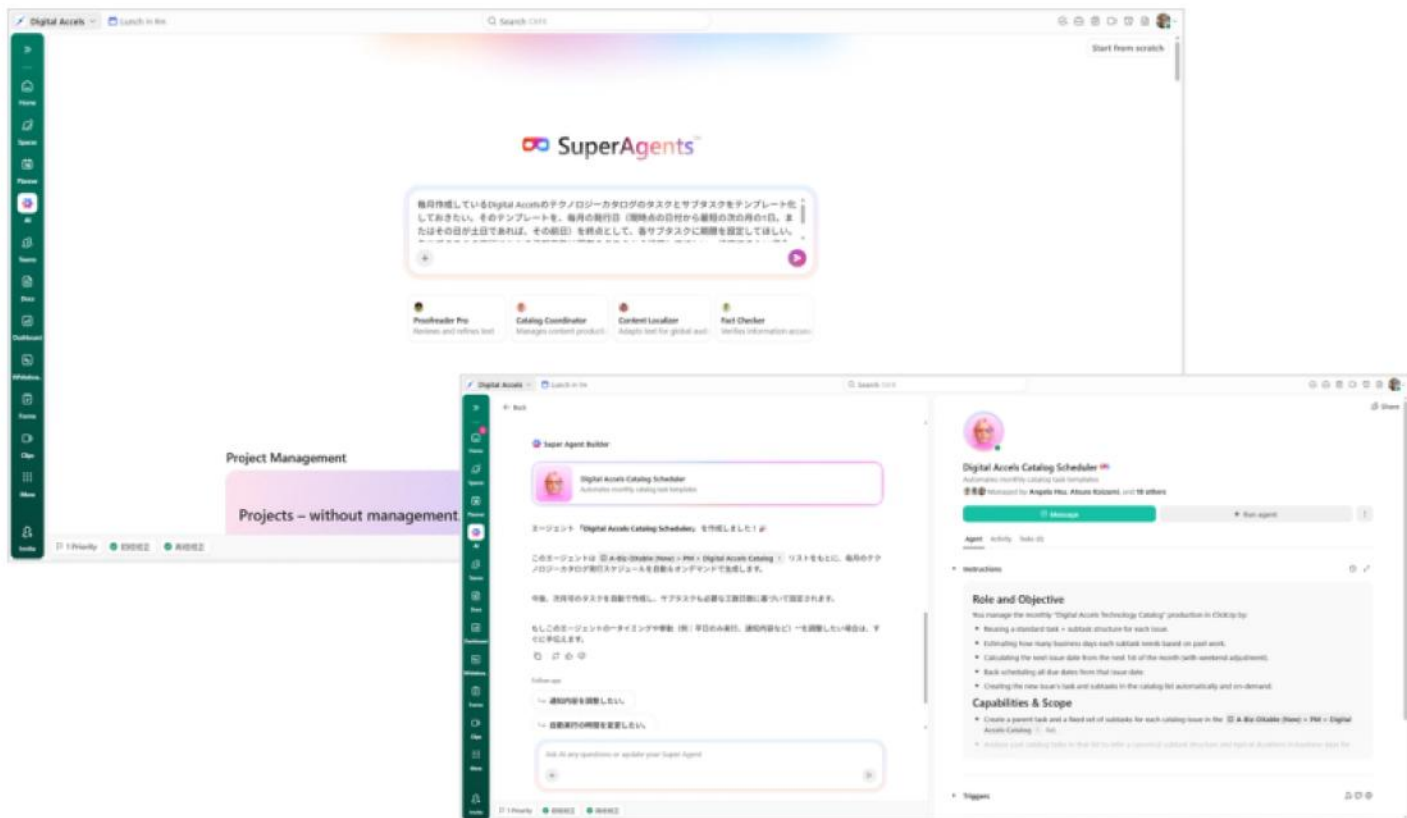
- ・多様なタスクビュー
- ・ClickUp Docs（ドキュメント編集、Wiki作成）
- ・ClickUp Brain（タスクやドキュメントを横断的に管理）
- ・ホワイトボード（チャート作成とタスクへの即時変換）
- ・ダッシュボード（リアルタイムに状況を可視化）
- ・Automations（ノーコードで業務ワークフロー自動化）
- ・外部連携（Slack、GitHub、Zoom、Google Driveなど1,000以上のツールと連携）

ベンダー情報

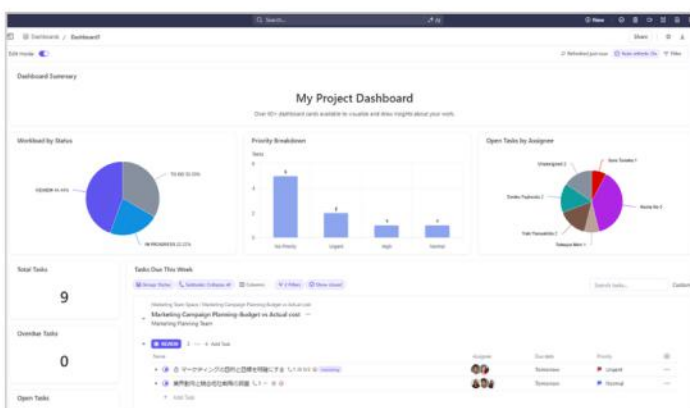
社名：Mango Technologies

所在地：米国・カリフォルニア州サンディエゴ

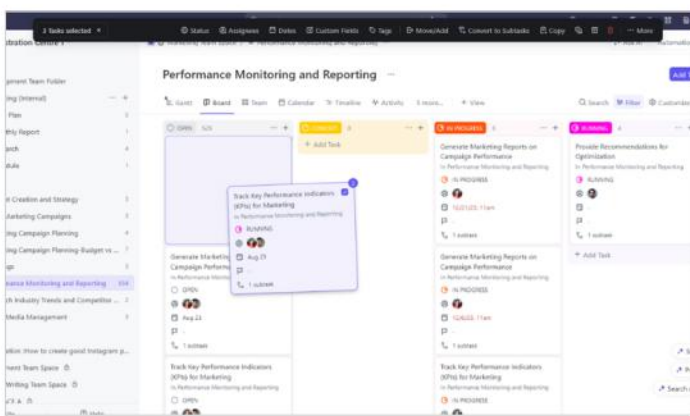
2017年創業



▲ClickUp 4.0のSuper Agentsは、指示一つで自律的に動くAIの「同僚」。ワークフローの構築から実行まで、24時間体制で代行する



▲プロジェクトの状況を一目で把握できるダッシュボード。タスクの進捗、優先度、担当者の負荷などを一画面に配置できる



▲タスクをカード形式で可視化するカンバンボード。ドラッグ＆ドロップの直感的な操作で、ステータス移動もスムーズ

主な価格プラン（参考価格）



Free Forever

\$0

無料、個人利用向け。
タスク管理の基本機能、60MBのストレージ

Unlimited

\$7／メンバー／月（年払い）

Free Foreverに加えて、ストレージ無制限、ゲスト招待、
ガントチャート無制限、インテグレーション無制限

Business

\$12／メンバー／月（年払い）

Unlimitedに加えて、高度なタイムトラッキング、
SSO（Google/Microsoft）、高度な自動化、
ワークロード管理

Enterprise

お問い合わせください

大規模組織向け。SSO（Oktaなど）、高度な権限設定、
カスタムロール、専任のサクセスマネージャー、HIPAA/
GDPR準拠などの高度なセキュリティ対応

無料トライアルのお申し込みはこちら <https://forms.digitalaccels.com/contact>



LaunchDarkly

LaunchDarkly ➔

デプロイとリリースを分離し、最小リスクでのソフトウェア提供を実現

<https://digitalaccels.com/products/launchdarkly/>



この製品が解決できる主な課題

▲ デプロイと公開が直結しており、リスク回避のためリリース頻度が低下している

フィーチャートグル機能によりデプロイ（配置）とリリース（公開）を分離し、安全かつ高頻度な機能提供を実現して、リリースのリスクを最小化します。

▲ テストのためのコード分岐や環境構築が複雑で、実施に多くの時間がかかっている

GUIベースの直感的な操作でターゲットやセグメントを指定し、複雑なコード変更なしに即座にA/Bテストを実行できる環境を提供して改善サイクルを回します。

▲ 本番障害発生時のロールバックに時間がかかり、ダウンタイムが長引いてしまう

障害発生時に該当機能のトグルをオフにするだけで、コードの修正なしに即座に機能を無効化し、サービスへの影響とダウンタイムを最小限に抑えます。

▲ 顧客ごとの機能出し分けに別環境が必要で、開発と運用の工数が肥大化している

ターゲット設定機能により、同一のコードベースでありながら特定のユーザー群にのみ機能を公開することを可能にし、環境を分けることなく個別対応を実現します。

▲ 長期間のブランチ運用により環境差が生じ、マージ時のバグ発生率が高まっている

開発中のコードをメインブランチに統合しつつトグルで非表示にすることで、環境間の乖離を防ぎ、マージ時のコンフリクトやバグのリスクを低減します。

▲ リスクある機能の制御が難しく、セキュリティ上の懸念が払拭できていない

リスクの高い機能を特定の条件下でのみ有効化するように制御することで、セキュリティチームが本番環境への影響範囲を限定し、安全な運用を担保します。

LaunchDarklyは、現代のソフトウェア開発における最大のリスクである「リリース」を制御するための、エンタープライズ向けフィーチャートグル（機能フラグ）管理プラットフォームです。従来の開発では、「デプロイ（コードの配置）」と「リリース（機能の公開）」が結合しており、デプロイと同時にバグが本番環境に公開されるリスクがありました。LaunchDarklyは、この2つを完全に分離します。開発チームはフィーチャートグルを使って、未完成の機能でも安全にコードをメインブランチにマージし、本番環境にデプロイできます。その後、マーケティングチームやPMは、GUIベースのダッシュボードから、特定の顧客セグメント（例：ベータテスター、特定の国）に対してのみ新機能を段階的に公開（プログレッシブデリバリー）できます。万が一問題が発生しても、「キルスイッチ」で即座に機能を無効化でき、コードのロールバックは不要です。

主な機能

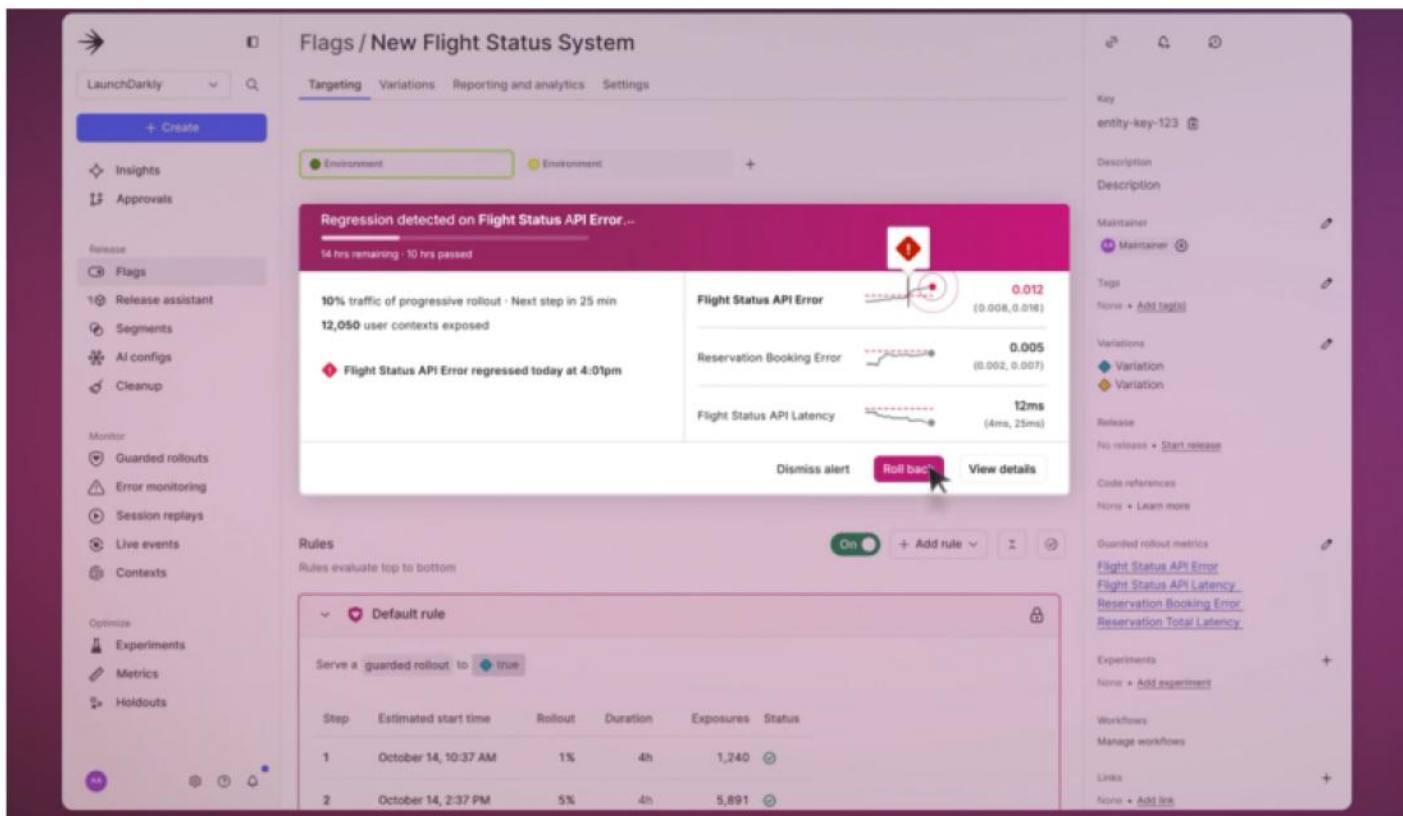
- ・フィーチャートグル
- ・ターゲット設定
- ・キルスイッチ
- ・A/Bテスト
- ・プログレッシブデリバリー
- ・ローリングアウト
- ・カスタムセグメント
- ・ガバナンスと監査証跡

ベンダー情報

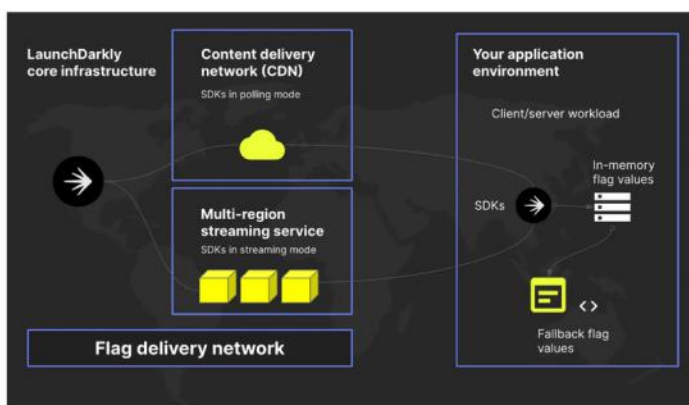
社名：Catamorphic Co.

所在地：米国・カリフォルニア州オークランド

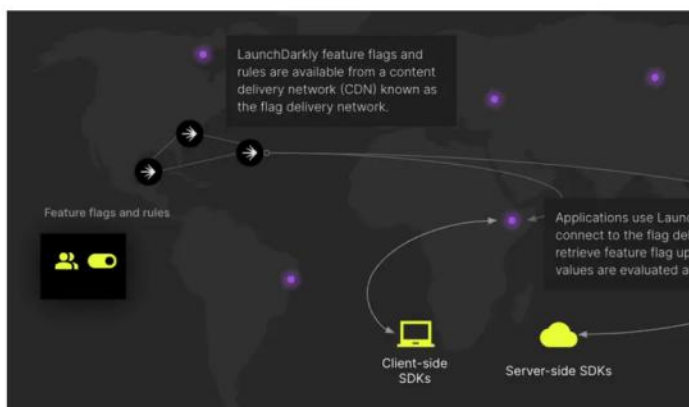
2014年創業、非上場



▲LaunchDarklyのフィーチャーフラグ管理ダッシュボードの例。エラーに関する回帰が検出されると警告して、対応を促している



▲LaunchDarklyの構成。コードのデプロイと機能のリリースを分離。新機能の段階的な展開や即時の無効化が可能になる



▲LaunchDarklyのフラグとルールは、独自のフラグ配信ネットワークというCDNで配信される

主な価格プラン（参考価格）



Developer

\$0/月

プロジェクトフィーチャーのフラグ付けと実験

Foundation

\$10/サービス接続/月（年払い）ほか

成長中のチーム向けのフィーチャー管理と実験

Enterprise

お問い合わせください

高度なフィーチャー管理と大規模な実験

お問い合わせはこちら

<https://forms.digitalaccels.com/contact>





Smartsheet

組織のコラボレーションと業務プロセスをスマートに再構築

<https://digitalaccels.com/products/smartsheet/>



この製品が解決できる主な課題

△ 表計算ソフトでの管理に限界があり、データ更新や共有の手に間に時間を奪われている

リアルタイムのデータ共有と自動化されたワークフロー機能を提供し、脱スプレッドシートによる管理の効率化を実現して、チーム全体の生産性を向上させます。

△ 各自の進捗状況が見えず、全体像の把握や遅れへの対処が後手に回っている

高機能なダッシュボードとレポートで複数プロジェクトの状況をリアルタイムに可視化し、リスクの早期発見と迅速な意思決定を可能にする環境を提供します。

△ 部署ごとにデータが分断されており、横断的な連携や統一した意思決定ができない

営業、マーケティング、ITなど異なる部門のデータを単一のプラットフォームに集約し、組織の壁を越えたスムーズな情報連携と全社的な協業を促進します。

△ 承認や通知などの手作業によるミスが多発し、業務品質の低下を招いている

承認フローや通知などのルーティン業務をノーコードの自動化機能でシステム化し、人為的なミスを排除しながら業務プロセスの品質とスピードを向上させます。

△ 専門ツールは操作が難しく、現場への定着や全社的な活用が進まない課題がある

多くのユーザーが使い慣れたスプレッドシート形式のUIを採用しつつ高度な管理機能を提供することで、学習コストを抑えて全社へのスムーズな導入を実現します。

△ 変更履歴や操作ログが残らず、監査対応やセキュリティ管理に不安がある

誰がいつどのデータを変更したかという詳細な操作履歴を自動的に記録し、監査可能な証跡として管理することで、コンプライアンス要件への確実な対応を支援します。

Smartsheetは、組織のあらゆる業務プロセスとコラボレーションを管理・自動化するインテリジェントワークマネジメント（IWM）プラットフォームです。多くの組織が未だにスプレッドシートで複雑なプロジェクトを管理しようとし、リアルタイムの状況把握の遅延や、部門間のサイロ化に苦しんでいます。Smartsheetは、馴染みのあるスプレッドシート形式のUIを維持しつつ、ガントチャート、ボード、カレンダーといった多様なビューを提供。プロジェクトのステータスを即座に可視化し、リスクを早期に特定します。SmartsheetのAIエージェントは、遅延リスクの事前検知やタスク自動変更、ダッシュボード構築まで、自律または対話形式でサポートします。データの要約・翻訳のほか外部AI連携（MCP連携）も備えており、安全な業務自動化を実現します。

主な機能

- ・リアルタイムのデータ共有
- ・自動化されたワークフロー
- ・ガントチャート
- ・ボードビュー
- ・リソースマネジメント
- ・フォーム
- ・レポート機能
- ・ダッシュボード
- ・100以上の連携機能

ベンダー情報

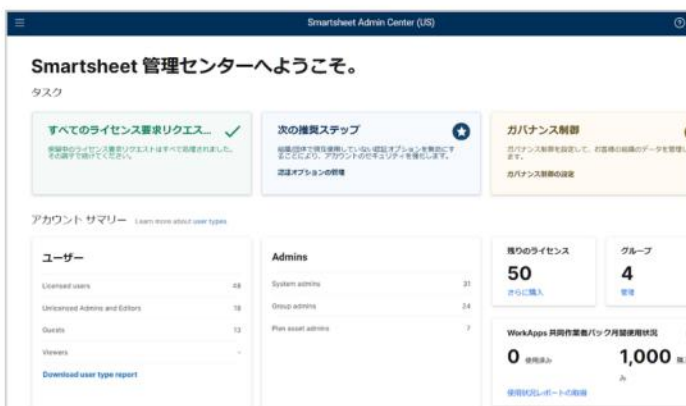
社名：Smartsheet

所在地：米国・ワシントン州ベルビュー

2005年創業、2018年にNYSE上場、2024年にBlackstoneとVista Equity Partnersが買収し非公開化



▲Smartsheetは、組織のチームメンバーが情報とワークフローを共有するためのダイナミックなワークスペースだ



▲Smartsheetの管理センターでは、各プロジェクトの進行状況を視覚的に把握し、チーム全体での進捗を効率的に管理できる



▲フォームやフローを含む豊富なテンプレートが揃っており、プロジェクトの立ち上げをスムーズにサポート

主な価格プラン（参考価格）



Pro

¥1,200／ユーザー／月（年払い）

編集者ユーザー数は最大10名、さらに豊富な機能でプロジェクトを管理できる、企業向けプラン

Business

¥2,500／ユーザー／月（年払い）

複雑なソリューションや全社的なセキュリティと制御を構築する必要がある組織向け

Enterprise

お問い合わせください

10名以上で、複雑なソリューションと全体のセキュリティとガバナンスの構築を必要とする組織向け

Advanced Work Management

お問い合わせください

Enterpriseに加え、大規模な作業ポートフォリオ管理とシステム全体の接続を必要とする組織向け



無料トライアルのお申し込みはこちら <https://forms.digitalaccels.com/contact>



Brandfolder

全てのブランドアセットを一つのハブで一元管理・簡単に共有

<https://digitalaccels.com/products/brandfolder/>



この製品が解決できる主な課題

必要な画像や資料の検索に多くの時間を費やし、本来の業務時間が圧迫されている

高度な検索機能とタグにより、膨大なファイルの中から必要なアセットを瞬時に発見できるようにし、検索にかかる時間を大幅に短縮します。

古いロゴや規定違反の画像が使われ、ブランドの信頼性や統一感が損なわれている

承認済みの最新アセットのみを一元管理して配布することで、誤ったデータの使用を未然に防ぎ、全てのチャンネルで統一されたブランドイメージを保証します。

制作物の確認や承認がメールなどに分散し、フィードバックの遅延や混乱が起きている

プラットフォーム上で直接プレビューやレビューを行える承認ワークフローを構築し、制作プロセスを合理化することで、チーム間の連携をスムーズにします。

外部へのファイル送付作業が頻繁に発生し、共有手段の安全性にも不安がある

期限付きで安全にアクセスできる共有ポータルを提供し、外部パートナーへ必要なアセットだけを効率的に配布することで、煩雑なファイル共有作業を解消します。

過去の高品質な素材が活用されず、類似の制作物を新たに作る無駄なコストが発生

アセットの使用状況を分析して可視化することで、既存素材の有効活用を促進し、埋もれていたアセットを再利用させることで無駄な制作コストを削減します。

権利関係や使用期限の管理が煩雑で、コンプライアンス違反のリスクがある

各アセットの利用規約、期限、著作権情報をメタデータとして正確に管理し、期限切れ素材の使用を自動で制限することで、法的なリスクを確実に回避します。

Brandfolderは、Smartsheetファミリーの強力なデジタルアセットマネジメント（DAM）プラットフォームであり、企業の最も重要なアセットである「ブランド」を一元管理・保護します。多くの企業では、ロゴ、画像、動画、製品資料といったアセットが部門ごとのサーバーやクラウドストレージに分散し、検索に膨大な時間が費やされています。Brandfolderは、高度な検索機能により、必要なアセットを瞬時に特定し、古いロゴの使用やガイドライン違反といったブランドイメージの不統一を防ぎます。また、プラットフォーム内での直接レビューと承認ワークフローにより、制作プロセスを合理化します。外部パートナーにも安全かつ期限付きでアセットを共有できるポータルを提供します。アセットの利用状況を分析し、再利用を促進することで、無駄な再制作コストを削減できます。

主な機能

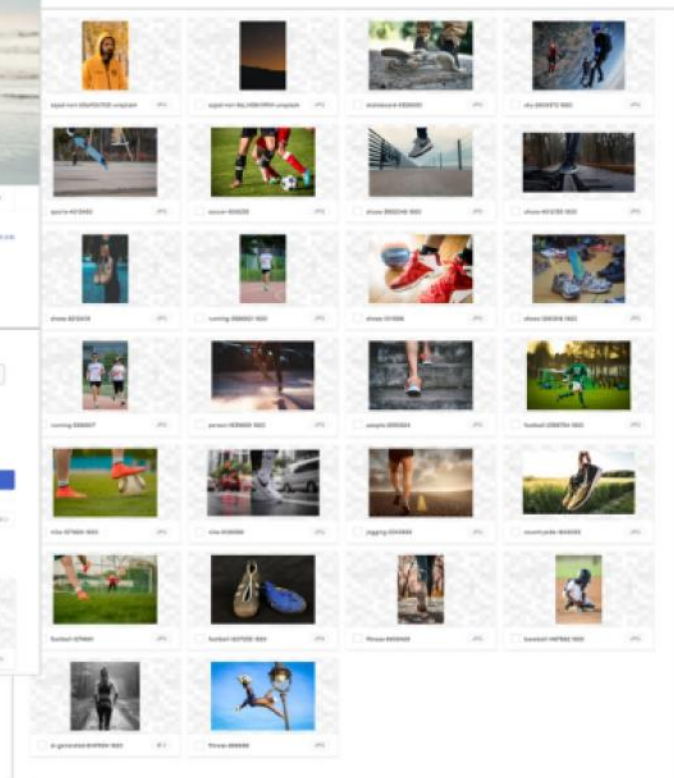
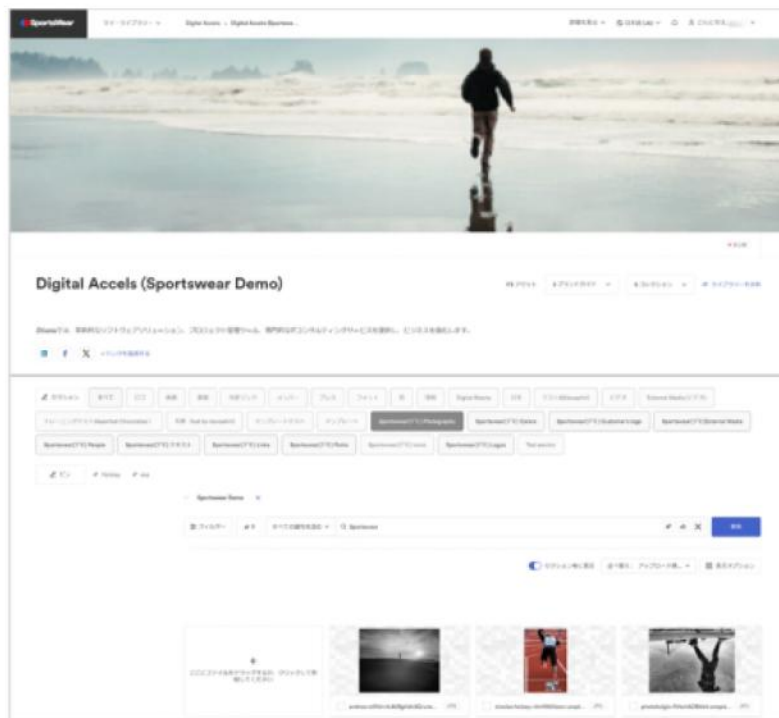
- ・高度な検索
- ・著作権管理機能
- ・カスタマイズ可能なポータル
- ・利用状況分析
- ・バージョン管理
- ・ブランドガイドラインの埋め込み
- ・クリエイティブ制作フロー管理
- ・インテグレーション

ベンダー情報

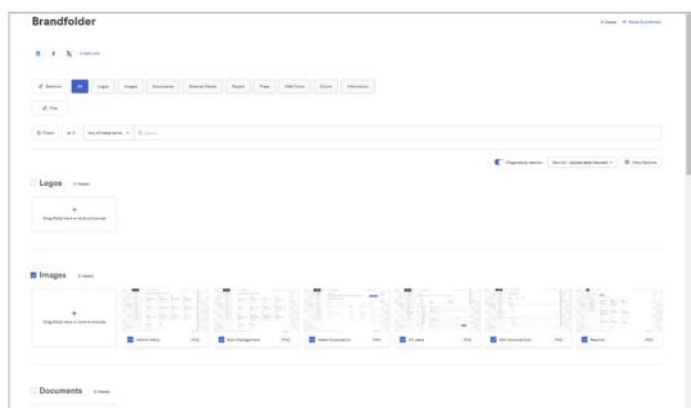
社名：Smartsheet

所在地：米国・ワシントン州ベルビュー

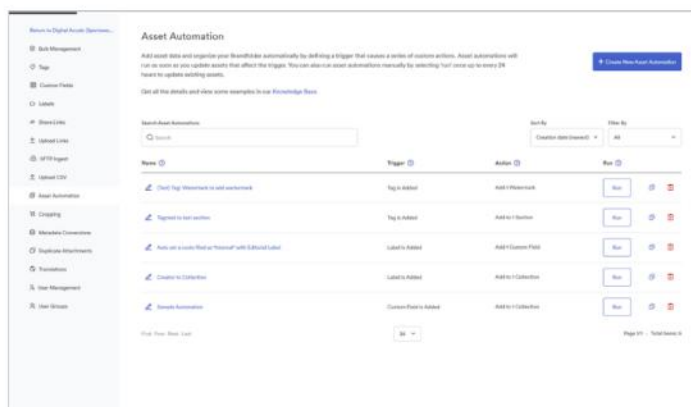
2005年創業、2018年にNYSE上場、2024年にBlackstoneとVista Equity Partnersが買収し非公開化



▲Brandfolderを活用すれば、さまざまなブランドアセットの管理と運用を最適化し、効率的な業務を実現できる



▲ブランドを訴求するためのデジタルアセット（各種のイメージやドキュメント）を1カ所で集中管理できる



▲アセットの追加時にタグ付けや画像のサイズ変更などを自動実行するといったワークフローを定義できる

主な価格プラン（参考価格）



Premium

お問い合わせください

コア機能＋組み込みの分析、一括アセット管理、
タグ付け機能

Enterprise

お問い合わせください

Premiumに加え、大規模展開向けの自動化・制御機能

無料トライアルのお申し込みはこちら <https://forms.digitalaccels.com/contact>





Vimeo

高品質な動画活用を、社内向けからマーケティングまで幅広く加速する

<https://digitalaccels.com/products/vimeo/>



この製品が解決できる主な課題

△ 社外秘の動画を一般サイトで扱うのは危険で、情報漏洩のリスクがある

パスワード保護、ドメイン制限、SSOなどの高度なセキュリティ機能を提供し、機密性の高い企業動画を関係者だけに安全に共有できる環境を構築します。

△ 動画制作には専門スキルが必要で、内製化が難しく外注コストもかさむ

AIを活用した編集機能や画面録画ツールにより、専門知識がなくても誰でも簡単にプロ品質の動画を作成＆編集でき、動画活用の内製化とコスト削減を促進します。

△ テキスト連絡では情報が伝わりづらく、社員の関心や理解度が低いままになる

経営メッセージや研修を動画化してライブやオンデマンドで配信することで、文字よりも情報量豊かに意図を伝え、社員のエンゲージメントと理解度を向上させます。

△ 動画がどう見られているか詳細が分からず、効果測定や改善ができていない

視聴者の離脱ポイントや地域などを詳細に分析する機能を提供し、動画パフォーマンスをデータで可視化することで、マーケティング効果を高める改善につなげます。

△ 制作パートナーとの動画確認や修正指示のやり取りが煩雑で時間がかかる

動画のタイムライン上に直接コメントや修正指示を書き込めるレビュー機能により、関係者間のフィードバックを効率化し、制作プロセスのスピードを上げます。

△ プレーヤーのデザインを変えられず、自社サイトのブランド感を損ねている

プレーヤーの色やロゴ、終了画面を自由にカスタマイズできる機能により、自社のブランドガイドラインに沿った一貫性のある動画視聴体験を顧客に提供します。

Vimeoは、企業の社内コミュニケーション、マーケティング、トレーニングにおける動画活用を加速させる、エンタープライズ向け動画ホスティングプラットフォームです。機密情報を含む企業動画をYouTubeのような一般プラットフォームで管理することにはセキュリティリスクが伴います。Vimeoは、パスワード保護、ドメイン制限、プライベートモードなど、高度なセキュリティ制御を提供し、動画資産を安全に管理します。また、AIを活用した動画編集機能やシンプルな録画ツールにより、専門知識がなくてもプロ品質の動画コンテンツを容易に作成できます。詳細な動画分析機能により、誰が動画を視聴し、どこで離脱したかを正確に把握。ライブイベント配信や、動画に直接フィードバックを残せるコラボレーション機能も備え、視覚的で効果的なコミュニケーションを実現します。動画を起点とした業務フローを構築することで、組織全体の生産性とエンゲージメントを最大化します。

主な機能

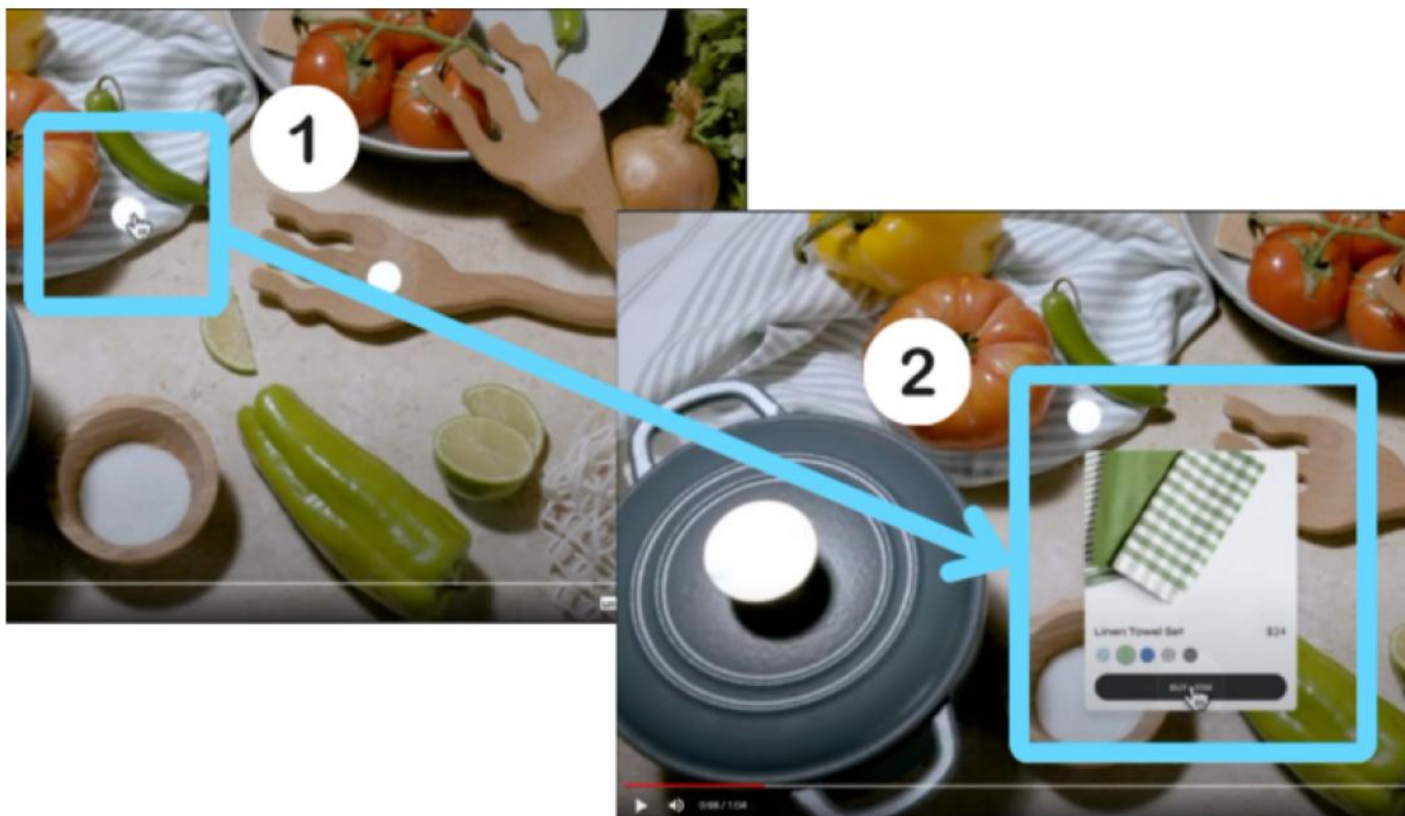
- ・高度なセキュリティ制御
- ・AI動画編集
- ・ライブイベント配信
- ・詳細な動画分析
- ・レビューとコラボレーション機能
- ・ブランディングカスタマイズ
- ・広告非表示

ベンダー情報

社名：Vimeo

所在地：米国・ニューヨーク州ニューヨーク

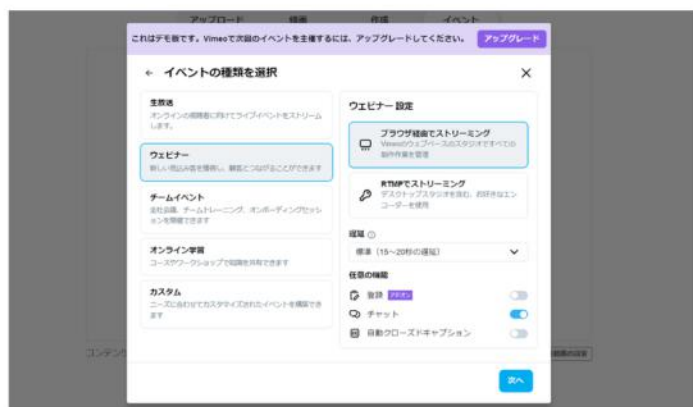
2004年創業、2025年にBending Spoonsが買収し子会社化



▲Vimeoなら動画にボタン等のインタラクティブ要素を埋め込んで、視聴者との双方向コミュニケーションが可能な動画を作成できる



▲動画を用いたイベント設計が容易になり、過去のイベントの情報も活用できる。演出の幅を広げることができる



▲イベントの種類を選択するだけで、必要な設定手順を自動的に案内してくれるので、担当者の作業負担を大きく軽減できる

主な価格プラン（参考価格）



Enterprise

お問い合わせください

動画の作成・編集から管理・共有・配信まで、
エンタープライズグレードのセキュリティ、
コントロール、サポート



無料トライアルのお申し込みはこちら <https://forms.digitalaccels.com/contact>



ワークマネジメントプラットフォーム

Hive

チームの生産性を最大化し、プロジェクトを加速させる
オールインワンワークスペース

<https://digitalaccels.com/products/hive/>



この製品が解決できる主な課題

- △ **チーム内の情報やツールが分散し、プロジェクト全体の進捗を迅速に把握できない**

プロジェクト、タスク、チャット、ファイル共有を単一のプラットフォームに統合。情報の一元管理により、透明性と迅速な意思決定を実現します。
- △ **複数のプロジェクトにおけるリソースの負荷状況を正確に把握できず、適切な人員配置が困難である**

チームリソース管理機能により、各メンバーの稼働状況やプロジェクトの負荷を可視化。適切な人員配置と過負荷の予防を可能にします。
- △ **複雑な承認プロセスや定型作業が多く、業務のボトルネックとなり生産性が低下している**

強力な自動化機能（Hive Automate）とワークフロービルダーで、タスクの割り当て、ステータス更新、承認プロセスを自動化し、手作業を大幅に削減します。
- △ **既存のツールがプロジェクトの多様な進め方（スクラム、ハイブリッドなど）に対応できていない**

ガント、カンバン、カレンダー、表形式など、チームやプロジェクトのニーズに合わせて最適な表示形式を柔軟に切り替え、アジャイルなプロセス実行を支援します。
- △ **メンバー各自の作業時間とプロジェクト費用の関連付けが困難で、コスト管理が非効率である**

タスクごとの柔軟な時間追跡とタイムシート提出機能を提供。プロジェクト単位での正確な時間レポートを作成し、適切なコスト分析を支援します。
- △ **外部パートナーや顧客との協業が煩雑で、フィードバックや承認に時間がかかる**

堅牢な校正・承認機能と外部ユーザー管理により、デザインレビューやドキュメント承認をプラットフォーム内で完結させ、迅速な合意形成を促進します。

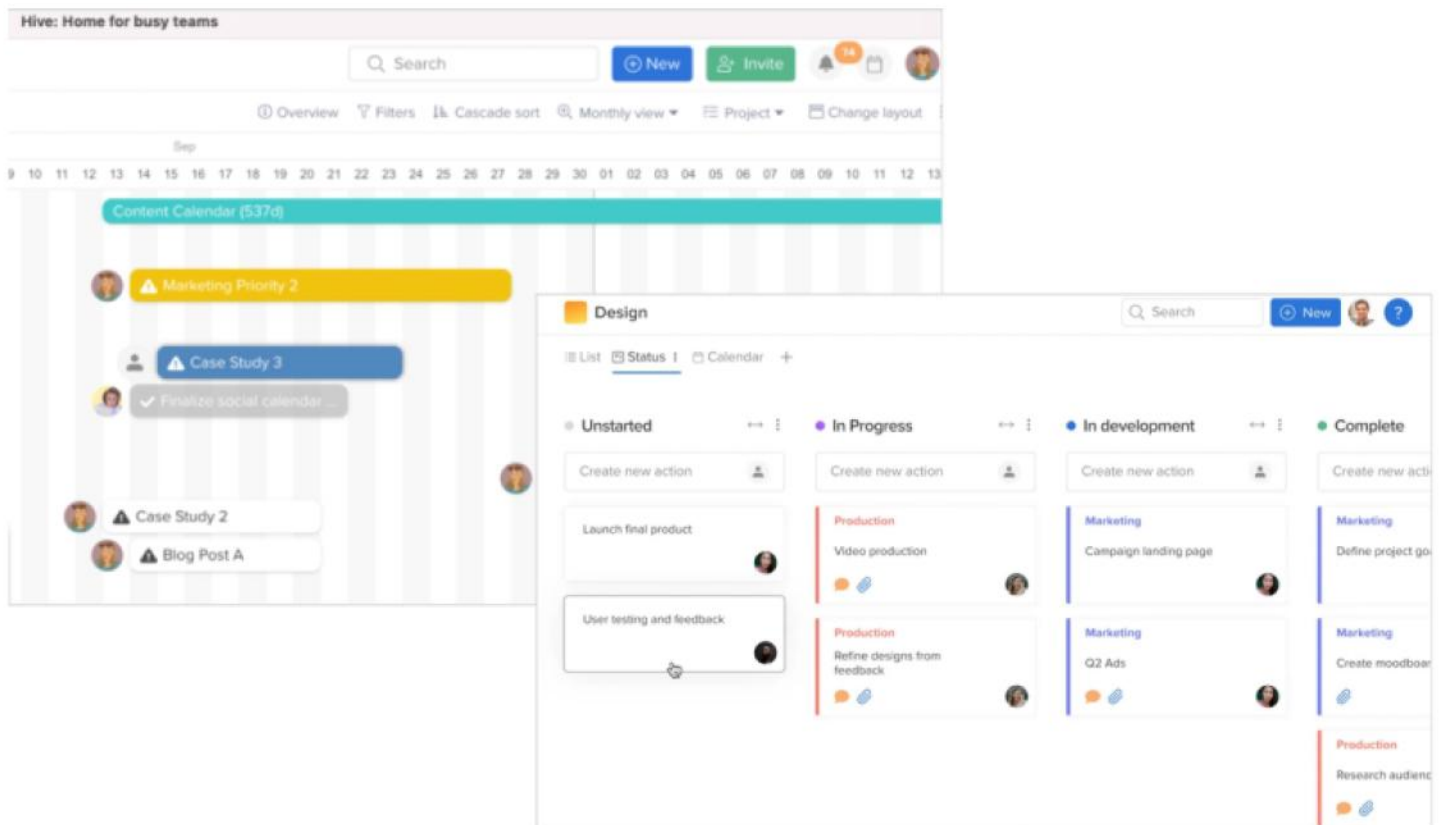
Hiveは、プロジェクト管理、コラボレーション、リソース管理、自動化を統合し、「ユーザー中心」にチームの働き方を考えて設計したオールインワンプラットフォームです。ガントチャート、カンバン、アジャイルトラッキングなど多様な視覚化オプションを提供し、何千ものチームの日々の業務を加速させています。AIアシスタント「Buzz」がタスク作成、メールドラフト、会議設定などの日常業務を自動化し、チームの戦略業務への集中を強力にサポートします。また、SlackやZoomなど1,000以上のツールと連携し、情報を一元化することでアプリ切り替えの手間を解消します。Hiveは、ユーザーコミュニティのフィードバックを基に製品開発を進める民主的なアプローチを重視しており、現場の具体的なニーズに迅速に対応します。強力な校正・承認機能やリアルタイム分析も備え、単なるタスク管理を超えて組織全体の生産性を最大化する基盤となります。

主な機能

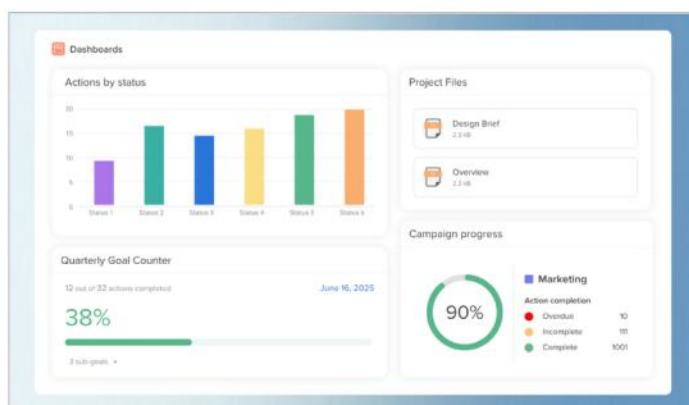
- ・柔軟なプロジェクトビュー（ガント、カンバン、テーブル、カレンダー）
- ・リソースと稼働状況の追跡と管理
- ・タスクごとの時間追跡とタイムシート
- ・ワークフロー自動化と1,000以上の外部連携
- ・校正・承認機能
- ・ネイティブなアプリ内チャットとノート機能
- ・AIアシスタント「Buzz」による支援

ベンダー情報

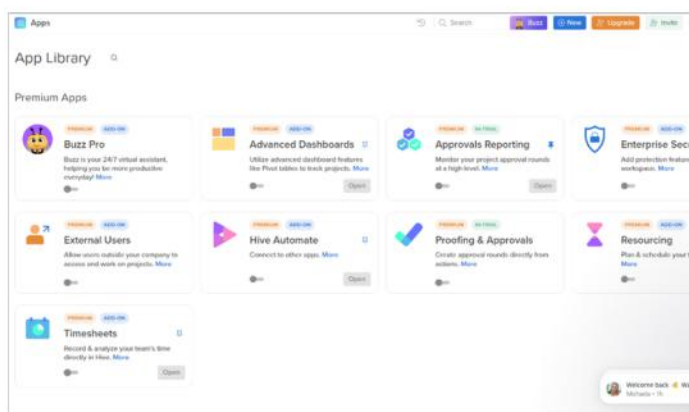
社名：Hive
所在地：米国・ニューヨーク州ニューヨーク
2016年創業、非上場



▲プロジェクトの進捗を瞬時に把握できる多様なビュー（ガント、カンバンなど）



▲チームの負荷を可視化し、リソースの最適化を可能にするダッシュボード



▲繰り返し作業を自動化し、コア業務への集中を促すワークフローが利用可能

主な価格プラン（参考価格）



Free
\$0/月

10名まで、ストレージ200MBまで

Teams

\$12/ユーザー/月（年払い）

ワークスペース数無制限など

Enterprise

お問い合わせください

高度なセキュリティ、カスタムサポートなど

無料トライアルのお申し込みはこちら <https://forms.digitalaccels.com/contact>



ZELLO

Zello

スマホやPCを瞬時に業務用トランシーバーに変え、現場の連携を強化

<https://digitalaccels.com/products/zello/>



この製品が解決できる主な課題

電話やチャットでは連絡が遅れ、現場での瞬時の判断や連携ができない

スマートフォンをプッシュツートーク（PTT）端末として活用し、ボタン一つで即座につながる音声通信を実現して、現場のリアルタイムな連携を強化します。

専用機器は高価で通信距離の制限もあり、導入や運用のハードルが高い

既存のスマホとデータ通信網を利用することで専用機器のコストを削減し、距離や周波数の制限なく世界中どこでもつながる広域通信環境を低コストで構築します。

多数の現場チームごとの連絡網（チャンネル）を作成・管理するのが大変である

管理画面から無制限に通信チャンネルを作成し、ユーザーの参加権限などを一括管理できるため、組織構造に合わせた柔軟な連絡網を簡単に構築＆運用できます。

音声での指示が記録に残らず、後からの確認やトラブル時の検証ができない

全ての音声通話とメッセージ履歴をクラウドに自動保存し、いつでも再生＆確認可能にすることで、業務の透明性を確保しコンプライアンス監査にも対応します。

さまざまなOSや機種が混在しており、全員が参加できる共通の通信手段がない

iOS、Android、PC、専用端末など多様なデバイスに対応したアプリを提供し、機種やOSの違いを問わず全従業員がシームレスにつながる通信環境を実現します。

緊急事態発生時に、全員へ確実に情報を伝え即座に行動させる手段がない

緊急アラート機能により、マナーモード設定中でも強制的に音声を再生させて注意を喚起し、危機的状況において全従業員への確実な情報伝達と迅速な避難を支援します。

Zelloは、スマートフォン、タブレット、PCを、瞬時に双方向の音声通信が可能な業務用トランシーバーに変える、クラウドベースのPTT（プッシュツートーク）ソリューションです。小売り、物流、建設、ホスピタリティーといった現場の業務では、電話やメッセージングアプリでは実現できない「即時性」と「一斉連絡」が不可欠です。Zelloは、従来の専用トランシーバー機器のコストや通信距離の制約を排除し、既存のデバイスと広域Wi-Fi／モバイルデータ通信網を活用して、広域での対話を実現します。管理者は管理コンソールから数の制限なしにチャンネルを作成し、ユーザーのアクセス権を細かく制御できます。全ての音声通信はクラウドに自動で記録＆保存されるため、後からの聞き直しができるほか、コンプライアンス上必要になる監査にも対応します。緊急アラート機能も備えており、現場の安全と連携を強力にサポートします。

主な機能

- ・プッシュツートーク（PTT）
- ・無制限チャンネル
- ・音声履歴の記録と保存
- ・管理コンソール
- ・緊急アラート
- ・マルチプラットフォーム対応
- ・GPSトラッキング
- ・セキュリティ機能

ベンダー情報

社名：Zello

所在地：米国・テキサス州オースティン

2012年創業、非上場



デジタルエクスペリエンスプラットフォーム（DXP）

Optimizely

データとAIに基づく実験で、顧客体験とマーケティング成果を最大化

<https://digitalaccels.com/products/optimizely/>



この製品が解決できる主な課題

⚠ 施策の効果検証が不十分で、改善の仮説が正しいか判断できず成長が遅れている

ウェブやアプリでのA/Bテストを迅速に実行して施策の影響を定量的に評価し、データに基づいた確実な改善サイクルを回すことで顧客体験を向上させます。

⚠ 一律の対応しかできず、個々の顧客ニーズに合わないため成果が上がらない

AIが顧客の行動や属性を分析して最適なコンテンツを自動で出し分けることで、一人ひとりにパーソナライズされた体験を提供し、コンバージョン率を高めます。

⚠ コンテンツの制作から公開までの工程が煩雑で、市場への展開に時間がかかりすぎる

強力なCMSと統合ワークフローにより、コンテンツの作成、承認、公開プロセスを一元管理して効率化し、市場投入までの時間を短縮して機会損失を防ぎます。

⚠ ツール間でデータが連携されず、施策が分断されて一貫性のある体験を提供できない

DXPとしてマーケティングデータを統合管理し、実験結果や顧客情報を他のツールとシームレスに連携させることで、チャンネルを横断した一貫性のある施策を実現します。

⚠ 経験や勘に頼った判断が多く、施策の成果に再現性がないため失敗を繰り返す

統計的に有意なテスト結果とデータに基づいた意思決定プロセスを確立することで、属人的な判断を排除し、確実性の高いマーケティング施策の実行を支援します。

⚠ 複雑な価格設定やサブスクリプションモデルへの対応が難しく、収益化が遅れている

柔軟な収益化機能により、顧客ライフサイクルに合わせた複雑な価格モデルやサブスクリプション管理を最適化し、ビジネスの収益性を最大化させます。

Optimizelyは、企業がデータに基づいた顧客体験（CX）の最適化を実行するための、包括的なデジタルエクスペリエンスプラットフォーム（DXP）です。多くの企業が、経験や勘に基づいてウェブサイトやアプリの変更を行い、施策の効果を客観的に測定できていません。Optimizelyは、強力な「A/Bテスト」および「マルチバリエイトテスト」機能を提供し、あらゆる変更がコンバージョン率やエンゲージメントに与える影響を統計的に有意なデータとして証明します。さらに、AIを活用した「パーソナライゼーション」機能により、顧客の行動履歴や属性に基づき、一人ひとりに最適なコンテンツや機能を自動で提供します。統合されたCMS（コンテンツ管理）とワークフロー機能により、コンテンツの作成から実験、公開までをシームレスに管理。デジタルマーケティングの成果を最大化するための、実験主導の文化を組織に根付かせます。

主な機能

- ・ A/Bテスト
- ・ マルチバリエイトテスト
- ・ パーソナライゼーション
- ・ 統合CMS
- ・ コンテンツオーケストレーション
- ・ フィーチャートグル
- ・ フルスタック実験
- ・ サブスクリプション収益化

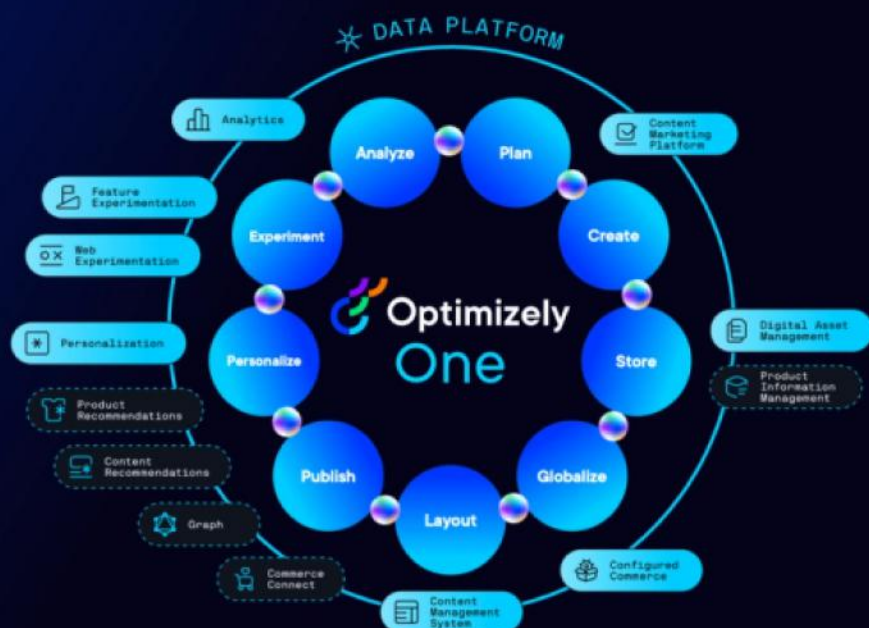
ベンダー情報

社名：Optimizely

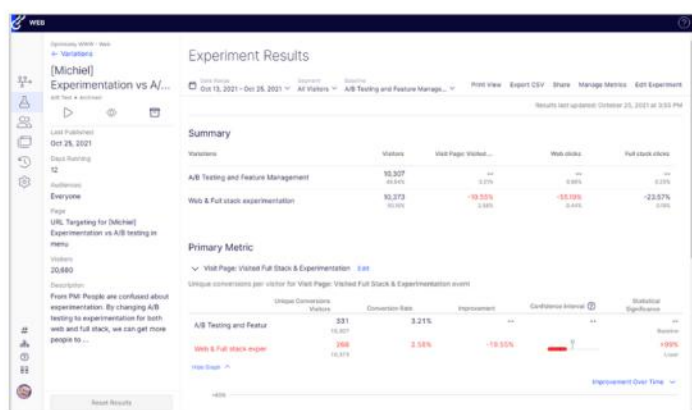
所在地：米国・ニューヨーク州ニューヨーク

2010年創業、非上場

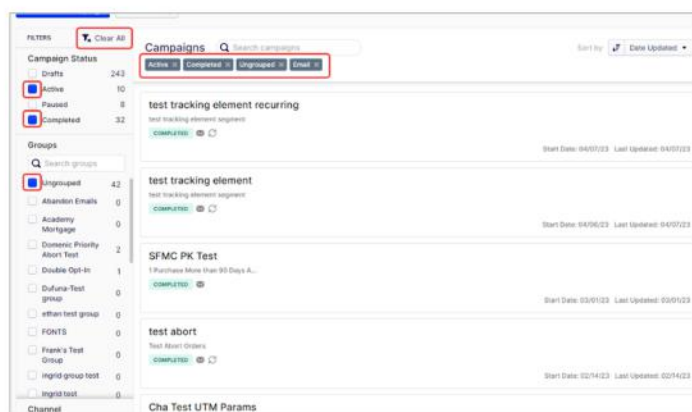
Meet the world's first
operating system
for marketing...



▲Optimizelyはマーケティング業務の全工程を統合。計画、制作から実験、分析までを一つの基盤でシームレスに接続する



▲A/Bテストの結果をリアルタイムに可視化。CVRなどの重要指標で各案を詳細に比較表示して最適な判断を支援する



▲ステータスやグループ別など、詳細なフィルター機能でキャンペーンを自在に絞り込み。膨大な施策もスマートに管理

主な価格プラン（参考価格）



Agentic CMS

お問い合わせください

かつてないほど簡単にサイトを作成、
公開、パフォーマンスを向上

Agentic Experimentation

お問い合わせください

あらゆる段階でAIを組み込み、継続的にテスト、
学習、最適化

Agent Platform

お問い合わせください

AIエージェントを構築して自社ブランドで教育し、
ワークフローを自動化

お問い合わせはこちら

<https://forms.digitalaccels.com/contact>





Harness

AIを活用し、CI/CD、セキュリティ、クラウドコスト管理を自律化

<https://digitalaccels.com/products/harness/>



この製品が解決できる主な課題

CI/CD環境の構築や維持が手作業で、開発者の時間が奪われ効率が悪い

AIを活用してパイプライン構築を自動化し、異常検出機能などで運用を自律化させることで、手作業を排除して開発者がコード作成に集中できる環境を作ります。

リリース後の障害検知や復旧が遅れ、サービスの信頼性が低下している

AIがデプロイ後の異常を即座に検知して自動ロールバックを実行し、SLO（サービスレベル目標）に基づいた信頼性の高いデリバリープロセスを確立します。

クラウド費用が不透明で無駄が多く、コスト最適化の手段が不足している

クラウドコストの継続的な監視とAIによるリソース最適化の提案により、無駄な支出を特定して削減し、インフラコストの効率的な運用を自動で支援します。

セキュリティ対策が後付けになり、開発スピードと安全性の両立が難しい

セキュリティテストをパイプラインに統合して自動実行することで、開発スピードを落とさずに脆弱性を早期発見し修正するDevSecOps体制を構築します。

トグル管理が煩雑化し、コードの複雑さとリリース時のエラー要因になっている

フィーチャートグルをプラットフォーム上で一元管理し、リリースの制御を簡素化することで、リスクの低い段階的な公開を実現します。

誰がいつ変更したかの記録収集が大変で、コンプライアンス対応に苦慮している

変更承認からデプロイまでの全プロセスを自動で記録＆追跡し、監査に必要な情報を即座に取り出せるようにすることで、コンプライアンス対応の工数を削減します。

Harnessは、AIを活用してソフトウェアデリバリーの全プロセスを自律化する、次世代のDevOpsプラットフォームです。従来のCI/CDパイプラインは構築と保守に多くの手作業を必要とし、リリース後の障害検知やロールバックも属人的な対応に依存していました。Harnessは、CI/CD、クラウドコスト管理、フィーチャートグル、セキュリティテスト（STO）、サービス信頼性管理（SRM）といったDevOpsの主要機能を単一のプラットフォームに統合します。AI駆動の異常検出機能は、デプロイの異常を即座に検知し、自動でロールバックを実行することで、リリースの信頼性を劇的に向上させます。また、クラウドコスト管理モジュールは、リソースの非効率な利用をAIが特定し、継続的なコスト最適化を支援。DevSecOpsをパイプラインにネイティブに統合し、安全で高速なデリバリーを実現します。開発者は複雑なスクリプト保守から解放され、本来の価値創造に集中できるようになります。

主な機能

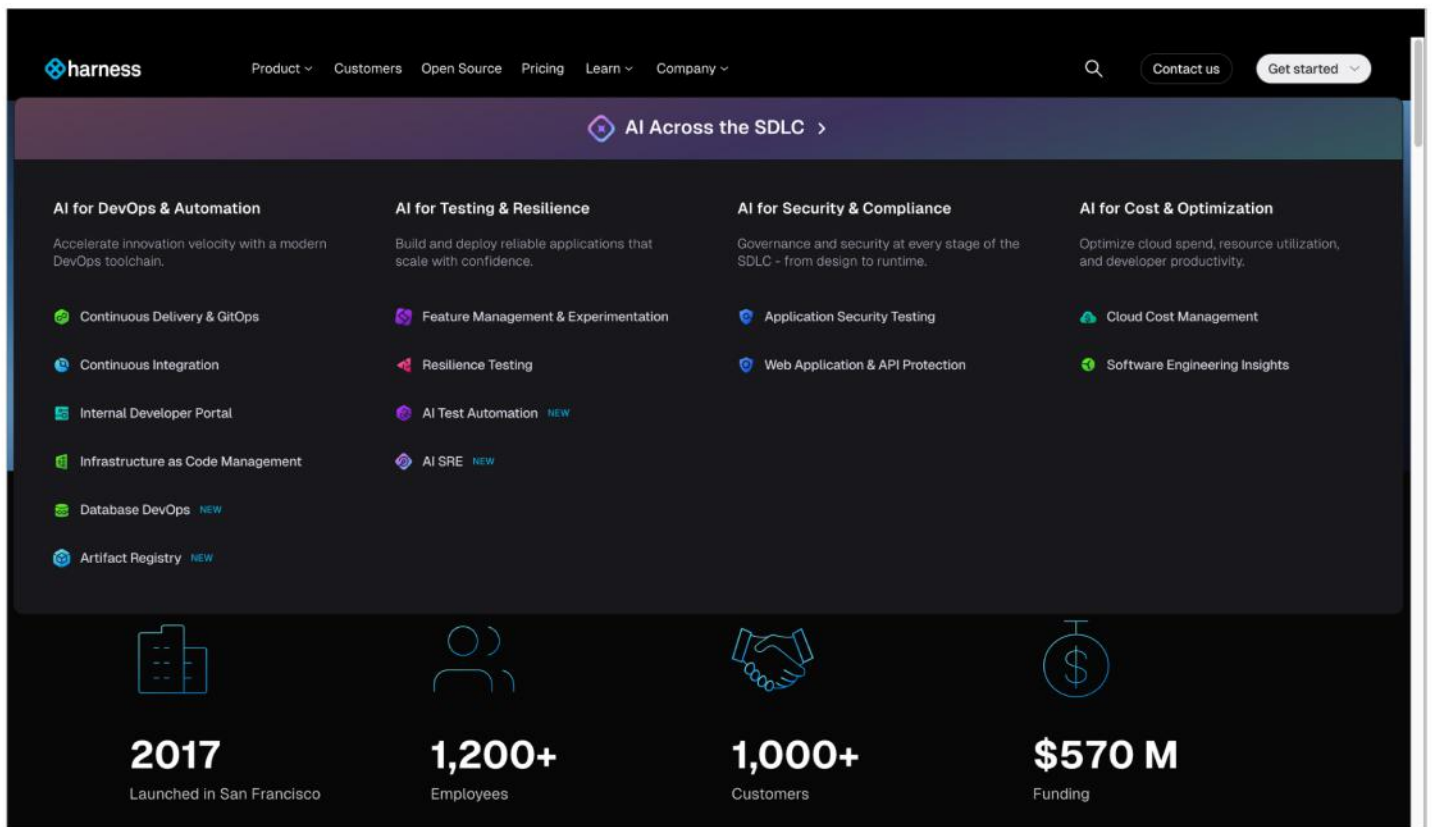
- CI/CD
- クラウドコスト管理
- フィーチャートグル
- セキュリティテストオーケストレーション（STO）
- サービス信頼性管理（SRM）
- AI駆動のデプロイ
- ガバナンスと監査

ベンダー情報

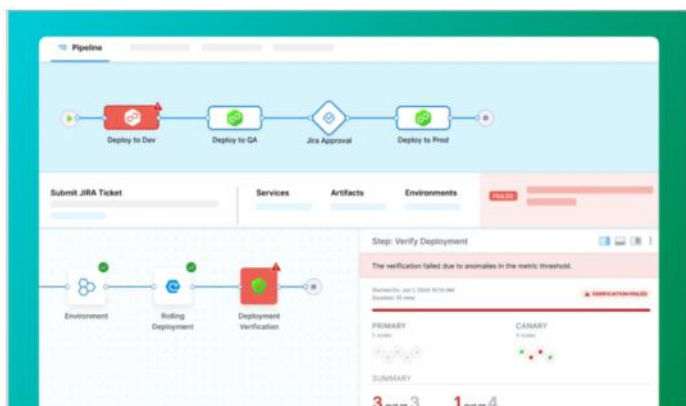
社名：Harness

所在地：米国・カリフォルニア州サンフランシスコ

2017年創業、非上場



▲HarnessにはCI/CD、クラウドコスト管理、フラグ管理からオーケストレーション、カオスエンジニアリングまでが揃っている



▲AIでCI/CDを自動制御し、開発を効率化。経験の浅いエンジニアも安全に作業できる



▲AIアシスタント「AIDA」はコードとテストとセキュリティとコストの管理を自律実行し、SDLCを劇的に最適化する

主な価格プラン（参考価格）

Free

\$0

永久無料
個人開発者や小規模チーム向け

Essentials

お問い合わせください

小規模から中規模のチームを持つ成長中の組織向け

Enterprise

お問い合わせください

複雑なニーズを持つ大規模組織向け

PagerDuty

PagerDuty

サービス停止を早期に検知し担当者へ即座に通知、自動で解決を促進

<https://digitalaccels.com/products/pagerduty/>



この製品が解決できる主な課題

アラートの洪水に埋もれて重要な障害を見逃し、初動対応が遅れてしまう

AIが大量のアラートからノイズを除去し、真に対応が必要なインシデントのみを適切な担当者に即座に通知することで、障害発生時の初動対応を劇的に高速化します。

特定の人しか対応できず、夜間や休日の障害時に解決が遅れるリスクがある

オンコールスケジュールと自動エスカレーション機能により、誰がいつ対応するかを明確化し、担当者不在時も次の候補へ確実に通知を回して対応漏れを防ぎます。

障害の原因特定や情報収集に手間取り、サービス復旧までに時間がかかっている

関連するログや過去の類似事例などの情報を自動で集約し、AIが解決策を提示することで、原因特定から復旧までの時間（MTTR）を大幅に短縮します。

顧客対応やセキュリティ業務などの緊急対応も手動で、効率が悪く遅い

IT障害対応で培った即時通知やワークフロー管理の仕組みを、カスタマーサポートやセキュリティ対応など他部門の緊急業務にも適用し、組織全体の対応力を高めます。

対応記録が散在しており、振り返りや再発防止策の策定が難しくなっている

インシデント発生から解決までの全プロセスとチャット履歴を自動で記録し、詳細な事後分析レポートを生成することで、学習と改善のサイクルを回し再発を防ぎます。

多様な監視ツールからの通知がバラバラで、全体状況の把握が困難である

700以上の監視ツールやサービスと連携して全てのアラートを一元管理し、システム全体の健全性を単一のプラットフォームで可視化して運用を効率化します。

PagerDutyは、企業のデジタルサービスにおける重大なインシデント（サービス障害）を即座に検知し、適切な担当者に通知、AIによる解決を支援するデジタルオペレーションプラットフォームです。現代の複雑なIT環境では、多様な監視ツールから大量のアラートが発生し、ノイズの中に真の障害が埋もれがちです。PagerDutyは、これら全てのアラートを集約&分析し、AIを活用してノイズを除去。真に緊急性の高いインシデントのみを特定します。さらに担当者のオンコールスケジューリング機能により、休暇中や深夜でもインシデント発生時はPagerDutyが適切なスキルを持つ担当者へ自動でエスカレーションします。インシデントに関するログや過去の対応履歴を統合し、インサイトとして提供することで復旧までの平均時間（MTTR）を大幅に短縮します。障害対応の全履歴は自動で記録され、事後分析（ポストモータム）とプロセスの継続的な改善を支援します。

主な機能

- ・アラートノイズ削減
- ・オンコールスケジューリング
- ・自動エスカレーション
- ・インシデント応答自動化
- ・事後分析レポート
- ・Runbook自動化
- ・イベントマネージメント
- ・200以上の連携機能

ベンダー情報

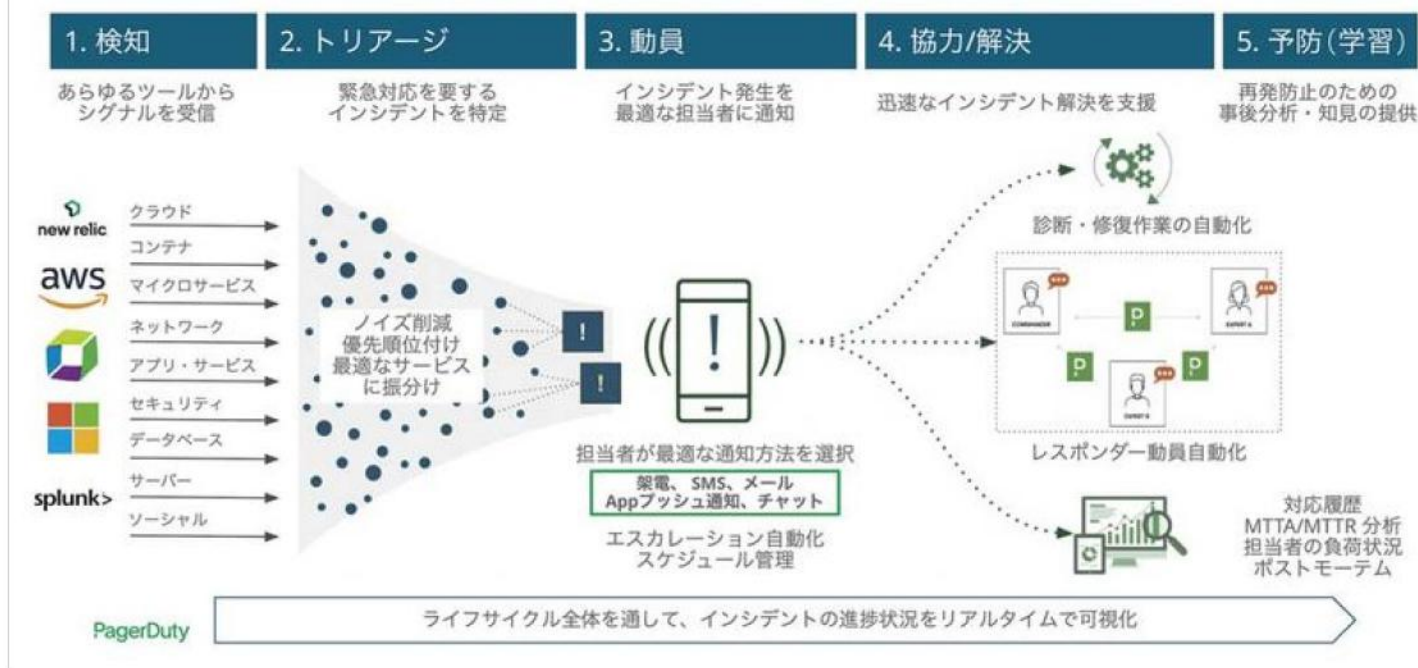
社名：PagerDuty

所在地：米国・カリフォルニア州サンフランシスコ

2009年創業、2019年にNYSE上場

PagerDuty インシデント対応ソリューション

インシデントをより早く・少ないリソースで解決 / 将来のインシデントを未然に防ぐ



▲PagerDutyはインシデントをトリアージし、担当者に正確に伝え、過去の対応例を提供することで問題の早期解決を促す

Alert Grouping
Combine similar alerts into a single incident to reduce notification noise and provide more context. New alerts will be grouped under the first incident that is created. [Learn more.](#)

Services to reduce noise across:

Kubernetes x Billing Low Urgency x Type to search...

☒ Group similar alerts across all these services so that only one notification is sent.

☒ Alert Content

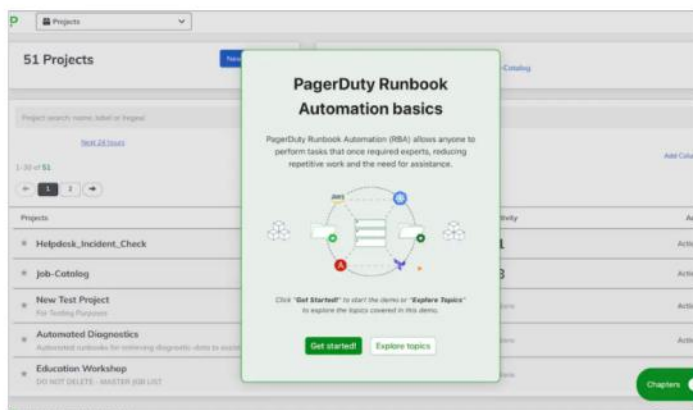
Group alerts when they match on **all** of the following fields. See recent alerts.

Match alerts based on

Select a field

+ Add Field

▲センサーからのアラートをインテリジェントにグルーピングし、適切なレスポンスへ確実に通知する



▲あらかじめ対応手順を定義したランブックを活用することで、インシデント対応を自動化し、負荷を大幅に削減する

主な価格プラン（参考価格）



Free (Incident Management)

\$0 / 5ユーザーまで / 月

小規模チーム向けのオンコールおよびインシデント対応

Professional (Incident Management)

\$21 / ユーザー / 月（年払い）

チームの運用を開始できるように設計された、すぐに使えるインシデント対応ツール

Business (Incident Management)

\$41 / ユーザー / 月（年払い）

成長するチーム向けの高度で半カスタマイズ可能なインシデント管理

Enterprise (Incident Management)

お問い合わせください

ライフサイクル全体にわたるエンドツーエンドのインシデント管理

無料トライアルのお申し込みはこちら <https://forms.digitalaccels.com/contact>





Botpress

多彩なAIが使えるオープンソースのチャットボット開発ツール

<https://digitalaccels.com/products/botpress>



この製品が解決できる主な課題

最新のAI技術をボットに組み込むには、高度で複雑な開発が必要になる

ChatGPTなどの最新LLMを標準機能として統合しており、複雑なコーディングなしでAIの強力な言語能力を活用したチャットボットを迅速に開発&実装できます。

ルールベースでは柔軟な会話ができず、すぐに有人対応が必要になる

LLMの自然言語理解力を生かして曖昧な表現や複雑な意図を正確に汲み取り、人間のような自然な対話で幅広い質問に自動対応し、有人対応への移行を減らします。

シナリオ設計や設定に時間がかかり、開発開始からリリースまでが長い

直感的なビジュアルフローエディターや、ウェブサイトから知識を自動学習する機能により、ボットの構築プロセスを効率化し、開発期間と工数を大幅に短縮します。

SNSやウェブなど媒体ごとの個別開発が必要で、展開に非常に手間がかかる

一度作成したボットを、ウェブ、LINE、Slackなど多様なメッセージングプラットフォームへワンクリックで展開できるため、チャンネルごとの個別開発の手間を解消します。

クラウドへのデータ預け入れに不安があり、自社管理したいニーズがある

オンプレミスや自社クラウドへのセルフホストに対応しており、データの保存場所や通信を完全に自社の管理下に置くことで、厳しいセキュリティ基準を満たします。

既存ツールはブラックボックスで、独自の機能拡張や連携ができない

開発者向けのオープンなプラットフォームとして設計されており、コードによる柔軟な機能拡張や外部APIとの自由な連携が可能で、複雑なビジネス要件にも対応します。

Botpressは、オープンソースを基盤とした、LLMネイティブの会話型AI構築プラットフォームです。ChatGPTなどの強力なLLMを活用しつつ、企業の独自ナレッジに基づいた正確な回答や、複雑な業務フローを実行するチャットボットを構築できます。従来のルールベースのボットとは異なり、LLMの強力な自然言語理解能力と、RAG（検索拡張生成）技術を組み合わせ、顧客サポートの対応範囲と回答精度を劇的に向上させます。直感的なビジュアルエディターにより、フロー設計やインテント定義といった構築プロセスを簡素化。オープンソースであるため開発者による高度なカスタマイズが可能であり、オンプレミス展開にも対応しているため、データプライバシーとセキュリティを重視する企業のニーズにも応えます。さらにSlack、WhatsApp、Salesforceなどとの外部連携機能を備えているので、会話内での予約完了やCRM更新といった実務アクションを自動化できます。

主な機能

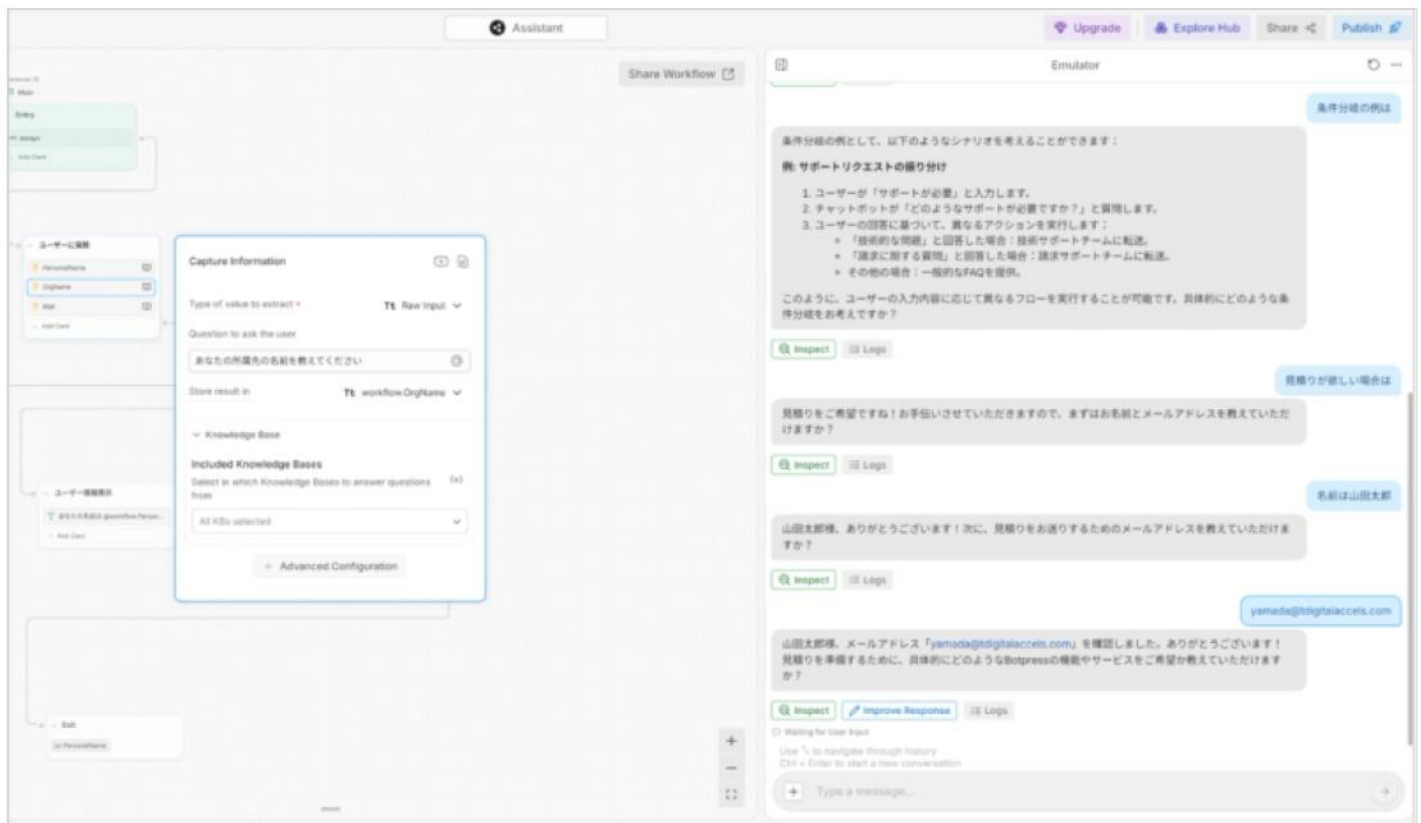
- LLM統合
- ノーコードビジュアルエディター
- マルチチャネル展開
- オープンソースコア
- SCIM/SSO統合
- 監査ログ
- カスタムアクション
- RAG（検索拡張生成）機能

ベンダー情報

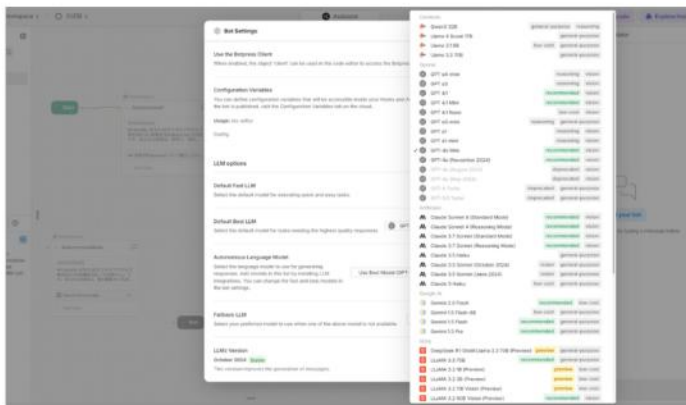
社名：Botpress

所在地：カナダ・ケベック州ケベックシティ

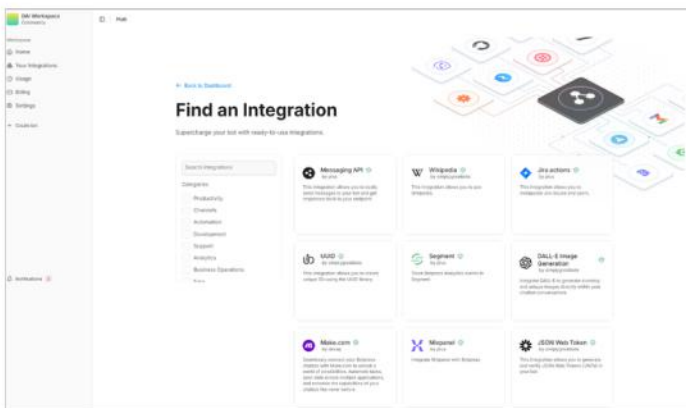
2017年創業、非上場



▲AIエージェントを構築・テスト・管理するIDEであるBotpress Studio。視覚的なUIで設計し、エミュレーターですぐテストできる



▲最新のLLMプロバイダー（OpenAI、Anthropic、Groq、Hugging Faceなど）を幅広くサポート



▲HubSpot、Zendesk、WhatsApp、Instagram、Messenger、Slack、LINEなどとすぐ連携できる

主な価格プラン（参考価格）

Free

\$0

25会話、追加料金や超過料金なし

Plus

\$150

／月（年払い）

月250会話分込み、100会話パック\$65

Team

\$750

／月（年払い）

月1,500会話分込み、100会話パック\$50

Enterprise

お問い合わせください

会話数、料金：カスタム

お問い合わせはこちら

<https://forms.digitalaccels.com/contact>





accessiBe

AIでサイトを法規制に準拠させ、コンプライアンスリスクを排除

<https://digitalaccels.com/products/accessibe/>



この製品が解決できる主な課題

法的基準への対応が遅れており、訴訟リスクやブランド毀損の恐れがある

AIがウェブサイトを自動スキャンして修正し、WCAG 2.1AAなどの国際基準に準拠させ、法的リスクを回避し誰にでも使いやすいサイトを実現します。

アクセシビリティ対応を手動で行うには、専門知識と膨大な改修工数が必要

コードの自動修正とAIによる画像認識などを活用し、手動では数カ月かかる改修作業を自動化することで、専門知識なしで即座にアクセシビリティ対応を完了します。

サイトが使いにくいと、障がいを持つ多くの潜在顧客を逃してしまっている

視覚や聴覚などに障がいを持つユーザーが、自身の特性に合わせてサイト表示を調整できるインターフェイスを提供し、全ての人が快適に利用できる環境を作ります。

日々のサイト更新で基準を満たせなくなり、再度の修正が必要になってしまふ

24時間ごとにサイトを自動再スキャンして新規コンテンツを修正し続けることで、常に最新の状態でコンプライアンス基準を維持できるようにします。

法的トラブルの際、自サイトが基準に準拠していることを証明するのが難しい

毎月の監査レポートや準拠証明書を自動生成し、サイトが適切に対応していることを客観的に示せるようにすることで、万が一の法的紛争時にも強力な証拠を提供します。

ツール導入によるサイトの表示遅延が懸念され、UXへの悪影響が心配である

非同期で読み込まれる軽量の単一行のJavaScriptコードを採用しており、ウェブサイトの表示速度やパフォーマンスに影響を与えることなく機能を実装できます。

accessiBeは、AI技術を駆使してウェブサイトのアクセシビリティを自動で確保し、W3Cが策定した国際的なウェブアクセシビリティ基準であるWCAG 2.1AAレベルやADA（障がいを持つアメリカ人法）などの国際的な法規制に準拠させるソリューションです。多くの企業が、アクセシビリティ対応の遅れにより、訴訟リスクや機会損失（市場の約15%を占める障がいを持つ顧客の取りこぼし）に直面しています。従来はこうしたアクセシビリティへの対応には、専門知識と膨大な開発工数を必要としましたが、accessiBeは小さなJavaScriptコードをサイトに1行追加するだけで導入が完了します。導入後、AIがサイトをスキャンし、スクリーンリーダー対応やキーボードナビゲーションの最適化といった必要なコード修正を自動で適用してくれます。さらに、来訪するユーザー側で設定を調整できるようにするインターフェイスも提供し、表示速度に影響を与えずに継続的なコンプライアンス維持を自動化します。

主な機能

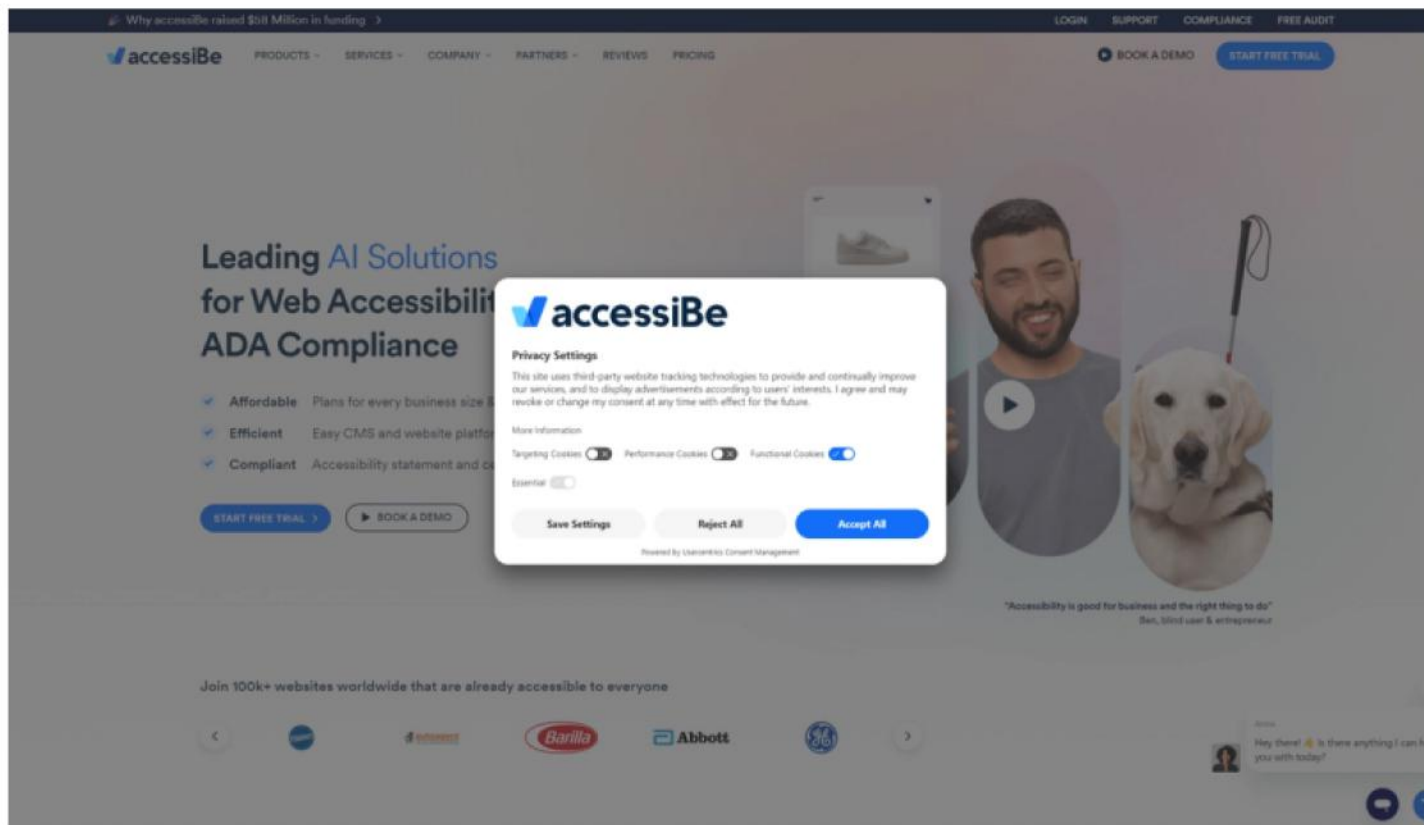
- ・ WCAG 2.1AA準拠
- ・ AI駆動の修正
- ・ アクセシビリティインターフェイス
- ・ 日次スキャン
- ・ コンプライアンス証明書
- ・ 法規制のモニター
- ・ スクリーンリーダー対応

ベンダー情報

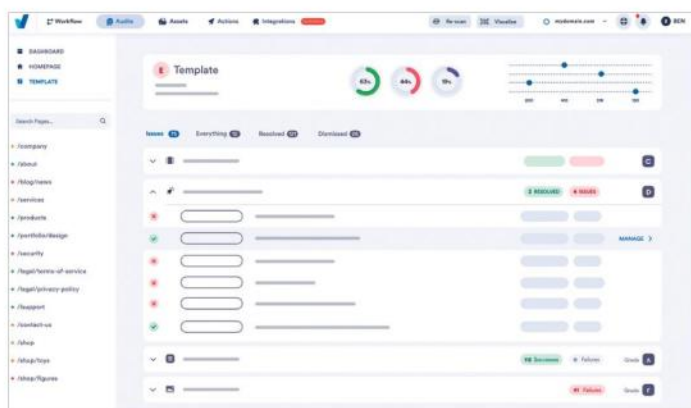
社名：accessiBe

所在地：イスラエル・テルアビブ

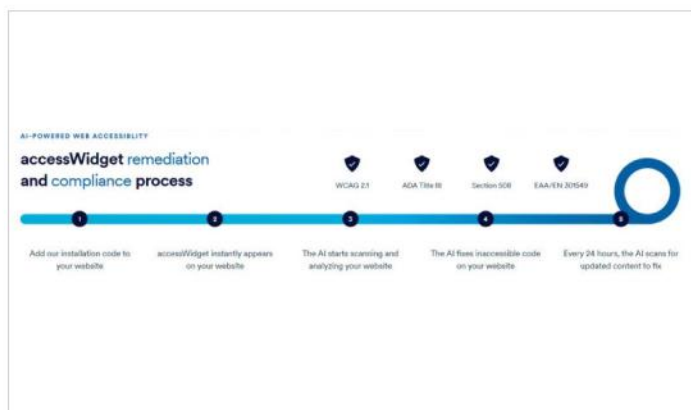
2018年創業、非上場



▲accessiBeはAIを活用した先進技術により企業のウェブアクセシビリティを総合的に改善し、ユーザー体験を向上させる



▲accessFlowを利用することで、サイトのUIをリアルタイムに訪問者のニーズに合わせ、視認性と操作性を向上できる



▲accessWidgetをサイトに統合することで、直感的な操作が可能でユーザーフレンドリーなUIへの改善が容易に実現できる

主な価格プラン（参考価格）



MICRO (accessWidget)

\$490／年

5,000アクセスまで

GROWTH (accessWidget)

\$1,490／年

30,000アクセスまで

SCALE (accessWidget)

\$3,990／年

100,000アクセスまで

ENTERPRISE (accessWidget)

お問い合わせください

100,000アクセス以上

無料トライアルのお申し込みはこちら <https://forms.digitalaccels.com/contact>





JFrog

ソフトウェア供給チェーンの信頼性を確保、デリバリーを加速

<https://digitalaccels.com/products/jfrog/>



この製品が解決できる主な課題

多様な形式の成果物が散在し、管理が煩雑でデリバリーの妨げになっている

あらゆる言語や形式のバイナリーを一元管理するユニバーサルリポジトリを提供し、成果物の信頼できる唯一の保管場所としてデリバリーの効率と透明性を高めます。

脆弱性検知が遅れ、修正コストの高いリリース直前での対応を強いられる

アーティファクトが保存された瞬間から継続的に脆弱性をスキャンし、リスクを早期に特定することで、開発スピードを維持しながらセキュアな状態を保ちます。

ライセンス違反や危険なコードが、チェック漏れで本番環境に出てしまう

セキュリティポリシーやライセンス基準をパイプラインに適用し、違反があるアーティファクトのデプロイを自動でブロックして、本番環境の安全を守ります。

拠点間でのファイル転送が遅く、グローバルな配布に時間がかかっている

信頼性の高い配布機能により、大容量のバイナリーファイルを世界中の拠点やエッジデバイスへ高速かつセキュアに配信し、ネットワーク負荷と待機時間を削減します。

環境ごとにバイナリーが異なり、テスト結果の再現性が取れず問題が起きる

全ての環境で同一のイミュータブル（不変）なバイナリーを使うことを強制し、開発から本番まで一貫した動作を保証して、環境差異によるトラブルを根絶します。

多数のデバイスへの更新が難しく、管理不能やセキュリティリスクがある

IoTやエッジデバイスへのソフトウェア更新をDevOpsプロセスに統合し、遠隔地にある多数のデバイスに対しても安全かつ確実に最新のソフトウェアを配信します。

JFrogは、ソフトウェアサプライチェーンの信頼性と速度を確保するための、エンドツーエンドのDevSecOpsソリューションです。開発生成物のリポジトリである「Artifactory」を核に、バイナリーやパッケージなど、開発プロセスで使用されるあらゆる形式のソフトウェア部品（アーティファクト）を一元管理するユニバーサルリポジトリを提供します。これにより、開発、テスト、本番環境で同一の信頼できるバイナリーを使うことを保証します。さらに「Xray」機能により、リポジトリに保存されたアーティファクトの脆弱性やライセンス問題を継続的にスキャンします。その結果、セキュリティポリシーに違反するアーティファクトがあることが判明した場合はそれを自動でブロックし、DevSecOpsを徹底します。さらに「Distribution」機能は、セキュアなバイナリーを複数の地理的拠点やエッジデバイスへ効率的に配信し、グローバルなデリバリーを加速させます。

主な機能

- ユニバーサルリポジトリ（Artifactory）
- 継続的セキュリティ（Xray）
- リリースオーケストレーション
- グローバル配信（Distribution）
- IoT管理（Connect）
- MLOps対応
- DevSecOps機能

ベンダー情報

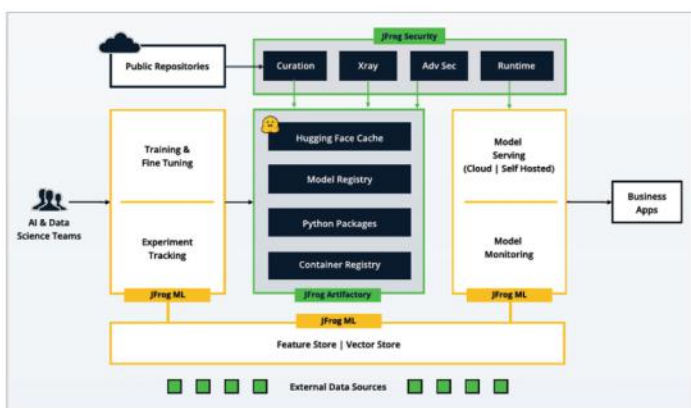
社名：JFrog

所在地：イスラエル・ネタニヤ／米国・カリフォルニア州
サンバーレー

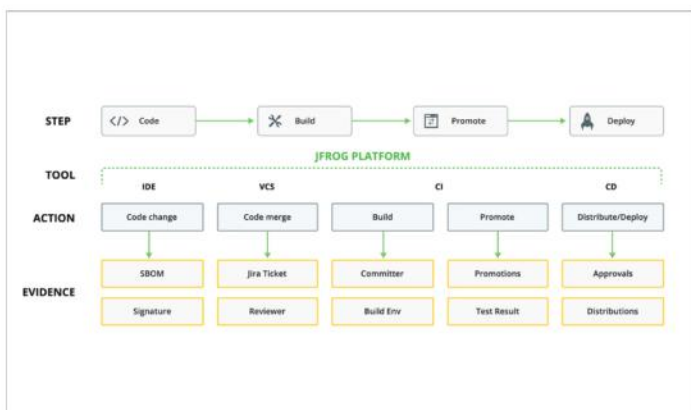
2008年創業、2020年にNASDAQ上場



▲JFrogは、DevSecOps、MLOps、SDLC管理、分散開発、IoTデバイスへの対応を含む、幅広い機能と連携能力を備える



▲XrayはAIモデルの開発から提供までを統合管理。安全なAIサプライチェーンを構築できる



▲JFrogによるエビデンス収集のプロセス。コード変更からデプロイ、配布まで、証拠が確実に記録される

主な価格プラン（参考価格）



Pro (SaaS)

\$50／月

個々の開発者とチームの成果物のための、完全に管理されたクラウドネイティブの単一記録システム

Enterprise X (SaaS)

\$950～／月

高い可用性、安全性、信頼性。
あらゆるパッケージから
AIモデルまで、ソフトウェア配信を強化

Enterprise + (SaaS)

お問い合わせください

統合SSCプラットフォーム：AI時代の開発から本番までのDevOps、セキュリティー、MLOps、コンプライアンスを強化

無料トライアルのお申し込みはこちら <https://forms.digitalaccels.com/contact>





Wallarm

クラウド、API、マイクロサービスの脅威をAIで自動検知
& 防御

<https://digitalaccels.com/products/wallarm/>



この製品が解決できる主な課題

従来のWAFではAPI特有の攻撃を防げず、新たな脅威にさらされている

APIの構造やトラフィックを解析し、従来の対策では検知できないAPI固有の攻撃や論理的な悪用をAIが自動で識別 & 防御して、最新の脅威からシステムを守ります。

診断頻度が低く、日々生まれる新たな脆弱性への対応が後手に回っている

CI/CDパイプラインに統合可能な高速スキャナーにより、開発サイクルの中で継続的に脆弱性診断を自動実行し、本番公開前にリスクを潰して安全性を確保します。

誤検知が多く、運用チームがアラート対応に忙殺され重要な脅威を手作業で処理している

統計解析と機械学習を用いた高精度な検知エンジンにより、誤検知を極限まで減らし、運用チームが真に対応すべき脅威だけに集中できる効率的な環境を提供します。

ツールが乱立し管理が複雑で、セキュリティ運用にギャップができています

WAF、APIセキュリティ、ボット対策などを単一のプラットフォームに統合し、管理の複雑さを解消するとともに、包括的な保護を提供して運用コストを削減します。

新しいクラウド環境に適した保護ができず、セキュリティホールが生じる

Kubernetesやサーバーレスなど、あらゆるクラウド環境に柔軟に対応するアーキテクチャを採用し、インフラの変化に追隨して常に最適な保護を提供し続けます。

攻撃の実態が分からず、適切な対策や経営層への報告が困難である

攻撃元や手法、標的となった力所などを詳細に可視化するダッシュボードを提供し、脅威の分析や迅速な対策立案、およびコンプライアンス報告を強力に支援します。

Wallarmは、クラウド、API、マイクロサービスといった現代のアーキテクチャを標的とする高度な攻撃を自動で検知 & 防御する統合WAAP（Web Application and API Protection）プラットフォームです。従来のWAF（Web Application Firewall）は、API固有のロジックを狙った攻撃（OWASP API Top 10）や、未知の脅威への対応が困難でした。Wallarmは、AIを活用してAPIトラフィックを学習し、異常なリクエストや脆弱性を突く攻撃をリアルタイムでブロックします。AIによるインテリジェントな分析で誤検知（False Positive）を最小限に抑えます。また、CI/CDパイプラインに統合可能な脆弱性スキャナー（DAST）を提供し、開発の初期段階でセキュリティリスクを発見します。GraphQLやgRPC等の最新プロトコルをネイティブに解析し、組織が把握していない「シャドーAPI」も自動で検出し可視化します。これにより、管理外の資産を含む攻撃表面全体を常に監視下におき、防御の死角を完全に排除します。

主な機能

- APIセキュリティ
- 高度なWAF
- 脆弱性スキャナー（DAST）
- ボット対策
- Runtime Application Self-Protection（RASP）
- CI/CD統合
- AI駆動の誤検知削減

ベンダー情報

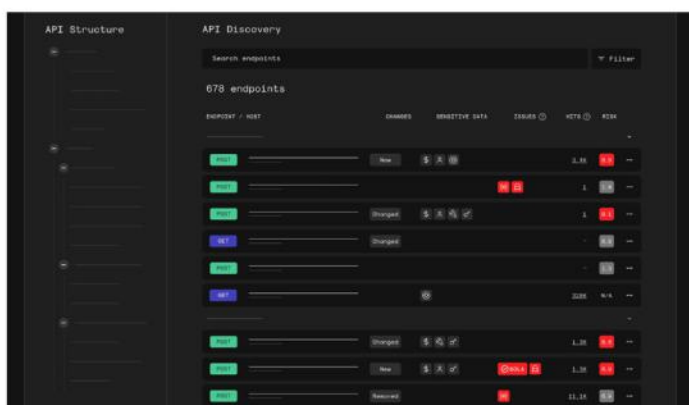
社名：Wallarm

所在地：米国・カリフォルニア州サンフランシスコ

2013年創業、非上場



▲Wallarmは連携するシステム全体を含むエンドツーエンドでAPIのセキュリティを確保し、攻撃リスクを低減する



▲脆弱性スキャンをCI/CDパイプラインに組み込むDevSecOpsインターフェイス

Schema-Based Testing

Test name	Test policies	Started	Duration	Test policy	URL	Test cases	Requests	Security issues
IP Lists		27 May, 10:42	34s	IP Lists Test Policy	http://api.st...	SSRF	27	0 Critical, 0 High, 0 Medium, 0 Low, 0 Info
Triggers		27 May, 10:42	2m	VAMP test policy	http://vamp.st...	Environment misconfiguration s...+13	3,46K	3 Critical, 2 High, 1 Medium, 1 Low, 1 Info
Rules		27 May, 10:16	2m	VAMP test policy	http://vamp.st...	Environment misconfiguration s...+13	2,74K	2 Critical, 2 High, 1 Low, 1 Info
Credential Stuffing		27 May, 10:16	2m	VAMP test policy	http://vamp.st...	Environment misconfiguration s...+13	3,62K	1 Critical, 2 High, 1 Low, 1 Info
BOLA Protection		27 May, 10:19	2m	VAMP test policy	http://vamp.st...	Environment misconfiguration s...+13	2,74K	2 Critical, 2 High, 1 Low, 1 Info
Threat Replay		27 May, 10:15	2m	JulcyShop test ...	http://julcyshop...	Environment misconfiguration s...+13	3,62K	1 Critical, 2 High, 1 Low, 1 Info
Schema-Based		27 May, 10:17	2m	JulcyShop test ...	http://julcyshop...	Environment misconfiguration s...+13	2,74K	2 Critical, 2 High, 1 Low, 1 Info
AASM		27 May, 10:13	2m	DVAPI testing p...	http://dvapi.st...	Environment misconfiguration s...+13	3,62K	1 Critical, 2 High, 1 Low, 1 Info
API Attack Surface		27 May, 10:16	2m	DVAPI testing p...	http://dvapi.st...	Environment misconfiguration s...+13	2,74K	2 Critical, 2 High, 1 Low, 1 Info
Security Issues		26 May, 20:08	2m	JulcyShop test ...	http://julcyshop...	Environment misconfiguration s...+13	3,62K	1 Critical, 2 High, 1 Low, 1 Info
Nodes		26 May, 20:08	2m	JulcyShop test ...	http://julcyshop...	Environment misconfiguration s...+13	2,74K	2 Critical, 2 High, 1 Low, 1 Info
Monthly limit		26 May, 18:39	15h	DVAPI testing p...	http://dvapi.st...	Environment misconfiguration s...+13	3,62K	1 Critical, 2 High, 1 Low, 1 Info
0 of 10		27 May, 9:58						

▲AIにより誤検知が極めて少ないセキュリティイベントレポート

主な価格プラン（参考価格）



Cloud Native WAAP

お問い合わせください

SQLインジェクション（SQLi）、
クロスサイトスクリプティング（XSS）、
ブルートフォース攻撃などの一般的な
脅威からウェブアプリケーションとAPIを保護

WAAP + Advanced API Security

お問い合わせください

一般的なWAAP機能をさらに強化し、
包括的なAPIセキュリティツールを提供することで、
「OWASP API Top-10」に挙げられる
あらゆる脅威をカバー

無料トライアルのお申し込みはこちら <https://forms.digitalaccels.com/contact>





ソフトウェアデリバリーとDevOps

CloudBees

信頼性、セキュリティ、コンプライアンスを内蔵した企業向けDevOps

<https://digitalaccels.com/products/cloudbees/>



この製品が解決できる主な課題

パイプラインが頻繁に停止し、リリース作業が滞って開発効率が落ちている

大規模組織向けに設計された堅牢なCI/CDプラットフォームでパイプラインの安定稼働を保証し、開発者がトラブルに悩まされず集中できる環境を作ります。

デプロイ作業に手動工程が多く、市場への機能提供スピードが上がらない

ビルドからデプロイまでの工程を高度に自動化し、手動介入を排除することで、ソフトウェアの市場投入までの時間を短縮し、ビジネスの競争力を強化します。

セキュリティチェックが後回しになり、リリース直前の手戻りが発生する

セキュリティ検査をデリバリーパイプラインに組み込んで自動化することで、開発プロセスの早期段階で脆弱性を発見＆修正できるようにします。

リリースの証跡管理が煩雑で、監査対応のために多くの時間を費やしている

全てのリリース活動と承認履歴を自動的に記録して一元管理することで、コンプライアンス監査に必要なレポートを即座に生成し、対応工数とリスクを削減します。

最新技術の導入が続いて環境が複雑化し、デプロイや管理が困難になっている

マイクロサービスやKubernetesなど複雑な環境へのデプロイを簡素化・統一化し、スケーラブルなリリースプロセスを提供して最新技術の活用を支援します。

チームごとに手法がバラバラで、全社の開発状況を統制＆把握できていない

組織全体のパイプラインとリリース状況を単一の画面で可視化して管理し、共通のガバナンスポリシーを適用することで、大規模開発における統制と効率化を両立します。

CloudBeesは、エンタープライズ規模の組織におけるソフトウェアデリバリーの信頼性、セキュリティ、コンプライアンスを確保するための、統合DevOpsプラットフォームです。多くの企業がCI/CDパイプラインを構築していますが、チームごとにツールが分散し、全社的なガバナンスやセキュリティポリシーの適用が困難になっています。CloudBeesは、継続的インテグレーション（CI）と継続的デリバリー（CD）のプロセスを高度に自動化し、信頼性の低い手動プロセスを排除します。セキュリティスキャンやポリシー適用を開発ライフサイクルの初期段階から自動で組み込むDevSecOpsを徹底させることができます。Kubernetesやマイクロサービスといった複雑なアーキテクチャーのデプロイを管理し、全デリバリープロセスの監査証跡を自動で記録することで、規制遵守と監査対応の工数を削減します。厳格なガバナンスのもとで、安全かつ高速にビジネスを展開できます。

主な機能

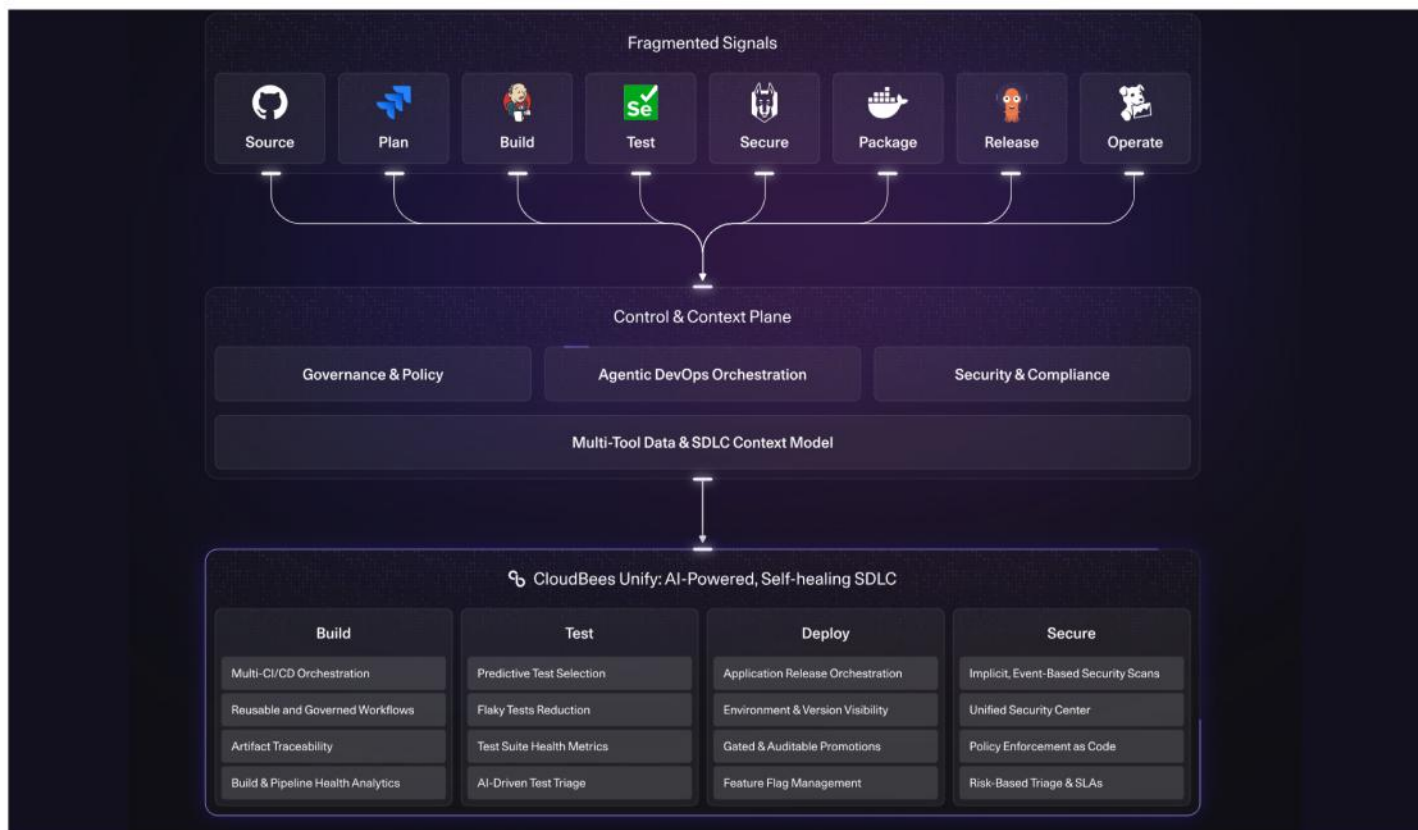
- ・継続的インテグレーション（CI）
- ・継続的デリバリー（CD）
- ・DevSecOps
- ・リリースオーケストレーション
- ・フィーチャートグル
- ・監査証跡
- ・コンプライアンスレポート
- ・マルチクラウド＆ハイブリッド環境対応

ベンダー情報

社名：CloudBees

所在地：米国・カリフォルニア州サンノゼ

2010年創業、非上場



▲CloudBees Unifyはリポジトリ、パイプライン、テスト、チケット、スキャン結果を1つのモデルに統合する

Configurations / Integrations

Search: Type to search... [+ Create Integration](#)

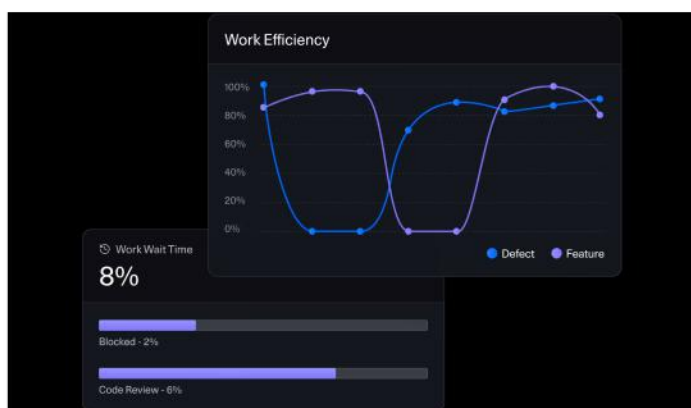
Name	Source	Type	Status
Global Release Tracking	Local	JIRA	Completed
Platform-Main-Repo	Local	GitHub	Completed
Enterprise-CI-Master	Local	CloudBees	Completed
Production-Build-Controller	Local	Jenkins	Completed
Container Vulnerability Scan	Local	SNYK	Completed

▲リポジトリ、パイプライン、テスト、チケット、スキャン結果を1つのモデルに統合

Multi-component-application-release.yaml

Environment	Artifact	Published by
prod	App-APIs	CloudBees
prod	App-Backend	GitHub
prod	App-Frontend	GitHub
pre-prod	App-APIs	CloudBees
pre-prod	App-Backend	GitHub

▲承認結果の適用のほか、担当の分離、ゲート処理、例外処理の適用を証跡を残しながら実施する



▲複数のツールにまたがるリリースの準備状況、リスク、変更処理の状況を1つのビューで確認できる

Agentic Progressive Delivery

```

flags-configuration-state-update

1 jobs:
2   build-test:
3     steps:
4       - uses: cloudbees-io/checkout@v1
5         name: Checkout
6       - uses: docker://maven:3-eclipse-temurin-17
7         name: Maven Build
8         shell: sh
9         run: |
10          mvn clean test
11       - name: Scan with Find
12         uses: cloudbees-io/fi
13         with:
14           language: *LANGUAGE
15
16
17

```

On the right, there are three toggle switches for configuration options: 'Enable New Dashboard UI' (checked), 'Advanced Deployment Insights' (checked), and 'Require Multi-Factor Authentication' (checked).

▲Agentic Software Delivery機能によりエージェントがポリシーチェックを行い、必要な場合にだけ人間の承認を求める

お問い合わせはこちら

<https://forms.digitalaccels.com/contact>



sumo logic

Sumo Logic

継続的なインテリジェンスを提供し 運用とセキュリティの脅威を即座に検知

<https://digitalaccels.com/products/sumologic/>



この製品が解決できる主な課題

膨大なログから手動で異常を見つけるのは不可能で、トラブルの予兆を見逃しがち

機械学習を活用して膨大なログデータから通常のパターンを学習し、異常や変化を自動的に検出することで、障害やセキュリティ侵害の兆候をいち早く特定します。

脅威の調査に時間がかかり、被害拡大を防ぐための迅速な対応ができない

複数のソースからのセキュリティイベントを自動で相関分析し、脅威の全体像をリアルタイムで可視化することで、調査時間を短縮し迅速な対応を可能にします。

各クラウドのデータが分散し、システム全体の状況を一元的に把握できない

AWS、Azure、GCPなど異なる環境のログを一つのプラットフォームに集約し、マルチクラウド環境全体を横断的に監視＆分析できる統一された表示を提供します。

性能低下の原因特定が難しく、ユーザー体験の悪化が続く事態を招いている

ログとメトリクスを統合分析することで、エラーや遅延の根本原因をコードレベルで素早く特定し、開発チームによる迅速なトラブルシューティングを支援します。

監査に必要なログ収集や正しいレポートの作成に多大な労力がかかっている

コンプライアンス要件に対応したログ保管とレポート自動生成機能により、監査準備のプロセスを合理化し、PCIDSSなどの基準準拠にかかる工数を大幅に削減します。

データ増による従量課金コストが読めず、予算管理が難しくなっている

データの重要度に応じた階層化保存や柔軟な取り込み設定により、必要なデータを確保しつつコストを最適化し、予測可能で効率的なログマネジメントを実現します。

Sumo Logicは、クラウドネイティブ環境から生成される膨大なログ、メトリクス、セキュリティイベントをリアルタイムで収集し分析する、統合インテリジェンスプラットフォームです。マルチクラウド（AWS、Azure、GCP）やコンテナ環境では、データが分散し、サービス障害やセキュリティ侵害の兆候（異常パターン）を発見することが困難です。Sumo Logicは、AIと機械学習を活用してこれらのデータを横断的に分析し、異常を自動で検出します。クラウドネイティブなSIEM（セキュリティ情報＆イベント管理）機能により、セキュリティイベントをリアルタイムで相関分析し、インシデント対応を迅速化。アプリケーションのパフォーマンス監視（APM）からセキュリティ脅威の検出まで、IT運用とセキュリティの可視性を単一のプラットフォームで提供し、継続的なインテリジェンスを実現します。

主な機能

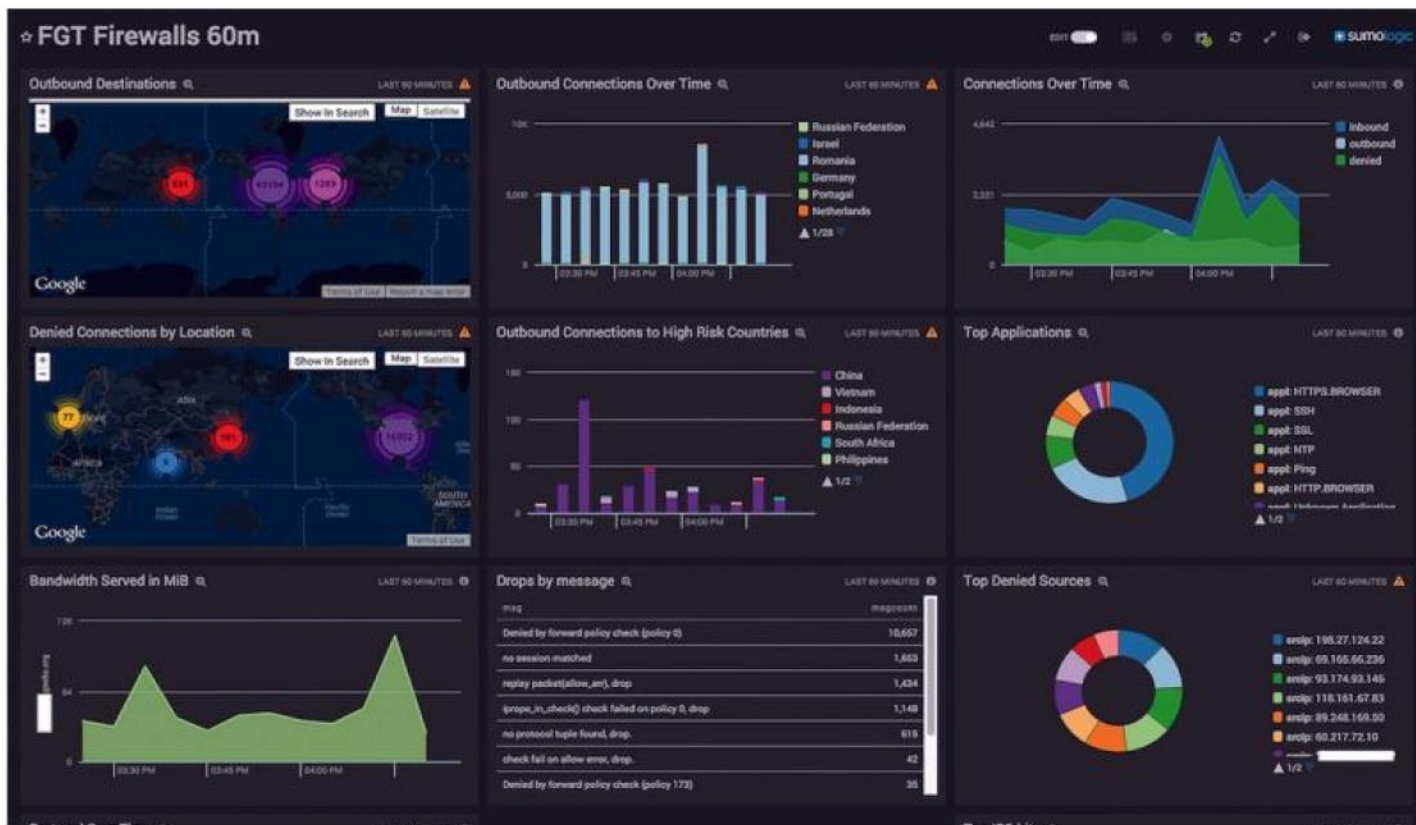
- ・継続的なインテリジェンス
- ・クラウドSIEM
- ・ログ分析
- ・メトリクス監視
- ・異常検出（ML）
- ・マルチクラウド対応
- ・コンプライアンスレポート
- ・セキュリティインシデント応答（SOAR）

ベンダー情報

社名：Sumo Logic

所在地：米国・カリフォルニア州レッドウッドシティ

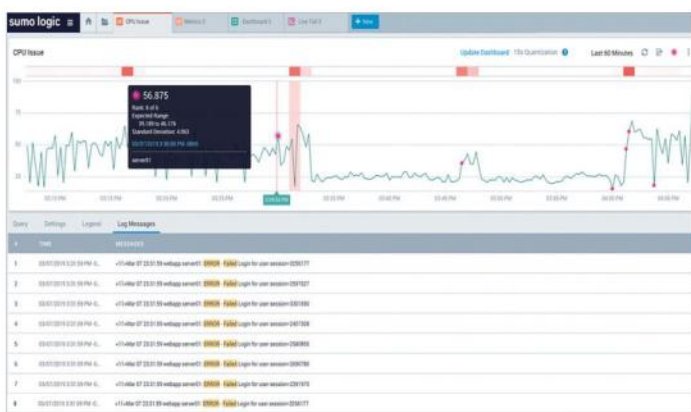
2010年創業、非上場（2020年にNASDAQ上場後、2023年に非公開化）



▲Sumo Logicはクラウドやオンプレミスの各システムからログを自動収集し、解析結果をダッシュボードで直感的に可視化する



▲クラウドやオンプレミスのシステムから収集したログを解析、発生中の脅威を自動で検知し、直感的に表示する



▲ダッシュボードでは、CPU負荷やその他システムリソースの利用状況をグラフで表示し、パフォーマンス管理を支援する

主な価格プラン（参考価格）



Essentials

お問い合わせください

アドホックな調査やトラブルシューティングを必要とする、中小規模のDevOpsおよびSecOpsチームに最適
-数分で導入可能
-AI駆動のアラートで「アラート疲れ」を軽減
-機械学習を活用したRCAでMTTRを劇的に短縮
-数百のインテグレーションでスタックを統合

Enterprise Suite

お問い合わせください

リアルタイムの脅威検知、調査、対応を求める、成熟したセキュリティチームに最適
-クラウドネイティブSIEMで脅威をより速く発見
-脅威インテリジェンスとログ分析でインシデントを迅速に調査
-プレミアムな脅威インテリジェンスフィードでセキュリティポスチャーを強化
-エンタープライズグレードのツールで効率的に運用

無料トライアルのお申し込みはこちら <https://forms.digitalaccels.com/contact>



Bluedot

bluedot

AIが会議を自動記録・要約、議事録作成と共有の工数を削減

<https://digitalaccels.com/products/bluedot>



この製品が解決できる主な課題

△ メモ取りに気を取られ、会議の内容や相手の反応に集中できない

会議の録画と高精度な文字起こしを完全自動化することで、手動でのメモ取りを不要にし、参加者が会話や議論の中身に100%集中できる有意義な会議環境を実現します。

△ 録画を見直してまとめる作業が大変で、事後処理に時間がかかりすぎる

終了直後にAIが文脈を理解して要約と決定事項、ToDoリストを自動生成するため、議事録作成にかかる時間をほぼゼロにし、次のアクションへ即座に移行できます。

△ 記録用ボットが画面に現れると、相手に警戒され本音で話しにくい

ブラウザ拡張機能として動作するため、会議にボットを招待することなく目立たずに記録が可能で、相手に違和感や警戒心を与えない自然な会話の流れを保ちます。

△ 議事録を他のツールにコピペして回るのが面倒で、情報共有が遅れている

NotionやSlack、CRMなど主要なツールとシームレスに連携し、作成された議事録や要約をボタン一つでチームに共有・同期して、情報のサイロ化を防ぎます。

△ 動画を見返して発言を探すのが大変で、言った言わないの問題が起きている

全会話がテキスト化され検索可能になるため、特定のキーワードや発言箇所を瞬時にピンポイントで特定でき、過去の決定事項や言質確認の手間を劇的に削減します。

△ 担当者の主観的なメモしか残らず、客観的で公正な評価や分析ができない

AIによる会話比率の分析や構造化された記録を活用することで、客観的なデータに基づいて会議を振り返り、チーム全体での公平な評価やスキル改善に役立てます。

Bluedotは、Google Meet、Zoom、Microsoft Teamsなどあらゆるウェブ会議を効率化し資産化するAI議事録ツールです。会議に「ボット」を参加させるのではなくブラウザ拡張機能や専用デスクトップアプリ（Windows/Mac対応）としてローカルで動作するため、対外的な商談や機密性の高い会議でも違和感なく導入できます。自動録画、高精度な文字起こし、AI要約などの機能を持ち、特にAI要約では、会議終了後、AIが直ちに議論の内容を解析し、単なる発言録ではなく、文脈に基づいた重要ポイント、決定事項、そして担当者ごとのネクストアクション（ToDo）を構造化して抽出します。また、画面共有されたスライドや資料も動画として鮮明に保存されるため、発言と視覚情報をセットで振り返ることが可能です。議事録データは検索可能なナレッジベースとして蓄積され、Notion、Slack、HubSpotなどの外部ツールへ共有または同期できます。Bluedotは、議事録作成というマニュアル作業を排除し、顧客との対話や本質的な業務に集中するための環境を提供します。

主な機能

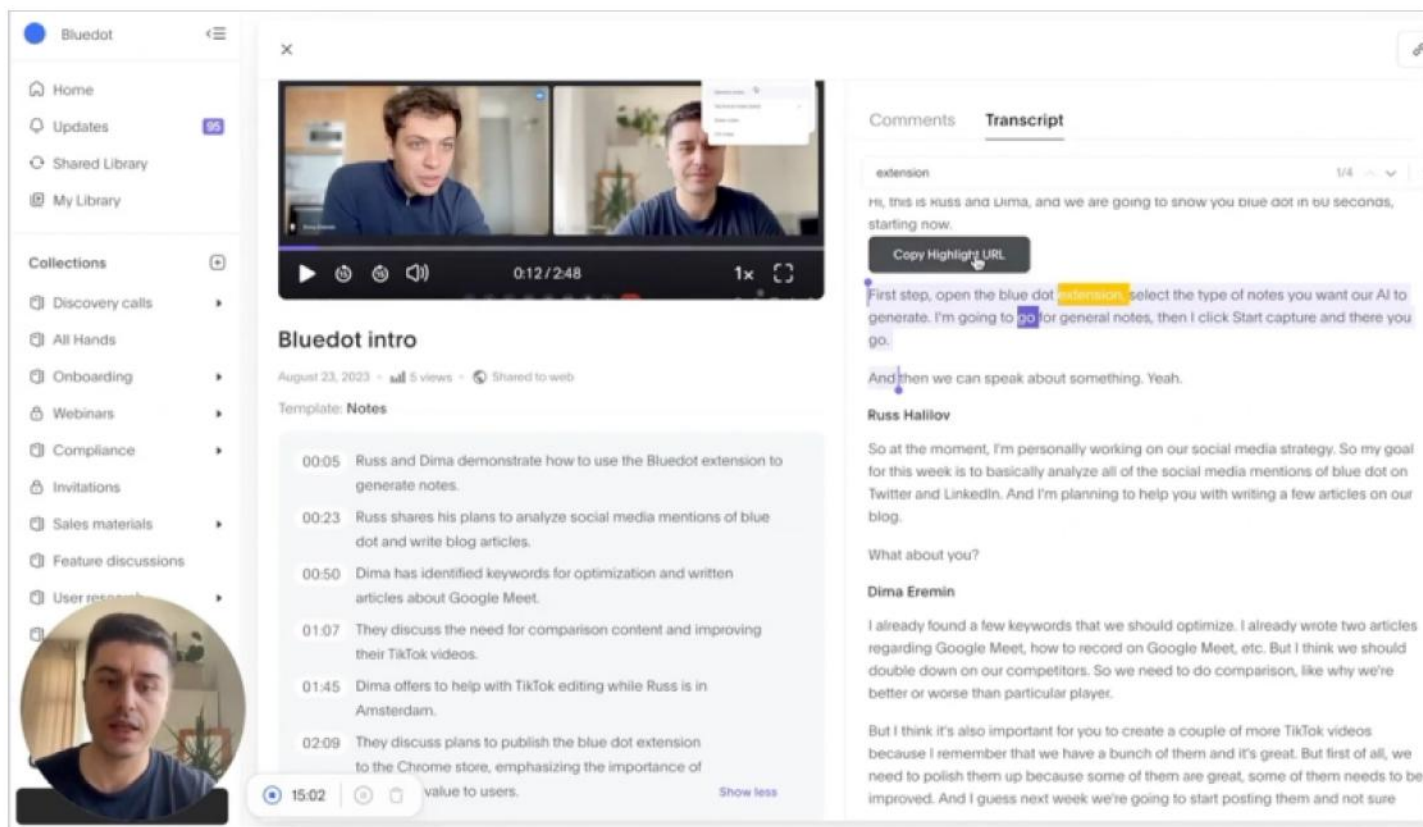
- ・ 発言の自動書き起こし
- ・ 要点とToDoの抽出
- ・ 書き起こし内容の共有
- ・ スライドや画面共有も保存
- ・ 参加者のパフォーマンス測定
- ・ 幅広いツール連携機能

ベンダー情報

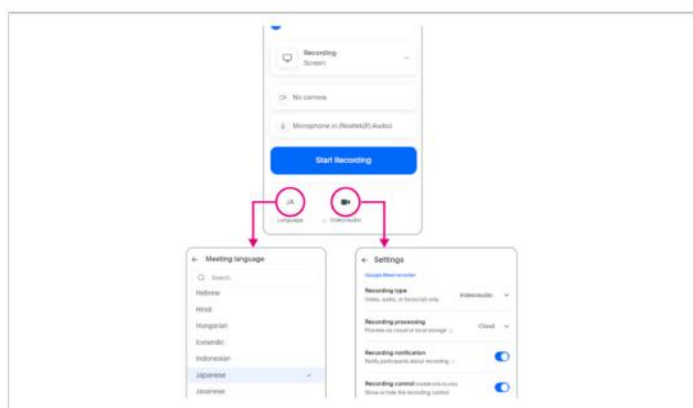
社名：Twiso

所在地：米国・カリフォルニア州サンフランシスコ

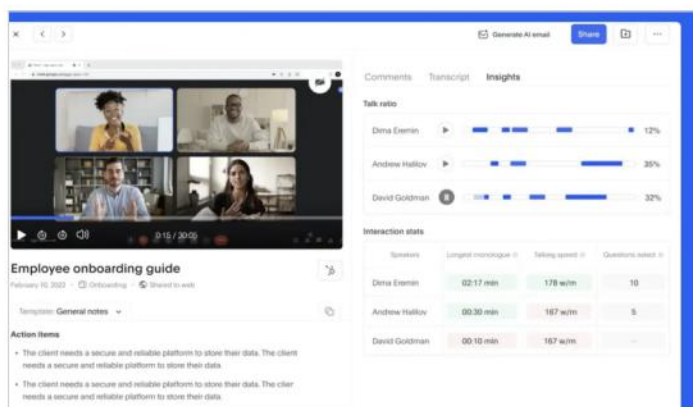
2021年創業、非上場



▲AIノートテイクーBluedotなら、ビデオ会議から議事録作成までをスムーズに行え、修正も簡単にできる



▲多言語対応し、議事録の翻訳・要約の言語をすぐ切り替えられるため、さまざまなニーズに応えることができる



▲参加者の発言状況が分かる管理画面があり、コミュニケーションを可視化できる。会議運用の改善に役立つ

主な価格プラン（参考価格）



Basic

\$14／ユーザー／月（年払い）

一般ユーザー向け

Pro

\$20／ユーザー／月（年払い）

パワーユーザー向け

Business

\$32／ユーザー／月（年払い）

営業とカスタマーサービス向け

Flat rate

お問い合わせください

ユーザー数・端末数に縛られず、SSO、SCIM、および全ての機能にアクセス可能なカスタム固定料金

お問い合わせはこちら

<https://forms.digitalaccels.com/contact>



O'REILLY®

O'Reilly Learning Platform

信頼できる技術情報と学習リソースで、チームの能力を最速で拡張

<https://digitalaccels.com/products/oreilly/>



この製品が解決できる主な課題

△ 技術進化が速く、従業員のスキル更新が追いつかず陳腐化してしまう

書籍、動画、イベントなど多様な形式で常に最新の技術コンテンツを提供し、変化の激しい技術トレンドに即応できる学習環境を整え、チームのスキル維持を支援します。

△ 不正確なネット情報で学習し、誤った知識や危険なコードを習得するリスク

業界の第一線で活躍する専門家が制作・監修した高品質なコンテンツのみを厳選して提供することで、信頼性の高い正確な知識とベストプラクティスの習得を保証します。

△ 座学だけでは実務で通用する応用力やコーディング力が身につかない

ブラウザ上で実際にコードを書いて動かせるインタラクティブな学習環境を提供し、理論だけでなく手を動かして学ぶことで、実務で即戦力となるスキルを定着させます。

△ 誰が何をできるか不明であり、組織としても強化すべきスキルが分からない

スキル評価テストや学習進捗の可視化機能により、個人の習熟度と組織全体のスキル分布を把握し、戦略的な育成計画の立案と適材適所の人材配置を可能にします。

△ 各自の業務が忙しく学習が続かないため、スキルアップの文化が定着しない

個人の関心に合わせた推奨機能や認定バッジ、ライブイベントなどを通じて学習の動機付けを行い、自律的かつ継続的に学び続ける学習文化の醸成をサポートします。

△ 教材ごとに購入手続きが必要で、コストがかさみ、管理も面倒である

幅広い技術領域の書籍や動画リソースを一つのサブスクリプションで無制限に利用できるようにし、個別の教材購入コストを削減するとともに管理事務を簡素化します。

O'Reilly Learning Platformは、AI、クラウド、ソフトウェア開発、セキュリティといった最先端技術分野において、企業の技術チームのスキルを継続的に向上させるための、エンタープライズ向け学習プラットフォームです。技術トレンドの変化速度が加速する現代において、従業員のスキル陳腐化は深刻な経営課題です。O'Reillyは、信頼できる専門家による数千の最新電子書籍、動画、ライブイベント、ケーススタディーを単一のサブスクリプションで提供します。単なる理論学習に留まらず、実際のクラウド環境やコーディング環境で学べる「インタラクティブラボ」を提供し、実践的なスキル習得を支援します。スキルアセスメント機能と学習進捗トラッキングにより、組織全体のスキルギャップを可視化し、戦略的な人材育成を可能にします。さらに、AI検索機能が実務の技術的な問いに対し、信頼できる情報源から即座に回答を提示。学習と業務をシームレスに繋ぎ、エンジニアの生産性と問題解決力を飛躍的に高めます。

主な機能

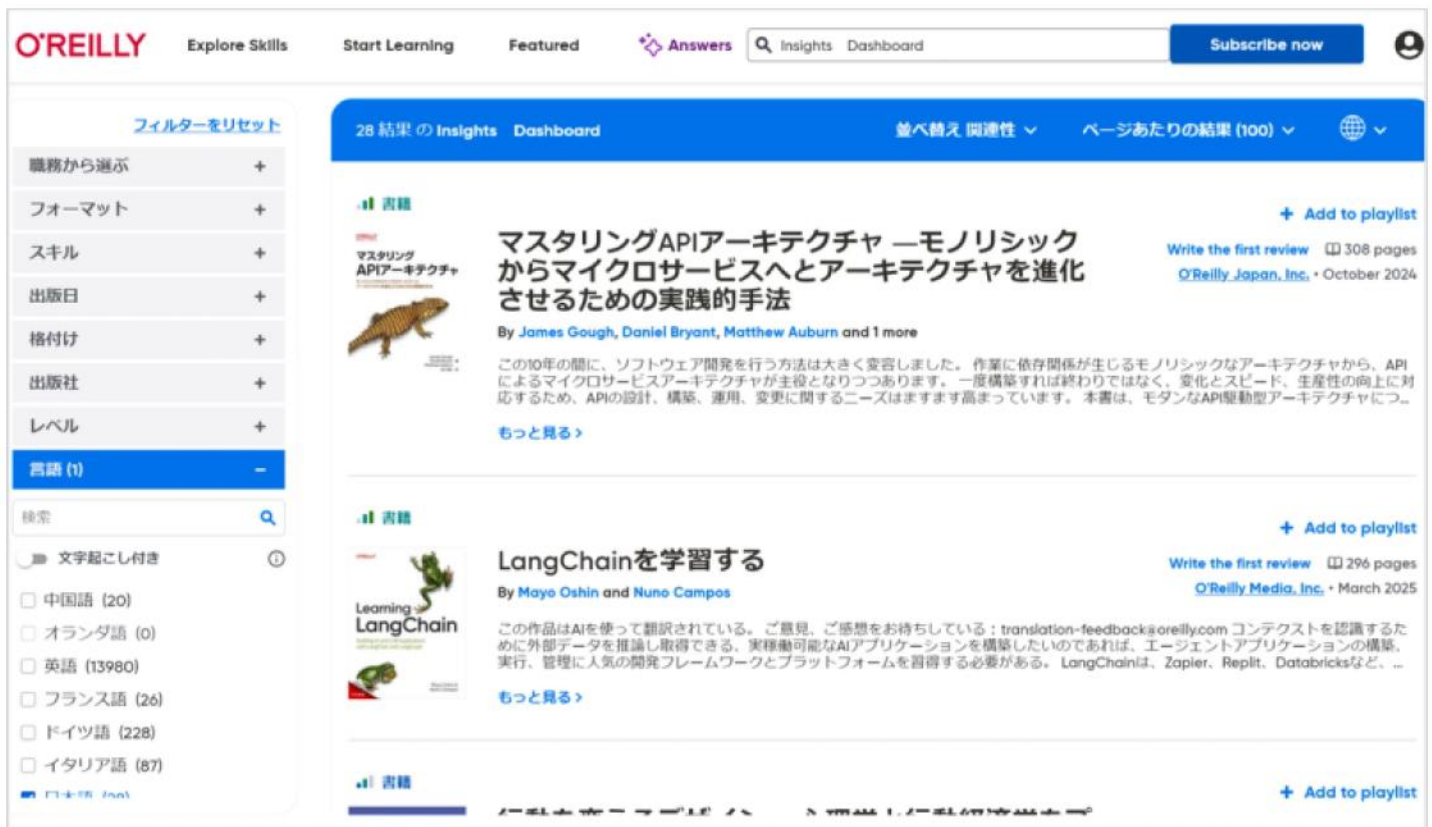
- ・数千の電子書籍と動画
- ・インタラクティブなラボ環境
- ・ライブイベント
- ・スキルアセスメント
- ・学習パスのパーソナライズ
- ・進捗トラッキング
- ・企業レポート機能

ベンダー情報

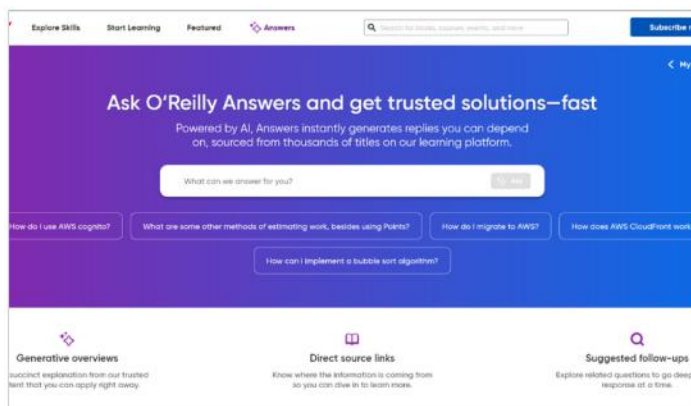
社名：O'Reilly Media

所在地：米国・カリフォルニア州サンタローザ

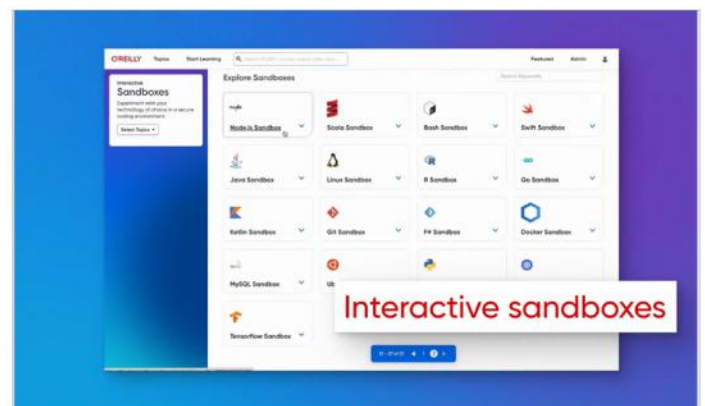
1978年創業、非上場



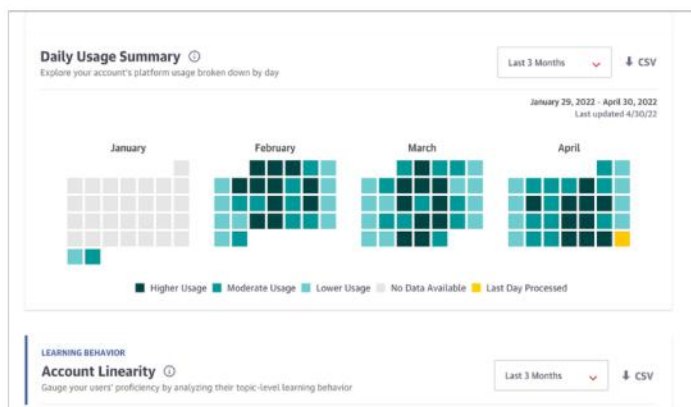
▲O'Reilly Learning Platformは、同社のコンテンツを基にキャリアに必要な技術やスキルに特化して学べるよう設計されている



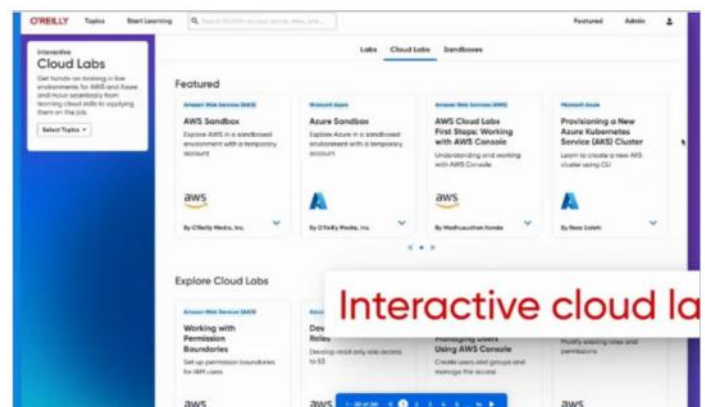
▲生成AIを使ったO'Reilly Answersが利用可能。学習や業務を中断せずにいつでも専門的な質問に対する深い回答を得られる



▲プログラム作成などを実際に試せるInteractive sandbox。得た知識をその場で安全に試せる



▲法人向けプランは、O'Reillyのほぼ全書籍（アーリーリリース版を含む）を閲覧可能、メンバーの受講状況も調査できる



▲メジャーなクラウドを試用できるInteractive cloud labsも用意されている

無料トライアルのお申し込みはこちら <https://forms.digitalaccels.com/contact>





OptiSigns

誰でも簡単に、どこからでもコンテンツを配信できるクラウドサイネージ

<https://digitalaccels.com/products/optisigns/>



この製品が解決できる主な課題

⚠️ USBメモリなどでの現地更新が必要で、手間がかかり即時性もない

クラウド経由でコンテンツを一元管理 & 配信できるため、現地に行くことなく、PC一つで即座に表示内容を更新し、運用の手間と時間を大幅に削減します。

⚠️ 拠点が分散しており、全社のサイネージを一括で管理 & 統制できない

ウェブ管理画面から数百台規模のスクリーンをグループ化して一括操作・監視できるため、多店舗や多拠点展開していても、本部から統一された情報を確実に配信できます。

⚠️ サイネージの専用機材の導入コストが高く、設置や維持管理のハードルが高い

Amazon Fire TV Stickなど安価な市販デバイスを利用可能にすることで、高価な専用プレーヤーを不要にし、初期導入コストとハードウェア管理の負担を最小化します。

⚠️ 静止画しか表示できないため、ニュースや天気など生きた情報を表示できない

SNS、ニュース、天気予報、社内ダッシュボードなど100以上のアプリと連携し、自動で更新されるリアルタイム情報を表示して、常に鮮度の高いコンテンツを提供します。

⚠️ 故障や電源切れにすぐに気付かず、真っ暗な画面を放置してしまうリスクがある

全スクリーンの稼働状況をリアルタイムで監視し、オフラインや障害発生時には即座に管理者に通知することで、ダウンタイムを最小限に抑え迅速な復旧を可能にします。

⚠️ デザインスキルがなく、見栄えの良いコンテンツを自社で作れない

豊富なテンプレートと直感的なドラッグ&ドロップ操作のエディターを提供し、専門的なデザインスキルがなくても、誰でも簡単にプロ品質のサイネージ画面を作成できます。

OptiSignsは、誰でも簡単に、どこからでもデジタルサイネージのコンテンツを管理 & 配信できる、クラウドベースのソリューションです。従来のサイネージ運用は、USBメモリによる手動更新や専用の高価なハードウェアが必要であり、特に複数拠点での一元管理が困難でした。OptiSignsは、ChromecastやFire TV Stickといった安価な一般消費者向けデバイスをプレーヤーとして活用でき、導入コストを大幅に削減します。クラウドベースのダッシュボードから、ドラッグ&ドロップの簡単な操作でコンテンツを作成し、全国の店舗やオフィスの画面に配信するスケジュール設定が可能です。Googleスライド、Power BI、SNSフィードなど100以上の外部アプリと連携し、リアルタイムの情報を自動で表示。画面の稼働状況もリアルタイムで監視でき、サイネージ運用を劇的に効率化します。さらに、通信断時でも再生を継続するオフライン機能や、緊急時のアラート一斉配信にも対応。販売促進だけでなく、企業のBCP対策や安全管理を支える情報インフラとして高い信頼性を提供します。

主な機能

- ・遠隔地からのコンテンツマネジメント
- ・100以上のアプリ連携（Slack、Google Slides）
- ・安価なハードウェア対応
- ・画面グルーピング
- ・リアルタイムモニター
- ・ドラッグ&ドロップのコンテンツビルダー

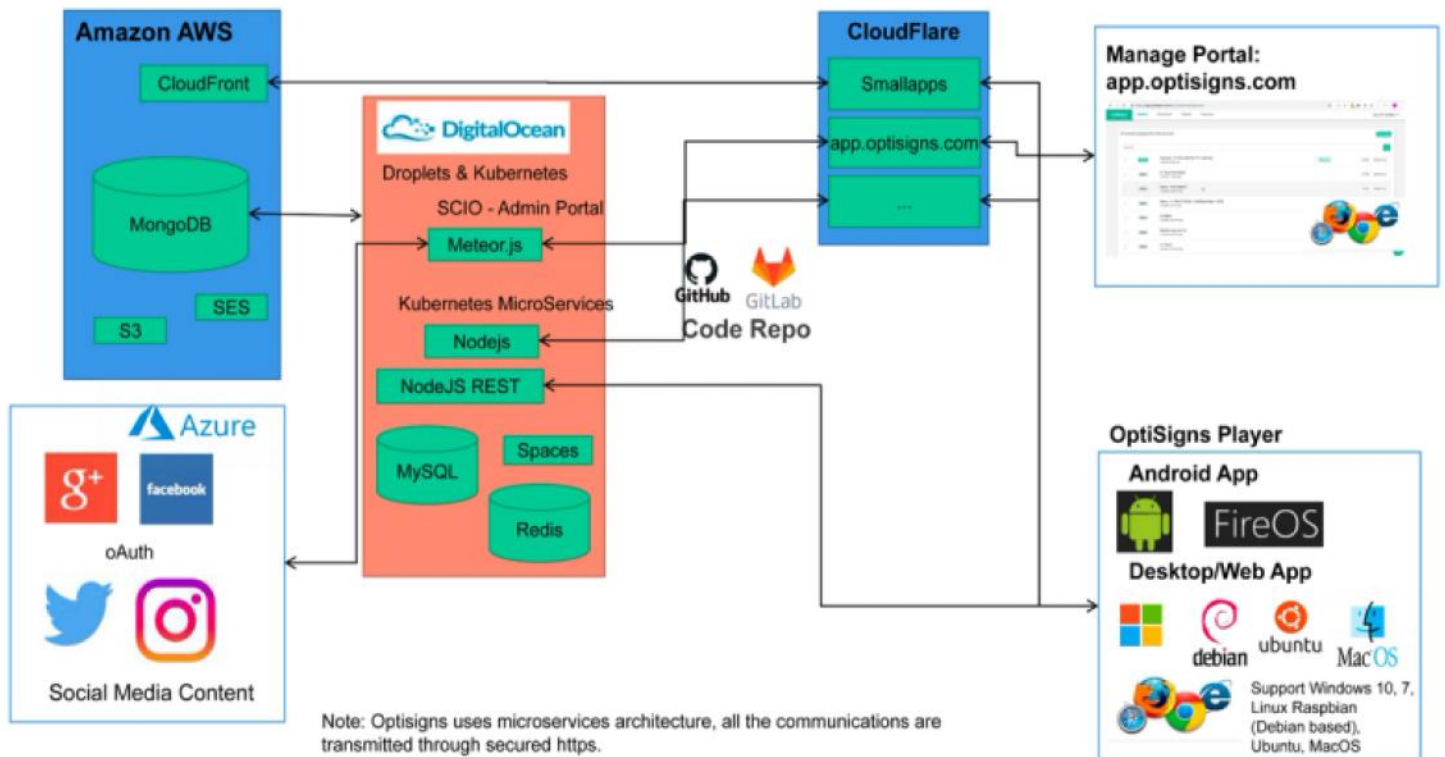
ベンダー情報

社名：OptiSigns

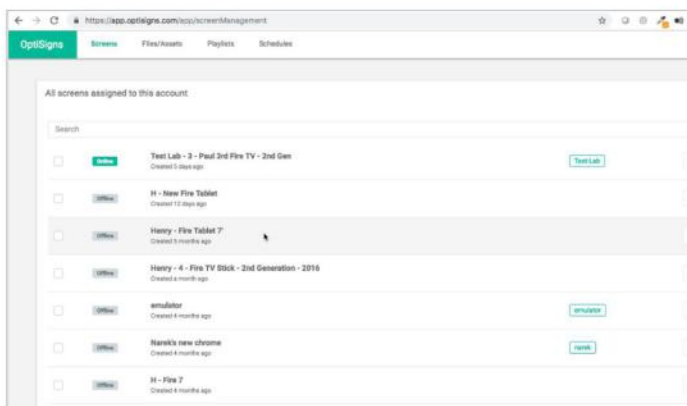
所在地：米国・テキサス州ヒューストン

2016年創業、非上場

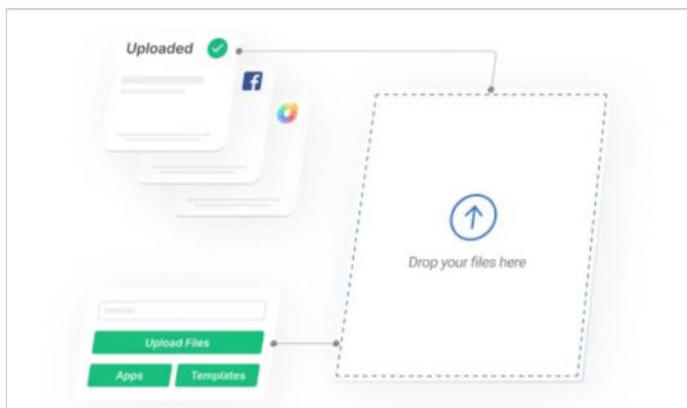
OptiSigns Digital Signage Platform Architecture



▲OptiSignsはあらゆるスクリーンをデジタルサイネージに変える。多様なOSとプレーヤーに対応し、各種SNSと連携可能



▲多彩な広告用のアセットを準備でき、各アセットやプレイリストまで、何をいつ視聴者に広告するかを決められる



▲広告を作るにはOptiSignsアプリが連携ツールを使いコンテンツをアップロードする。デザイナーツールも用意されている

主な価格プラン（参考価格）



Standard

\$9／スクリーン／月（年払い）

デジタルサイネージをシンプルに

Pro Plus

\$13.50／スクリーン／月（年払い）

潜在能力を最大限に引き出す

Engage

\$27／スクリーン／月（年払い）

インタラクティブなデジタル体験

Enterprise

\$40.50／スクリーン／月（年払い）

スケーラブルなエンタープライズソリューション

お問い合わせはこちら

<https://forms.digitalaccels.com/contact>





プライバシーと同意マネジメントプラットフォーム (CMP)

Secure Privacy

複雑なプライバシー規制の遵守を自動化し、リスクを低減

<https://digitalaccels.com/products/secureprivacy/>



この製品が解決できる主な課題

⚠ 各国の異なる法規制に対応するのが困難で、コンプライアンス違反が怖い

GDPRやCCPAなど世界中の複雑なプライバシー法規制に対応した設定を自動化し、法改正にも追従することで、グローバル展開するウェブサイトのリスクを低減します。

⚠ クッキーの分類やバナー表示の設定が面倒で、正しく運用できていない

サイト内のクッキーを自動スキャンして分類し、訪問者の地域ごとの法規制に準拠した適切な同意バナーを自動表示し、適法な同意取得を実現します。

⚠ 同意の記録が残っておらず、トラブル時に適法性を証明できない

ユーザーがいつ何に同意したかという詳細なログを自動的に記録&保管し、監査可能な状態で管理することで、法的紛争時にも確実な証拠として提示できるようにします。

⚠ 削除請求などの対応を手動で行う必要があり、事務負担が非常に大きい

ユーザーからのデータ削除や開示請求 (DSR) を受け付け、処理するワークフローを自動化することで、法定期限内での迅速な対応を可能にし工数を削減します。

⚠ 外部ツールによる意図しないデータ収集を把握できないというリスクがある

ウェブサイトに埋め込まれた外部スクリプトの挙動を監視し、許可のないデータ収集や不正なトラッキングを自動でブロック。ベンダー経由の情報漏洩を防ぎます。

⚠ 多数のサイトごとの設定管理が大変で、ポリシーの統一が図れない

複数のブランドやドメインを持つ場合でも、単一のダッシュボードから全サイトのプライバシー設定を一元管理し、ガバナンスの効いた効率的な運用を実現します。

Secure Privacyは、GDPR、CCPA、改正個人情報保護法 (APPI) など、世界中の複雑なプライバシー法規制への遵守を自動化する、同意マネジメントプラットフォーム (CMP) です。多くのウェブサイトが、法規制に準拠したクッキー同意バナーの管理や、ユーザーからのデータ削除要求 (DSR) への対応に膨大な工数を費やしています。Secure Privacyは、サイトのクッキーを自動でスキャンして分類し、各地域の法規制に合わせた同意バナーを自動で表示します。そしてそのバナーを介して、ユーザーがいつ、何に同意したかを詳細に記録する監査ログを提供し、DSRのプロセスも自動化します。これにより、プライバシーに関するコンプライアンスリスクを低減し、プライバシー管理の運用負担を大幅に削減します。表示するバナーはブランドの世界観を損なわない柔軟なデザイン設定が可能であり、厳格な規制対応とマーケティング成果の最大化を両立させます。

主な機能

- ・グローバル規制対応
- ・クッキースキャナー
- ・カスタマイズ可能な同意バナー
- ・DSR自動化
- ・同意ログの監査
- ・ベンダーリスク管理
- ・プライバシーポリシー自動生成

ベンダー情報

社名：Secure Privacy
所在地：デンマーク・コペンハーゲン
2017年創業、非上場

Add Section

Cookie declaration overview

Essential cookies

Analytics cookies

Customer interaction cookies

Advertising cookies

Social media cookies

Consent status

Deleting or disabling cookies

Cookie declaration overview

This website uses cookies. Cookies are small text files stored on your device (computer, tablet, smartphone, or another device) to enhance your experience on the website.

Normal
Sans Serif
A
B
I
U
G
x₂
x²

≡

✕

Websites use cookies for many different purposes, including but not limited to:

- Get information about the traffic on our website
- Provide you with essential functionalities of our website
- Track your browsing behavior
- Track your engagement with social services
- Collect information about how users use our website
- Remember your preferences for our website
- Personalize content and advertisements.

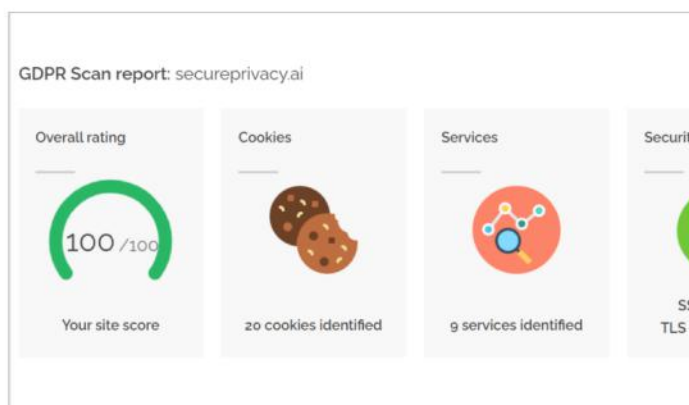
We use cookies according to applicable national and international laws.

This cookie declaration aims to inform you about our use of cookies, what types of cookies we use, and why we use them. We are committed to full transparency regarding your privacy while using our website. In the rest of this cookie declaration, you'll find all the essential information about it.

We use the following types of cookies:

- Essential
- Analytics

▲Secure Privacyは各国のプライバシー保護法に適合した同意取得の仕組みをサイトに実装し、ユーザーからの信頼を向上させる



▲サイトを自動でスキャンし、各国や地域のプライバシー保護法への今の対応状況を詳細に表示する

☐ Afrikaans	☐ Albanian	☐ Amharic
☐ Armenian	☐ Azerbaijani	☐ Basque
☐ Bosnian	☐ Bulgarian	☐ Catalan
☐ Croatian	☐ Czech	☒ Danish
☒ English	☐ Esperanto	☐ Estonian
☐ French	☐ Galician	☒ German
☐ Gujarati	☐ Haitian	☐ Hebrew (modern)
☐ Hungarian	☐ Indonesian	☐ Irish

▲70カ国以上の言語に対応し、各国のプライバシー保護法に沿った同意取得の機能を簡単に実装できる

主な価格プラン（参考価格）

Small (Web)

\$149／年／ドメイン

カスタムロゴ、多言語対応、月5,000までの同意管理

Business (Web)

\$590／年／ドメイン

クロスドメイン同意管理、月50,000までの同意管理

Advanced (Web)

\$2,490／年／ドメイン

SLA、SSO対応、月5,000,000までの同意管理、監査ログ

Enterprise

お問い合わせください

大規模組織向け。グローバルインフラ、あらゆる数量制限を撤廃、カスタマイズ

無料トライアルのお申し込みはこちら <https://forms.digitalaccels.com/contact>





SpeedCurve

顧客体験に直結するウェブサイトの速度をリアルなデータで継続的に改善

<https://digitalaccels.com/products/speedcurve/>



この製品が解決できる主な課題

ページの表示が遅く、ユーザーが離脱して売上機会を損失している

実際のユーザー環境（RUM）でCore Web Vitalsなどの重要指標を計測・改善し、表示速度を最適化することで、ユーザー体験を向上させ離脱を防ぎます。

競合と比較して自社サイトが速いのか遅いのか、立ち位置が分からない

競合他社のサイトパフォーマンスを継続的に計測してベンチマーク比較を行うことで、市場内での自社の立ち位置を客観的に把握し、競争力のある速度目標を設定します。

開発環境のデータだけでは、本番の多様な環境での遅延原因が掴めない

世界中の実ユーザーから得られる詳細なアクセスデータを収集&分析し、デバイスや回線状況による表示速度の違いを正確に把握して、実効性のある改善策につなげます。

問題発生から修正までのサイクルが長く、著しい品質低下を招いている

コード変更によるパフォーマンスへの影響を即座に検知して開発者に通知する仕組みを構築し、リリースの品質を保ちながら手戻りのない迅速な開発サイクルを実現します。

データが難解で、専門家以外にはサイトの健康状態がすぐに理解できない

複雑なパフォーマンス指標を分かりやすいビジュアルやスコアで表現したダッシュボードを提供。エンジニアだけでなく経営層も状況を直感的に理解できます。

監視ツールが分散しており、コストがかさみ、運用も煩雑になっている

リアルユーザー監視（RUM）や複合監視など、必要な全ての計測機能を一つのプラットフォームに統合し、ツールの管理コストと運用の手間を削減します。

SpeedCurveは、ウェブサイトのパフォーマンスが顧客体験とビジネス成果に与える影響を可視化して最適化するプラットフォームです。多くの企業が、サイトの性能悪化による顧客の離脱や検索順位の低下に悩んでいます。SpeedCurveは、リアルユーザーモニタリング（RUM）で実際の顧客が体験している速度を測定し、シンセティックモニタリングで開発段階からパフォーマンスを継続的に監視します。競合他社のサイトパフォーマンスとのベンチマーク比較機能により、自社の市場での立ち位置を客観的に把握。パフォーマンス低下の要因を特定する詳細な分析ダッシュボードを提供し、開発チームが迅速にボトルネックを解消できるよう支援します。さらに、読み込み速度とコンバージョン率の相関を可視化し、改善による経済効果（ROI）を明確に算出可能にします。常に最高のユーザー体験と売上最大化を両立させます。

主な機能

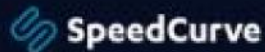
- ・リアルユーザーモニタリング（RUM）
- ・シンセティックモニタリング
- ・競合ベンチマーク
- ・Core Web Vitals追跡
- ・パフォーマンスダッシュボード
- ・CI/CD連携
- ・バジェット管理
- ・パフォーマンスレポート

ベンダー情報

社名：SpeedCurve

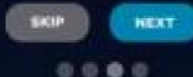
所在地：ニュージーランド・オークランド

2013年創業、2025年にEmbrace（2016年創業、非上場）が買収

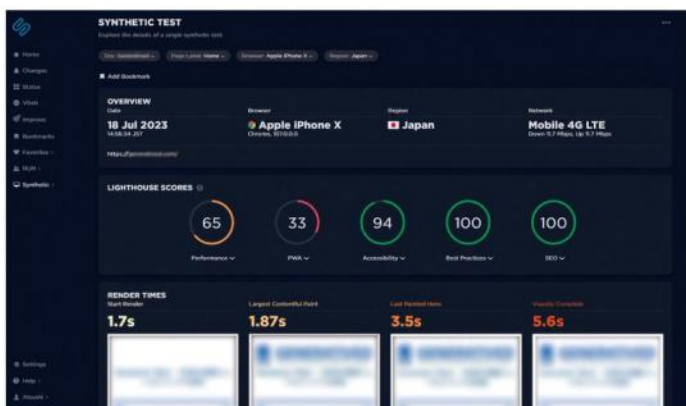


WHERE DO YOU WANT TO TEST FROM?

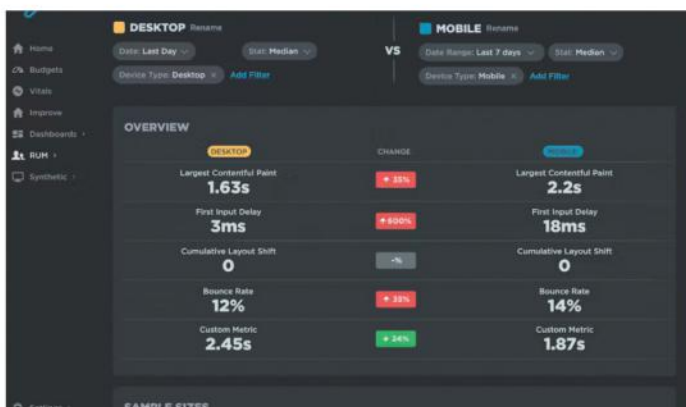
We've made some suggestions here, but feel free to add or remove.



▲SpeedCurveのシンセティックテストは平均的なユーザー操作をシミュレーションし、システムのパフォーマンスを的確に評価する



▲サイトのパフォーマンスを実際に測定して、得られたバイタル情報（Vitals）や、競合サイトとの比較を表示する



▲デスクトップとモバイル各端末からのアクセスに対するレスポンスを比較・分析。改善ポイントを明確に抽出できる

主な価格プラン（参考価格）



STARTER

\$90~/月

ユーザー数無制限、シンセティックモニタリングとRUM

GROWTH

\$576~/月

STARTERに加え13カ月のデータ保持、優先サポート、シンセティックプライオリティテスト

ENTERPRISE

お問い合わせください

GROWTHに加え、SSO、シンセティックプライベートエージェント、コンサルティングなど



お問い合わせはこちら

<https://forms.digitalaccels.com/contact>



DIGITAL TECHNOLOGY CATALOG November 2026

<https://digitalaccels.com/>



掲載製品に関するお問い合わせ

<https://forms.digitalaccels.com/contact>



運営・発行

デジタルアクセルズ株式会社

東京都品川区北品川5-5-15

大崎ブライトコア4階SHIP